

平成23年度名古屋市行政評価 内部評価の実施結果に対する市民意見

「平成23年度名古屋市行政評価 内部評価の実施結果」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を公表いたします。

なお、ご意見については「平成23年度名古屋市行政評価 内部評価の実施結果」に対する意見に該当しないものを除外し、趣旨を逸脱しない範囲で要約・整理しておりますのでご了承ください。

-
- 1 受付期間 平成23年9月14日(水)から平成23年10月24日(月)
 - 2 意見数 2135件
 - 3 提出方法 ファックス1312件、持参383件、郵送254件、メール186件

名古屋市総務局

行政改革推進部行政改革推進室

目 次

事項番号	事 業 名	件数	頁
13	自主的・主体的な区政運営	4	1
62	区役所におけるフロアサービスの充実	3	1
125～126	建築受託工事の監理及び保全等	3	1
163～164	私立幼稚園授業料補助	1	1
170	子育て支援手当	14	1
175～178	保育所における子育て支援事業	12	2
200	公立保育所の運営	172	3
201～204	民間保育所運営費補給金等	218	15
213	保育所の整備による待機児童対策	1	31
223	ひとり親家庭手当	16	31
226～230	民間保育所事業費補給金等	47	32
242～244	トワイライトスクール	17	35
245	留守家庭児童健全育成事業助成	194	36
246	児童館の運営	2	52
273～274	子どもに関する公費負担医療	1	53
277～278	障害児施設運営費補給金等	5	53
283	地域療育センター	4	53
329	成年の日記念事業	1	53
402～403	小学校1・2年生での30人学級の実施	73	53
412～415	中学校スクールランチ	24	59
420～424	部活動の新興	1	61
427	野外学習センター	9	61
541～547	図書館	3	62
548～554	生涯学習センター	26	62
560～564	女性会館	14	64
619	男女平等参画推進センター	8	65
634	生活援助型配食サービス（介護保険における市町村特別給付）	1	66
648	民間社会福祉施設運営費補給金	1	66
700～704	敬老パスの交付	979	66
705	福祉会館	2	127
706	シルバー人材センター事業への補助	1	127
707	休養温泉ホーム松ヶ島	10	127
713	高年大学鯨城学園	10	128
721～722	福祉給付金支給	25	129
754～755	障害者医療費助成	24	130
756	総合リハビリテーションセンター	4	132
757～760	福祉特別乗車券の交付	1	133
761	特別障害者手当等の給付	1	133
762	障害者福祉施設運営費補助金	20	133
763	重度障害者タクシー料金の助成	1	135
770	障害者スポーツセンター	1	135

事項番号	事業名	件数	頁
829	障害者（児）ホームヘルパー現任研修	1	135
862～863	生活衛生センター	5	135
902～903	中央看護専門学校	7	135
924	防災管理者等講習	1	136
941	ヘリコプターの運航維持	7	136
950～951	民間木造住宅の耐震化支援	4	137
1014～1043	市営住宅	73	137
1182	東山荘	3	142
1238	留学生支援金給付事業	1	142
1245	大井町1番南市街地再開発事業	1	142
1332	産業立地促進助成	3	142
1373～1376	名古屋城	1	143
1421	オーストラリア・ジロング市との湿地提携に基づく人的交流事業	3	143
1438	合流式下水道の改善【下水道事業】	1	143
1439	高度処理の導入【下水道事業】	1	143
1452	路上禁煙対策の推進	2	143
1454	環境科学研究所	4	144
1467～1469	公園整備	1	144
1479	みどりが丘公園	1	144
1483	ランの館	47	144
1488	国営木曾三川公園事業負担金	1	148
1529～1533	家庭系生ごみの資源化（生ごみ堆肥化容器等購入補助事業等）	6	148
1534～1539	焼却工場	1	149
1564	公共用地の先行取得	4	149
1658～1659	有料自転車駐車場	2	149

事業名	意見要旨
自主的・主体的な 区政運営	区役所、特に「まちづくり推進室」と学区（区政協力委員会）の関係が「まちづくり」と関係のない業務が肥大化しており、抜本的整理が必要。業務の削減を大幅に行い、それに伴った予算を考えるべき。
	公選の区長・区議会がない中で自主的な施策は重要。評価も基本的には区・区民が行うべきことで、上から統制するような評価はよくない。
	人口数による配分比率の検討を希望。総予算額の増額も検討してほしい。
	区民に直接責任を負うよう、区長権限の強化、予算配布等は不可欠。先日の水害では職員が避難所に2人くらいいたが、何の役にも立たない。また、税務、収納の職員を市税事務所に集めたのはおかしい。職員もどんどん減らされ、囑託が増え、職員同士の連携が弱まっている。災害時など、本当に対応できるのか。
区役所におけるフ ロアサービスの充 実	区民の暮らしや実態や願いをつかんで対応することが基本。デパートみたいな接遇の形式を求めているわけではない。窓口や現場対応の削減・集中などはやめてもらいたい。
	税務課が税務事務所に移転された。税を納める人が直接相談できない体制は主権者の権利を侵害する。市の正規職員が激減されたことは大きなサービス低下。
建築受託工事の監 理及び保全等	「主な論点」のとおり （工事監理の民間委託の検討）
	設計と施工がきちりされるには、利潤を第一とする民営化は不向き。建築偽装事件をもたらした、経費削減・利潤増という競争を忘れることはできないし、結果の深刻さも記憶に新しい。
	安全のためにもきちんと行政が責任を持って欲しい。保育園や学校の通学路等をもっとも安全が優先されようをお願いしたい。
私立幼稚園授業料 補助	所得制限が導入されたら、子どもを産む人は絶対減と思う。市民の生活実態の現状をもっと知ってください。
子育て支援手当	「主な論点」のとおり （子ども手当の制度変更を踏まえた見直しの検討）
	安心して子どもを生み育てるためには、市民の暮らしが経済的に安定していないといけない。そのために、子育て支援手当の拡充は必要。
	廃止しなくてよい。
	国だけではなく、市独自の施策は必要だと思う。少子化であるので、支給額の増額も含め検討すべき。
	現在の少子化の流れで、この手当は、子どものいる親にとって、重要になる。むしろ増額で見直す必要があると思う。

事業名	意見要旨
子育て支援手当	家計的にも豊かでない中で行政の援助は本当にありがたいものとなっている。今よりも制度が悪くならず良くなることを心から願う。
	名古屋市として国の制度に沿うだけでなく、名古屋市から充実した制度を発信することが求められるので、そうした議論を踏まえた評価をお願いする。
	不況で家計が大変です。子ども手当を減らさないでほしい。
	子どもを育てる親に大きな負担を感じさせてはいけなし、将来的に国益になることを考えて、見直しには再考を求める。
	減少では、自分の子も、孫を育てるのにお金がかかり困るといっている。
	子どもが小さいうちは母親は働けない人も多いので、子育て支援手当があるととても助かる。所得によって上限などがあってもいいとは思いますが、今までのように手当を続けてもらいたい。
	現状維持が必要。国が見直しても同等かそれ以上の支援をお願いしたい。
	現状より少なくなるのは家計に負担が増えるのでやめてほしい。
保育所における子育て支援事業	保育所の子育て支援事業の利用者から利用しづらいとの声があるので、広場利用者のアンケートをとってほしい。アンケートは、行政やスタッフ、利用者を対象に広く実施し、子育て支援の全体を見て予算の使い方がニーズに沿っているか調査してほしい。地域子育て支援拠点職員研修は重要であり、保育園内部だけでなくNPOなどと一緒に地域にあったニーズの研修が必要である。
	子育て支援センターの数が増えていることは評価する。保育のひろば等、イベントの参加も増えているようだが、子育て家庭の実際の困難さを軽減させていっているのか疑問。保育園や幼稚園の敷居が高くないかも心配。無認可保育園につとめているが、子育てにかかるネットワークの弱さを感じている。日常の子育てには反映できるようなきめ細かさや中身にしてほしい。
	地域の保育所が、自宅で子育てしている方をフォローし、行政が市民の子育ての課題などを吸い上げることができる素晴らしい制度であり、なくさないでほしい。
	保育所は地域の財産であり、支援するのは重要。安心して子どもを産み育てられる環境づくりに必要な事業である。
保育所には保育・子育ての知恵が蓄積されている。不安な母親の気持ちをくみとり、支援の取り組みを行うなかで保育の質を上げることができる。更なる充実が必要。	

事業名	意見要旨
保育所における子育て支援事業	<p>事業は必要。地域のつながりがなくなり、遊ぶ場所も少なくなっている。子育ての知恵を持っている保育園の役割は大きい。経験をつんだ保育士と、栄養士、調理師、看護師がいる保育園だからできる事業。大切にしてほしい。</p>
	<p>保健師や児童委員、児童館の先生などが気になる母親などを把握し保育所入所につなげている。ますますの予算化をお願いする。保育にかける子どもは全て何らかの公的施設を利用できるようにしてほしい。</p>
	<p>もっと拡充すべき。父母が安心してかかわっていただける場所が足りない。これ以上削るなどもってのほか。</p>
	<p>子育て支援事業があると地域の人々が保育園に来やすくなり、悩みや交流などが出来る場所として大切な役割があると思う。必要。</p>
	<p>二世帯以上の同居家庭が減少している今の時代、子育て家庭にとって地域で相談できる場所。子育てを共にするつながりを作る第一歩として重要な役割があると思う。</p>
	<p>保育園には入れないが、保育を必要としている人がおり、この制度は非常に良い。今後も続けてほしい。</p>
	<p>家庭にいる親子は子育ても孤立し、様々な悩みを抱えつつ子育てをしている。地域子育て支援センターは、地域の親子のよりどころになる。虐待防止の一翼も担っているため、絶対に廃止しないでほしい。</p>
公立保育所の運営	<p>20歳、30歳の人たちの生活がますます苦しくなっており、結婚できない人、結婚しても子どもを産めない人が増えている。そういう人達の解決策として保育所があり、保育料が上がり、預けにくい所になれば、ますます少子化が進んでいくので、保育料が高くなることは絶対やめてほしい。</p>
	<p>公立保育所に入れなかった家庭にとっては意味のないもの。入れる家庭と、入れない家庭をどのように決めているのか明らかにしてほしい。民間企業の参入が認められないのはおかしい。質が心配だというのが、まず保育所に入れてからのこと。入れない家庭のことを考えてほしい。民間企業の質が心配な人は、民間に任せればよい。認可保育所に入れられない家庭のことを考え、保育料を安くするお金があるなら、そのお金で保育所を増やしてほしいし、無認可の保育所を使っている家庭への支援をしてほしい。</p>
	<p>保育料値上げ反対。</p>
	<p>民間移管には反対。子どもの保育は全人間的な子育てを公費でまかなうべき。民間に委託すればどうしても営利追求の立場から効率的な運営に迫られ、結局、手抜きの保育が生まれ、子どもへの悪影響を懸念する。</p>

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	<p>待機児童が増えている大きな要因は、共働きしなければ家計が苦しいということがある。保育料がこれ以上高くなると負担が増えてしまう。現在の制度は応能負担で低所得者は負担が少なくて済む。このあり方を守っていただきたい。全国的に見て名古屋市の保育料が安いということだが、もっと安い自治体もあり、子育て支援施策に力を入れていない自治体を見習う必要はないと思う。保育料はこれまで少しずつ値上がりしており、前年度より収入が減ることも多々あり、前年度の所得で決定された保育料を支払うことが苦しくなっている家庭も少なくない。認可保育園を増やせば、働く母親が増えて税収が拡大し、保育料も値上げしなくても保育料収入も増える。重点的に待機児童解消や子育て支援に購入を投入することで、子育て世代が多く活気ある名古屋にすることの経済効果や財政強化につなげることを期待する。</p>
	<p>認可保育園や私立保育園とは違って、より福祉的な目的で設立されているので、保育料値上げは問題があると思う。</p>
	<p>共稼ぎしたくても幼児を預ける場所が少ない。民間を増やしても保育料が高くては生活が厳しくなってしまうので、今のままの料金で公立保育園を維持してほしい。</p>
	<p>「主な論点」のとおり (保育料の見直しの検討)</p>
	<p>今、子どもは1人であり、もう1人と思っているが、保育料が高く、躊躇している。市外への引っ越しも考えようと思う。保育料は上げないで、下げてほしい。</p>
	<p>保育料の見直しに反対。現在でさえ厳しい保育料を値上げされると、保育園に預けられなくなる。「保育するなら名古屋から出て行け」ということか。安心して子育てをすどころか、子どもを産むことすらできなくなる。歴史に名を残すような愚策はすべきでない。</p>
	<p>保育料の国基準はとても高いのでこれをもとにされると大変。少子高齢化がいわれる中、若い親たちが安心して子育てができる環境をつくることは社会の義務と考えるので、保育料の値上げには反対。</p>
	<p>今でも高い保育料が国基準になれば、保育料が支払えない家庭や給与の大半が保育料で消えてしまうなら保育を止める家庭も出てくる。保育料は下げるべき。待機児童解消のため保育料を値上げするなど論外。保育を中止して働く人が減れば税収減につながる。</p>
	<p>待機児童は全国ワースト1位らしいし、最低です。</p>
	<p>子育て支援として、保育所運営に手厚い予算配分をお願いする。迎える時間に正規の保育士が1人しかいないため、相談できる人がいなくて困っている。正規保育士を増やしてほしい。</p>
<p>少子社会で保育料が値上げされれば安心して子どもを産み、育てる、働き続けることができなくなる。子どもの権利を守る上でも、保育料の値上げには反対。</p>	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	値上げはとんでもない。若い共働きといっても経済が大変なところがほとんどで、市議会も反対している。
	保育料の見直しは少子化時代に逆行する。次の世代をはぐくむ必要がある。今の大人が満足するだけの政策は実施されないことを望む。
	子育て家庭にやさしいとは、保育園を増やし、誰もが預けられる環境をつくることではないか。今の保育料でも安いとは思いません。国の基準が高すぎる。理屈をならべて子育て家庭からお金をとろうなんてひどすぎる。
	国基準や他都市より低く抑えた保育料を誇りにすべき。決して利用者は安いとは感じていない。
	不景気にもなって共働きをせざるを得ない現状があり、待機児童が増えている。離婚も増え、母子家庭も増えているが、極めて低い収入に甘んじなければならない。いまでも保育料は高い、支払いが困難との声を聞いており、これ以上の値上げはとんでもない。
	現在でも1人の保育士がみる子どもの数が多すぎるなど問題が山積みなのに、それらの解決なしの保育料値上げは納得できない。
	現状でも高いと感じているのに、値上げされては困る。国基準自体妥当な料金とは思えない。値上げすることで待機児童問題を解消するというのは本当の解決とはいえないと思う。
	欧米では保育所を充実することで出生率が上がった。しっかりした保育を行う公立保育所を増やし、保育料の値下げを希望する。
	非正規で働きギリギリの生活を送りながら保育料を払っている家庭が少なくない。このような家庭を守り、子どもたちの生活、発達を保障するためにも、これ以上の保育料の値上げはしないでほしい。
	経済的に余裕がなく、これ以上、保育料が高くなることは望めない。
	待機児童の改善は重要だが、それにかかる費用と市の改善策を具体的に示し、費用対効果を明確にし、それを公開してから、保育料を見直すという議論をしてほしい。単に国基準と比較して低いから値上げするという考え方はやめてほしい。
	自分はアルバイトだけであり、いつやめることになるのかわからず、収入は安定していないので、保育料を値上げしないでほしい。
保育料をあげることで、社会に出たい女性の促進が阻まれる一因になると思う。子育てしながらでも働きやすい環境づくりをすすめてほしい。	
ハンディキャップを持つ子どもの療育のため、きょうだいを保育所にお願ひしなければならぬ。お金がかかるので、保育料の値上げはやめてほしい。希望しても入れず認可外だとさらにお金がかかる。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	私たち親も節約しており、これ以上どこを切りつめればいいのか。値上げには反対。
	子どもを育てているのに夫婦ともに働かなければならない。不況が続いており、保育料があがったら、働いた分だけ、保育料に負担がかかる。値上げしないでほしい。
	これ以上の保育料値上げは、子どもをつくるなどと言われるように聞こえる。少子化対策のためにも、むしろ保育料は引き下げるべきと思う。
	保育料の見直しは反対。これ以上、負担が増えると預けられない人が増える。不安定な仕事でも、子どもを預けながら働かなければいけない人が多くいる。
	待機児童が多いのは、家計の可処分所得が激減している中で、子育て世代も共働きするためである。そんな時期に、保育料の値上げにつながる見直しは、市民の生活実態に逆行する。
	これまで全国と比べれば安い保育料を堅持してきた。国基準並みにするなんてもってのほか。名古屋市の待機児童は全国ワースト1になっている。保育所設置の最低基準を踏まえ公的保育所を増設するとともに、保育料を値下げすることにより、待機児童を減らすことができる。そのことにより、納税者が増え、税収が確実に増える。保育料を値上げしては矛盾する。
	財政事情をみながら投入する人やお金を考えなくてはならないことは重々承知しているが、他都市と比較して手当が厚いことは誇りとすべきことであり、減税する余裕があるのであれば、事業の継続、拡充をお願いする。
	保育料の値上げに反対。若い夫婦が頑張っても今でも高い保育料に苦しんでいる。少子化が叫ばれる中、ますます子どもが産めなくなる。
	保育料が今以上上がったら、働かなければならない人は子どもが持てない。値上げしないで守ってほしい。
	少子化対策に関わる公的保育は改善されることが必要。改悪すれば、少子化・高齢化がますます加速する。保育料の値上げには反対。
	保育料の値上げに反対。保育の質を下げないでほしい。子どもは将来の納税者になる。将来の日本の安定に協力してほしい。子どもに予算を使うことはマイナスにならない。他に削るところが必ずあるはず。
	保育施設に預けている親としては、非常に生活に直結するので、保育料は現状維持もしくは値下げをお願いしたいくらいである。
保育料の値上げに反対。職員の人件費の削減は保育の質を落とすことになる。子どもたちを育てる先生方の待遇の改善を願う。	
子どもが1人増えるが、これ以上保育料が上がると、生活できない。保育料値上げはしないでほしい。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	働く親である私たちにとって、保育所はなくてはならないもの。保育士の職場環境も大切。税金、保育料も払っており、大切に使い道を考えてほしい。
	保育所に通うのに大変な思いをしている家庭がたくさんあり、保育料が値上げになるとさらに負担がかかる。保育料の値下げをしてほしい。
	子どもを保育園に預けているが、延長保育を利用するしかなく、1か月あたり保育料が6万円近くになることが増えている。保育料を支払えない人もいるかもしれないが、支払っている人に負担ばかり求めるのはどうかと思う。現状通りの制度を崩さないでほしい。
	保育料値上げに反対。子どもが1人増えるが、保育料を値上げされると、生活ができなくなってしまう。
	値上げしないでほしい。
	第1子だけでも大変だが、第2子、第3子のいる家庭には特に保育料の値上げは家計に響く。
	保育料値上げ反対。
	保育料を値上げしないでほしい。保育園では先生の熱意でよい保育がされていますが、長くつとめていただける地盤は欠かせないので、人件費を削らないでほしい。
	値上げ案が出てくるのは、小さな子どもを保育園に預けて共働きすることが身近になかったからだろうか。子どもを育てるのは本当にお金がかかるので、金銭的に余裕がもてれば、もう一人産みたいと考えている方は多いと思います。予算面でいろいろと考えて苦しいのと思うだろうが、子どもは大切に考えてほしい。
	保育料の値上げをしないでほしいという意見は、子どもを持っている親なら、特に、仕事と家庭とを両立している親なら当然のこと。もっとほかに見直さないといけないことがあると思う。
	今の保育園は、1人1人の子どもの細部にわたり対応していただいており、子どもたちを安心して預けることができ、感謝している。子どもたちが健やかにたくましく育つ保育を届ける努力をしてほしい。保育士の人数を削減しないでほしい。
	第1子の未満児の頃は、毎月給料は保育料のために消えていき、ぎりぎりの生活だった。生活のために働いているので、保育料が高くては意味がない。保育料は上げないでほしい。できれば下がることを願う。
	保育料値上げに反対する。
保育料が上がると生活が苦しくなる。保育料を上げないでほしい。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	保育料値上げに反対。人件費削減にも反対。これ以上上げるとモチベーションも下がってしまう。子ども以外の他の部門からカットをお願いする。高齢者のことも大切だが、将来の名古屋のために、未来をつくる子どもたちにむしろ投資をしてほしい。
	保育園の値上げをしないでほしい。
	今でも保育料は充分高いので、これ以上高くなるととても困る。絶対値上げはしないでほしい。
	保育料を値上げせず、子どもの数に対して保育士を増員してほしい。
	保育料を値上げしないでほしい。第2子も無料にしてほしい。
	国際的にみても、国の保育料基準は高く、保育所基準は低い。そうした基準にあわせていかず、子どもの立場に立った、より充実した保育と、保育料の値下げをしてほしい。実際に、保育料が支払えなかったため、必要な保育を受けられない子どもがいる。
	国より低い基準は自治体独自で子育てを応援している結果である。今でも子育て世帯には負担になっている保育料、しかも、公立が少なく、私立も入れない待機児の多さ。公立保育園の保育内容が下がれば、私立にも悪いほうに影響する。
	見直しに反対。仕事を削って減税すること自体が、地方自治の本旨、憲法に反する。
	共働き家庭、ひとり親家庭が増え、待機児童が増えている。また、保育料の負担が重く、今でも生活を圧迫している。名古屋市は、国基準より多額の負担をして保育料を安くしてくれていることは知っており、感謝しているが、それでも負担は重いので、値上げは反対である。
	子育てに負担がかかると少子化の傾向が改善されない。保育に関わる予算は増やすべきで、保育士、環境を良くすべき。
	子育て世代の保育を応援しなくては、将来はない。保育料を値上げして、将来を暗くするようなことはしてはいけない。少子化をストップする方向を目指してほしい。
	不景気で家計のために共働きをせざるを得ない家庭が増えているのに、今でさえなかなか保育所に入れないのに、値上げなんかしたら、誰も子どもを産んで育てようという気持ちが持てなくなると思う。
	不景気で共働きをしないと生活できない家庭が増加傾向にある。保育料を値上げすると、保育料が払えず、子どもを預けられず、働けない、ますます生活は苦しくなる。子どもの発達にも保育園は欠かせない。待機児童の解消に、保育園の増園も待ち望まれる。
保育料を値上げしないでほしい。子育てしやすい名古屋であってほしい。財源確保は別の方法を考えて、弱いところからお金をとることはやめてほしい。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	今以上の保育の質を確保すること、保育料を上げないことの方が、減税よりも必要。減税のために保育料を上げるのには絶対反対。
	保育料を上げることには反対。
	日本、名古屋の将来を背負う子ども達の予算を削って、よい名古屋になるのか。
	市の責任で公立も民間も認可保育園をしっかりと増やすべき。
	保育料が安いのは市民にとって良いこと。パートで働く若い人たちの子育てを考えたら、保育料は上げるべきでない。
	不景気に伴う収入減で、若い子育て世代も共働きが必要。今でも高いといわれる保育料がこれ以上値上げされれば、子どもを保育園に預けられないし、親は働くこともできなくなる。見直しに反対。
	保育料が引き上げられたら、保育所に子どもを預けられなくなる家庭が増え、保育を受けられない子どもが増える。また、女性の就労が減れば、社会資源としても損失。保育料の軽減を行うべきで、引き上げはもってのほかである。
	名古屋市は待機児童数が日本一。収入が足りず、共働き家庭が急増しているのに、保育料値上げはやめてほしい。安くしてほしいくらいである。
	子どもが保育所にお世話になっている。楽しそうに通っていて、自分も安心して仕事ができ、社会に役立つ喜びになる。国基準となると、相当の値上げになる。現在でも高額で、家計の食費を上回る。値上げになったら次の子どもは無理である。子どもにしわ寄せはやめてほしい。
	何故保育料の値上げをしなければならぬか、分かりやすく説明してくれれば納得できるが、このような分かりにくい内容では納得できない。保育料の値上げには絶対反対である。
	生活が苦しいので働く人が多いのに更に高い保育料を払うのはでは、労働者の生活は困窮するばかりである。子ども達に多くの税金を使うことに市民は反対しないはず。
	保育料値上げや第3子以降の保育料無料化を廃止しないでほしい。大型開発より子育て支援が大切である。
	保育所を十分整備しないまま保育料の値上げや運営の民間委託を検討するに反対である。子どもたちの未来のためにも、働く父母の支援のためにも保育所の充実に市は責任を持ち、健やかな児童の成長にこそ財政負担を惜しむべきではない。
延長保育料、休日保育料を加えると、保育料は高く、働く父母の負担になっている。基本保育料だけ全国と比べているのでは。もっと保育料を安くして父母の負担を減らすべき。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	国基準や他都市との比較で決めるのではなく、公立保育所を利用する市民の家計における保育料の割合や就労時間の実態を元に導きだしていただけでないか。実態に合った料金設定をしていただくことで、貧困状態に陥る人を一人でも減らすような施策をお願いしたい。
	「将来の財政負担」が横ばいになっているにも関わらず、保育料の見直しをする必要があるのか。保育料が上がるとなれば、ワーキングプアと呼ばれる人たちにとって、生活が苦しくなり、悪循環になる。
	保育料は国基準より低く抑えているので、今後もこの水準の維持又は保育料の引き下げを求める。社会的にも子育てをしている20代・30代の女性の労働力は必要不可欠となってきているため、今後公立保育所の果たす役割は一層大きなものとなる。
	ワーキングプアと呼ばれる人が増加する中、保育料の値上げは市民に対して苦痛を与える以外何ももたらさない。子どもを預けられる場があってこそ、仕事も充実し、市政に対してもプラスの影響を与えるものと考えられる。
	シングル家庭やダブルワークを余儀なくされる家庭がある中、保育料を上げれば、保育料が払えないから保育所に入れないという状況を生み出しかねない。他都市と比較して保育料も低いことは誇りに思うべき。都市の経済状況によって市民生活が引き下がるのは間違い。
	保育料値上げに反対。家庭の事情で共働きをせざるを得ないから保育所を利用しているのであり、保育料の値上げは子育てをしにくい地域にする。若く活力のある子育て世代が名古屋市に集まり定住するような施策を進めてほしい。
	待機児童解消は解決すべき問題であることは当然だが、4月時点で3歳未満が定員の3割増入所という状況、大変危険だと思う。新しい保育園を作り、入園を望む親子を支えてほしい。
	保育料の値上げはやめてほしい。公立保育所が、低い所得層の人たち、又、子育てが困難な人たちなどの子どもが育つ場として果たす役割はとても大きなものがある。
	待機児童が増えている。保育料を下げ、保育園を作り、父母の方々が働きやすい状況を作れば、少子化傾向も止められると思う。保育料の値上げは子育てしにくい状況や子どもを産み育てにくい状況を作ることになる。
	最低基準を落とさないでほしい。障害児保育は、要請のうち何パーセント受け入れているか、わかる表記にされたい。一番困っているところを助けられる仕組みにしてほしい。
	少子化時代に逆行する見直しはやめてほしい。
	今までと同じ運営で公立保育園を作ってほしい。
給与も下がっている中で保育料を値上げされるのは困る。私と同じような人はたくさんいると思う。預けにくくなるのは困る。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	私達夫婦は共働きだが、保育料は現状でもかなり家計を圧迫している。パートや派遣の夫婦では、給与のほとんどが保育料に占められてしまうのではないかと。値上げには反対。2人目半額、3人目無料の施策をやめれば少子化が加速する。
	保育を民営化することをやめて国の貧困な施策を補うべき。
	保育料の値上げはやめてほしい。第2子半額も大変助かっているので引き続きお願いしたい。
	保育料の値上げに反対。子育て中で今後もお金がかかる世代に更なる負担を強いるのは困る。名古屋市は住宅など物価が高く、学童保育への補助金が少ないため、保護者が負担する保育料も高額である。
	待機児童対策 = 保育料の見直しは間違いであり、保育環境をより悪化させる。子育てこそが最優先されるべきであり、少しでも負担を減らしてほしい。
	公立保育園を増やし今こそ子どもの育ちを市が責任を持つべき。待機児童の問題は深刻だが企業参入は許せない。教育・保育などは経済的効率となじまない。
	安心して子供を育てるためには保育料等で不安な思いをさせてはいけない。公立に入りたくても入れない不安な思いをしている親が多い。公立保育所を増やす必要がある。
	保育は経済的理由等で不平等があってはならない。児童の成長発達には平等な環境が保障されてこそ。児童の貧困、虐待、待機児童など状況の悪化を解決し環境整備するためにも、保育園を減らさず、保育料を上げずに施策をすすめてほしい。
	女性が出産、子育てをしながら働いていくためには保育園が絶対必要。私立の保育園は休園日が多かったり、延長保育料が高い。子育ても仕事もきちんと両立できるよう、公立保育園をもっと増やしてほしい。
	子どもを保育園に預けている。保育料が上がってしまうと、女性が子育てしながら仕事をするのを妨害していると感じる。保育園へのお金が減ってしまうと、保育士が減り、子どもが危険にさらされる。保育に関しては手厚い充実を。
	国の基準が高いのが問題。貧乏人は保育園に通えなくなる。
	保育料は現在、所得に応じて決まっている。これ以上、父母負担を増やしては、子どもをうめない親が増えるばかり。保育料はこれ以上あげるべきでない。
	保育料が値上がるのは困るので反対。今でさえ、保育料を払い続けるのがやっとである。
整ってきた環境を壊すのはおかしい。保育料の値上げ等、利用者だけに負担を求める政策には反対。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	保育料は値上げしないようにしたい。国の悪い基準に近づける必要はない。子育てや教育にはしっかり税金を充ててほしい。
	これ以上保育料値上げを行うことは働くことをあきらめたり、他の消費を抑えるなど、個人消費に悪影響を与える。国基準の保育料設定は高すぎるので多くの自治体で引き下げを独自の政策として行っている。待機児童対策にしても、待機世帯でも値上げは困る問題。また、住民感覚では近隣市町村と比較することはあっても、政令市と比べることはない。政令市比較で保育料が安いというのは、ずれている。
	自分の子を保育園に預けながら、民間保育園で働いているが、名古屋市の公立保育園は大変質が高いというのが実感。公立の質が保たれてこそ、民間の質を保つことができる。自治体が責任を持って公立保育園を運営すること。また、保育料の値上げはやめてほしい。
	市は公立保育園を増設し、待機児童を解消する責任がある。保育料は国や自治体が全額負担すべき。働く者の権利を守るためにも、現行の公的保育制度を維持発展させ、公立保育園も増設すべき。
	子育てにお金がかかり、保育料にお金がかかるため、子どもを産み育てることまで、考えてしまう現状である。保育料の見直しは困る。
	児童が減って教室が余っているところを保育所等に活用してほしい。保育料の値上げには反対。
	民間保育園で働いている保育士である。公立保育園をなくさないでほしい。公立があればこそ民間も頑張れる。
	公立保育所の役割は拡大されるべき。保育料は国基準が高いとは思えないのか。弱い立場の人を救うセーフティネットとしての役割を担って欲しい。
	名古屋市は保育施策がとても充実しているので、これからも利用しやすい子どものための保育運営がされることを願う。国基準にあわせるものではない。
	国基準の保育料が高すぎるのではないか。名古屋市はなぜ値上げを検討するのか。保育料の値上げは市民に対しての裏切りである。
	保育料の見直しを検討されているが、他都市と比べて軽減割合が高いからといって保育料が安いわけではない。仕事に行っても保育料に消えているのが現状。値上げには反対。
	公立保育所に子どもを預けている父母や、保育士などは、廃止反対を主張している。
	保育料を見直すのをやめてほしい。若い人たちの生活は大変で、思うような収入が得られない。
待機児童が増えているのは、共働きを望む家庭が増えているから。若い子育て世代の収入が少ないのに保育料値上げなんてとんでもない。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	保育料が上がるなんてありえない。家計がマイナスになる。絶対に反対。
	今の若い親たちは労働条件も悪く、資金面も決して良いとはいえない。保育所は働く人たちの支え。保育料の値上げを言う前に、保育園の増設をすることが先決。
	これから先、出産・子育てをしていくうえで、保育料は家計にとって少なくない影響がある。ここ数年の子育てを応援する状況で、保育料の値上がりは大きな矛盾を感じる。
	安心して預けられる保育所を守ってほしい。
	保育料は今でも高い。保育士の給与が高いとは思えない。保育内容に格差のある私立保育園ではなく、公立保育園での保育が絶対に必要。企業参入に反対。
	保育料が値上げされると、子どもを諦めざるを得なくなってしまう。子育てにかかる負担を軽減することが何よりの市民サービスになる。
	保育料については国基準よりも低く抑えており、「子育てするなら名古屋で」を基本方針にしていることを市民として誇らしく思うので、子育てがなくなるような見直しはしないでほしい。
	保育園に入園させて働きたい。商店街の空き店舗を改築して乳児保育可能にする、公立保育園を閉園し建て替える努力や、小学校の空き教室を利用して5歳保育児を受け入れるなど発想の転換をし、中期計画や応急計画などを作るべき。待機児童日本一のニュースには心が傷む。高い保育料に値上げも考えられている状況はとんでもないと思う。
	保育士であり、子どもを保育園に預けている。子どもの健やかな成長をするためにも保育予算を削るようなことは絶対にやめてほしい。また、親として、保育料もバカにならない。特に0歳児はお金も高く、何のために働いているのか分からない、保育料の値上げをしないでほしい。
	子育てしやすいように、公立保育所を増やし、家庭の負担を減らすべきである。
	保育料の値上げしないでほしい。
	なくさないでほしい。孫が預けられている。
	共働きの家庭が増えている。健全な保育のため是非予算を減らさないでほしい。
	ひとり親で育てていく上で、保育所の値上げは困る。
保育園の運営を金儲けの企業にまかせることは絶対に反対。	
夜遅くまで働いていらっしゃる方も少なくない。保育料をあげて、子ども達が両親と触れあう時間を減らさないでほしい。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	保育料が国基準より低く抑えてあるのはよいこと。待機児童のために、保育料をあげるのは間違っている。共働きで、保育所を利用していながら、生活が苦しい人もいる。待機児童対策は市の責任で予算をつけるべき。
	子どもを入所させている。今でも保育料は高いと感じており、これ以上の値上げは厳しい。国基準が高すぎる。値上げ費用を待機児童対策にあてるように読めるが、値上げされたら預けるのをあきらめることになると思う。本末転倒ではないか。
	保育園の保育料があがってしまうと、保育園に預けることがたいへんになる。収入が保育料に消えてしまうようなことにはしたくない。
	子どもを保育園にあずけている。フルタイムで働いて収入の半分近くが保育料である。これ以上保育料が上がっては食べていけない。
	保育料を上げるよりも、他の事業の見直しに力を入れるべきだと思う。
	保育料の値上げは、もっといろいろな意見や声を聞いてからにしてほしい。保育料を上げるのはやめてほしい。家計圧迫など、いろいろな支障が出てくるので困る。
	保育料を上げないでほしい。
	保育料を上げないでほしい。
	働かなければ生活できないから子どもを保育園に預けているのに、なぜ保育料を上げなければいけないのか。もっと他に見直すところがあるのではないか。
	保育料を上げないでほしい。生活に響く。
	保育料の値上げは困る。
	今でも保育料は高いと感じている。これ以上高くなったら、出産なんて考えることができない。保育料を上げるべきではない。
	ひとり親の方もいる。これ以上保育料があがることになったら、預けて働くことが難しくなることも考えられる。保育料は上げないで、むしろ値下げしてほしい。
	共働きの家庭は決して裕福なわけではない。現状でも2人保育園に入園すると保育料だけで母親の給料の半分から3分の1が消えます。これ以上高くなるとは考えられない。以前議論になった16時以降の保育料の時間外の徴収も、バカにしている。正規で働けば17時+通勤時間がかかる。
	保育料の値上げは働きながら子育てをすることを難しくするものである。不要不急の事業、ムダなことにメスを入れてほしい。むしろ保育料は下げてもらいたい。
保育料を値上げしないでほしいという親の切実な声を聞いてほしい。子育て中の若い世代の生活は厳しく、非正規で働く人も多い。	

事業名	意見要旨
公立保育所の運営	保育料の値上げ反対。
	保育料の値上げやめてほしい。
	名古屋市独自の保育料設定はありがたい。国基準の値段は信じられない。こんなに高い保育料では、仕事を続けようと思うと、子どもをもつのをためらってしまうと思う。就学前の子供たちに手間をかけることが将来を見据えてとても大切で、そのためにはお金が必要である。
	名古屋市は独自に保育料を引き下げ、子育て中の家庭は助かっている。国基準と比べて低いからと、保育料は値上げするものではない。
	保育料が高くて困っている親がたくさんいる。子育ての負担を少しでも軽くしてあげたいと思っている。保育料値上げには反対。
	保育料は現状でも高いと感じているのに、これ以上の負担は苦しい。
	保育料の値上げに絶対反対。仕事が続けられなくなる。
	保育料を値上げしないでほしい。
	保育料の値上げ反対。これ以上の負担は増やさないでほしい。
	保育料値上げは困る。
	保育料の値上げ反対。子育てが難しい環境にしないでほしい。
	給料が下がりつつあるのに、保育料があがるというのは、正直困る。これから子どもが大きくなるにつれてさらにお金がかかるのに、困る。
	生活が苦しいのでこれ以上保育料が上がると困る。
	保育料は今でも高く、父母は困っている。これ以上値上げされれば、利用したくても利用できない方もいる。保育料は値上げしないでほしい。
民間保育所運営費補給金等	名古屋市の保育行政は、「どの地域でも等しく子どもが保育され、そこに働く職員の生活と健康を守る姿勢」である。補給金がなくなれば、保育従事者が就職・確保が困難となり、他の補助金の少ない中でもやり続けている子育て支援をどう続けるのか。行政は見捨てるのかという気分である。責任を持って働きたいという保育園の職員の生活をも保障して欲しい。
	民間保育所運営費補給金があるから、保育士は働きつづけていける。保育の質を守るためにも、この制度を拡大すべき。
	公立の保育園も民間保育園も同じ質の保育を保障してこられたのは、この補給金のおかげだと思う。名古屋市の保育の質を守るために、絶対に必要だと思うので、削減や廃止はしないでほしい。

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	公立保育所も民間保育所も同じ質の保育を保証するために必要な補助金。削減や廃止はしないでほしい。
	名古屋の保育の質を守るためにも必要な補給金。絶対に削減や廃止はしないでほしい。
	見直しは絶対しないでほしい。運営費補給金があるからこそ、民間保育所の保育の質が保たれている。市民の声を聞き、子どもたちの成長を守ってほしい。
	子どもを民間保育園にあずけている。丁寧に保育をさせていただいているが、保育園の運営はバザーや寄附でなんとか維持している状況である。補給金が減れば運営はますます大変になるので、保育の質が守られるよう、減らさず、より充実させることを望む。
	補給金の見直しに反対。現在でも保育園は厳しい運営を強いられている。民間保育園が安定的に運営されなければ待機児童の減少にはつながらない。
	民間保育園は、本来自治体が開設・運営すべき保育所を民間の法人等がそのかわりに担っているのであるから、運営安定化を自治体が図るのは当然。様々な保育ニーズに対応するため、また子育てに悩む母親の支援をするなど、保育園の果たす役割は大きい。未来を託する子どもたちの予算は絶対に削減しないでほしい。
	名古屋の待機児童数は指定都市で最多。保育所が少ないと同時に、保育士が少ないのでこういう事態になっている。待機児童を減らすためにも、補給金を減らすことなく、増やしてほしい。
	地域療育センターを利用するときに、保育士が付き添ってくれて、ありがたく思っている。今年、子どもを見てくれた保育士が来年は誰もいなくなると、不安である。保育士の負担を減らし、長く安心して勤められるよう支援をお願いする。
	この補助金のおかげで公立と民間の差がなく、名古屋市の保育の質が守られてきた。これからも必要な補助金であり、削減や廃止はしないでほしい。
	今でも十分ではないのに、これ以上の削減は、保育の質の低下につながる。現場の職員は、厳しいなかでなんとか質のよい保育をめざして頑張っている。保育は託児ではなく、ただ預かるだけの質のものでよいと考えているのか。廃止削減しないでほしい。
	補給金があるおかげで民間保育所の保育士も長い間働くことができる。保育の質をたかめられてきた。なくさないでほしい。
子どもたちの命を預かり、発達を保障しているのが、私たち現場で働く保育士であり、保育のために、学習のためにたくさんの時間と体力を使い、とりくんでいる。保育労働者の充実を目指すことが、一人ひとりへの保育へとつながる。これがなくなれば、安心して預けられる場所ではなくなる。絶対に廃止しないでほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	親の収入にかかわらず子どもは保育を受ける権利がある。しかし、現行の補助金が削られれば、保育料も高くなり、保育士の人数が減ってしまう。怪我や事故など命にかかわるミスにつながってくる。補助金の削減や廃止には反対する。
	高齢化社会に向けて待たなしの現状の中、保育所の給料保障を下げることは理解が得られない。国民の所得の確保は景気対策の要であり、保育施設の給料を下げることはさらなる不況に向かわせる。必要なところに予算をふりわけ、不要な経費は使わないことは景気対策の基礎であり、保育所は前者のはず。再考を求める。
	保育士には、知識と経験が必要。保育士が長く働きつづけるには、賃金の保障があつてこそ、仕事にやりがいと責任感を持つことができる。親の子育て能力が低下しているため、親を育てるといふ能力も求められ、親支援という観点からも補給金を削減・廃止せず、充実してほしい。
	保育において、子どもに直接対応する保育士の経験や資質は重要。保育士が長く働き続けられるように、補給金は削減・廃止しないでほしい。
	保育所にかかる費用の大部分は人件費である。今でも、運営費は十分でなく、臨時職員の入る時間をぎりぎりまで減らさないといけないという状況。さらに補給金を廃止することは、現場を知っている人では、考えられない。正規の保育士も、家で休日にと仕事におわれている。それでも一般の会社員・公務員より収入も少なく、十分な収入だとは思えない。
	民間保育所で働く保育士が、公立の保育士と同じ賃金を保障されるということは、そこに公務労働を担っているという自覚や責任も持つ。こうした制度がなくなった他都市の保育は、発達保障のための実践ではなく、市場サービスになり変わっている。
	財政事情をみながら投入する人やお金を考えなくてはならないことは重々承知しているが、他都市と比較して手当が厚いことは誇りとすべきことであり、減税する余裕があるのであれば、事業の継続、拡充をお願いする。
	保育士をしている。保育園で働く者として、保育士の生活を守ることにについてなぜ考えてくれないのか。働く親を守るために日々頑張っていますが、自分自身の生活も大切。
	職員の給与や人員をこれ以上減らさないでほしい。私たちが困る。
	子どもの成長の基本である保育分野からお金を削って、保育の質を落とすようなことはしないでほしい。削減や廃止には絶対反対。
補助金のおかげで今ある保育所が保たれている。今でさえぎりぎりなのに、補助金がなくなったら、どうになってしまうのか。そして子どもたちによりよい保育が保障できなくなる。削減や廃止はしないでほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	運営費補給金がなければ、保育士は生活できない水準の賃金。この制度があるから、保育士として長く働けることができる。運営費補給金がなくなれば、保育の質も低下してしまうことは明らか。保育の質も保っていかねば意味がない。見直しに反対。
	公立と同じような保育を実施するために助かっている。入る保育所によって子どもが受ける保育の質に格差があってはいけないと思う。働く職員も健康で生活できるよう、この制度を堅持してほしい。
	反対である。
	廃止しないでほしい。
	公立と民間の格差を是正するために補給金を出してくれているのに、なぜわざわざ低水準の他都市と比較するのかわかりません。今ですら足りないと思う。保護者に負担がかかることはやめてほしい。
	子育てのために市がお金を出さなくては私立の保育所に子どもをあずけている人は困る。
	保育士に対する補給金制度をなくさないでほしい。子どもたちに関係するお金は必要であり、お金がかかるものである。
	この補給金があるからこそ、民間の保育士の賃金が保障され、長く働き続けられる。保育は経験が必要。これがなくなると介護職場と同じように、安定した人材確保は困難になる。子どもたちが安心、安全に過ごすためにも、制度をなくすことに反対する。
	保育士をしている。現在の給料でなんとか生活をしているが、これ以上、給料が下がれば、家庭を持つことも子どもを産んで育てることも困難になる。保育士が一生できる仕事ではなくなるので、良い保育士が育つことは困難になり、保育の質は下がる。
	保育園で働いている。働く父母をしっかりサポートしている。公立・民間の保育園の違いはあれ、これまでどおり職員の給与の格差はつけなくてほしい。
	私たちも働いて頑張っているのに、人件費を含めたお金が減らされるということは、生活している身にとって、とても困る。加配職員数も減らしていくのは絶対反対。もっと削るものが他にたくさんあると思う。
	子ども達のために今までどおりの、そしてより多くの予算をお願いします。
	なぜ弱い子どもへの負担を大きくするのか。子育ては大変なこともいっぱい、保育園にとっても助けられている。今の環境を変えないでほしい。
民間保育所における保育の質を守るため、職員の経験年数に応じた給与・保険や、職員配置基準の改善を対象に、運営費補給金を交付している。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	<p>どんな子どもも公平平等に保育をされるべきである。安全で安心な保育ができるのは補給金があるからである。</p>
	<p>この補助金があるからこそ、民間も保育の質を落とさず、進んでくることができた。これを削ってしまえば、名古屋の保育はおしまいである。民間に頼ってきた名古屋市はその責任をとり続けてほしい。</p>
	<p>安心して保育するための大切な事業である。今後も市の責任で継続して行ってほしい。削減反対。</p>
	<p>この補助金のおかげで、公立も民間も同じ質の保育が保障されている。公的責任によって保障することを望む。</p>
	<p>子どもの保育だけでなく、家族を含めサポートすることが求められている。保育の専門家は、とても多くのことを求められるようになってきた。人件費切り下げは納得できない。</p>
	<p>名古屋市の保育所・保育士の質の良さは、人件費を削っては守れない。見直しはしないしてほしい。</p>
	<p>子育て支援が叫ばれるなか、産休明け保育、障害児保育、一時保育、途中入所保育、夜間保育、延長保育など、いろいろな要求にこたえてきたのは、民間の保育園である。条件を公立と同じにする制度こそ守るべき。事業仕分けすべきところは他にあるはず。</p>
	<p>人件費を削ることは、優秀な人材が集まらないことにもつながり、ふさわしい子育てが保障されるかどうかにもつながる。不況が続くなか、民間保育所の運営を圧迫するようなことはすべきではない。</p>
	<p>補給金があつてこそ、市の保育が守られ、発展してきている。子どもたちの育つ状況が複雑になり、更なる工夫が必要になってきている。現在でも、民間保育所で働く保育士たちの処遇は厳しい。この事業は存続させるべきで、充実が必要と考える。</p>
	<p>この補助金により、民間の職員も、公立と同じ給与になるようにしていただいている。その結果、どの子も同じ水準の保育が受けられている。名古屋市は、0歳児3：1の保育士配置を先進的に行ってきた。産休明け児や3歳未満児の保育について保育士の加配をいただいているおかげで、多くの乳児を迎え入れている。名古屋市の水準は全国に誇れるもの。国の基準や他都市と比較して充実しているものは、見直す必要はないと思う。</p>
	<p>補給金の見直しは保育の質の低下を招くので、引き下げは反対である。</p>
<p>待機児童数は指定都市では最多であり、保育所が少ないと同時に保育者が少ないからである。待機児童を少しでも減らすために、補給金を減らすことなく増やしてほしい。</p>	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	保育所において経験をつんだ職員は財産であり、その職員の給与保障や職員配置基準の改善のための補助金をカットすべきではない。
	自分は民間保育所で働いているが、公立職員に準ずる賃金保障があることで安心して働くことができる。今後も継続してほしい。
	この制度によって、国の規定では低く抑えられている人件費単価で運営する民間保育所においてもベテランが働き続けることができ、保育の質を向上させている。制度の堅持を望む。
	公立も民間も同じように子どもたちの保育の質を守るために、とても重要な補助金である。廃止や削減をしないよう。
	民間の保育士の給与が公立並に保障されていることでモチベーションが上がる。補助金がなくなった自治体では保育の質が下がったと聞いている。現状を保って続けてほしい。
	補給金で私たちの給料が守られている。全国では人件費の見直しがされていて改悪されているところも多い中で、名古屋市のこの補給金はとても大事なものである。
	名古屋市だけこの制度が守られている。働きながら子育てしやすい環境を守ることが本当に大切。
	毎日のように保育園への入園希望の電話が寄せられ、厳しい状況に心が痛む。今の制度や事業を守り、認可園を増やすことで少子化にも歯止めがかかり、ひいては名古屋市を発展させていくことにつながる。
	子どもたちの給食作りをしている、今までどおり削減や廃止はしないでほしい。
	今まであったため、子どもたちに安心して安全、また平等に毎日生活することができている。絶対に削減・廃止は反対する。
	この補助金のおかげで公立保育所と同じ質の保育を保障することができた。削減や廃止しないでほしい。
	職員が心身ともに健康なことが大切。今後もこの制度を崩すことのないようにしてほしい。
	子どもたちの安全・安心を守るための民間保育所運営費補給金等を削減や廃止しないでほしい。
保育園で働いている。補給金があったから、保育の質も、保育士も、保障してこられた。子どもたちの保育も、それに関わる自分たちの将来のためにも削減や廃止をしないでほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	この補助金のおかげで民間も同じ質の保育を守ってこれた。廃止・削減してしまったら、名古屋市の保育の質を保障できなくなってしまうので反対。
	どの子どもも平等な保育が受けられるよう名古屋の保育がよりよい保育になるよう廃止は絶対にしてほしくない。
	公立と民間で保育の質の差があってはならない。補助金で職員も働き続けられ、子どもや保護者も安心して過ごせる。削減は廃止はしないでほしい。
	名古屋の保育の質を守るためにもとても大事である。絶対に削らないでほしい。
	保育士の質の向上は子どもの心と健康を育てることになる。保育の質を確保してほしい。
	補助のない自治体では給与が低く、長く働き続けるのが難しい。保育園の職員が長く働き続け、安定して運営できるよう補助金をなくさないでほしい。
	補助金がなくなったら保育・保育士の質が下がり、子どもたちに影響が出る。削減・廃止はしないでほしい。
	補助金を削らないでほしい。父母が安心して預けられる保育所を名古屋市の責任で作ってほしい。
	民間保育所に子供を預けフルタイム勤務している。安心してすごせる保育園の存続は必須であり、金銭的補助が必要。長期にわたる継続を要求する。
	廃止や削減は保育の質に大きく影響する。民間保育園の質は、働く職員の経験の積み重ねでできている。
	カットに反対。公立も民間も質の高い保育が保障されるべき。カットは市全体の保育の質の低下に直結する。
	子どもを仕分けの対象にしないでください。絶対反対。
	保育所への補給金カットには反対。
	子どもの健やかな発達を保障するために保育士には知識と経験が重要。長く働き続けられるには賃金の保障が必要。賃金保障があってこそやりがいと責任感が持てる。保育士には親も育てていくという力量も求められる。親支援という観点からも補給金の削減や廃止はせず、もっと充実させてほしい。
保育の質は保育士の経験にかかっている。保育士自身が長年働き家庭や子どもを持ち、また職場に戻って経験を重ねることがどれほど重要か、また保育の質を高めるのかを考えてほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	現状でも十分とはいえない。保育経験、人生経験を重ねることによって力量を蓄える。そのため、働き続けられる人件費が保障されなければならない。国基準は使い捨ての内容であり、将来の安定を計ることができない。事業費についても増額が求められる。
	補給金等がなくなると保育に格差ができ、公務員条件にも影響する。
	現状もギリギリなのにこれ以上の引き下げはしないでほしい。質のよい保育の提供や長く働き続けるためには国の基準は低すぎる。
	現状が守られているからこそ、保育を守り私たちも働き続けていける。引き上げることはあっても引き下げはしてほしくない。
	なくすのは保育の質にも関わる。若い保育士はベテランから学ぶことが多く、それでよい保育が続いていくと思う。
	なくなれば働き続けられる仕組みが崩壊する。保育士の平均勤続年数がさらに下がり保育士が育たなくなり、保育の質が下がる。ほかに見直すべきところがあるのでは。
	絶対廃止反対。
	絶対廃止しないでほしい。
	民間保育所に通う子も公立保育園に通う子もみな同じ。見直しに反対する。
	福祉、保育、子ども、高齢者を大事にしてほしい。
	廃止は絶対しないでほしい。
	待機児童が増え、保育所の役割・重要性が高まっている。全ての子どもが等しく保育を受け、健やかに成長することを保育の仕事に携わりながら願っている。公立でも民間でも格差なく仕事ができることでやる気や働きやすさにつながり、子どもたちに返せる。制度を存続し、これ以上減らさないでほしい。
	国の職員給与は短大卒後5年目までしか考えられていないが、現場には20年30年働き続け、母親のサポートができる力量が必要。子育てが難しい今こそ保育士が働き続けられる条件が必要。制度の役割を考え、継続を期待する。
保育は経験。現場の職員や保護者は今回の内部評価はこの全てを否定するものと思っている。人件費などの運営費等は公的に保障していただきたい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	補助金の廃止や削減はしないでほしい。どの子どもにも同じ質の保育・福祉を保障する大切な必要な補助金である。
	保育士の仕事も増えている中、給与面も保障し、専門的知識を積み重ねた保育士が増えることが大切。安定して働き続けられる給与の保障を守ってほしい。
	今の運営費でも子どもたちに安心安全な保育をするのは大変。運営費が削られると、アレルギー対応や産休明けの保育もやっていけなくなる。また、安全の面でも心配。
	民間保育園で働いている。今ある運営費でも不十分と感じる。削られては子どもたちに安心と安全を保障することができない。
	民間保育園で働いている。親たちの要求や質の高い保育が守られなくなる。必ず存続を。
	本来、公立保育園を増設、新設していくべきところ。安上がりな民間の運営費を減らすことなく子どもたちが同じ保育の基準を受けられるようにしてほしい。
	民間保育園で働いている。長時間保育や産休明けの預かり、アレルギー食対応もしている。運営費が減らされると親の要求に答える保育はできなくなる。
	これまで民間保育園で働き続けられてきたのは、補助金があったからこそ。必ず存続を。
	公立・市立にかかわらず子どもに格差が生じないように、今までどおり補助金を存続させてほしい。
	補助金を減らされては、質のよい保育の環境を守ることができない。自分の生活も不安。補助金を減らさず、格差のない交付を。
	3歳未満児加配職員数を最低でも現状維持してほしい。現在の加配職員数でも手一杯。保育の質を下げないためにもよろしく願いたい。
	不十分な保育体制のまま保育を進めることはできない。安心で安全な保育を追及していく上でも、一人ひとりの発育・発達を保障する上でも、補給金をやめないでほしい。
	補助金が減らされるとベテラン保育士の雇用が難しくなり、保育の質の低下につながる。公立・民間が一緒に名古屋の保育を充実させるためにも、制度を堅持してほしい。
夜間保育園に勤めている。保育士には子どもの発達保障以外の能力も求められ、それに答える経験や知識が必要。子どもたちの心身の健全な発達には今よりも手厚い職員の配置が必要。	
削らないでほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	この補助のおかげで公立でも民間でも差別されことなく子どもたちが大事にされる保育が守られている。要求すべてに公立が答えられない中、民間での保育も行われる。
	削減反対。
	削減反対。
	削減反対。子どもに平等な保育を望む。公立でも民間でも同じ保育の質を保障してもらいたい。
	削減をしないように。
	この補助金のおかげで公立も民間も同じ質の保育を子どもたちに保障してこれた。名古屋の保育の質を守るために絶対必要。
	公立でも民間でも望ましい水準での保育を受ける権利を保障するための大切な制度。名古屋の保育が高い水準にあるのはこの制度による所が大きい。充実していくことが求められる。
	すべての子どもが平等に保育を受けるために欠かせない制度。
	既存の保育園の運営を難しくする補給金の減額には納得がいかない。親たちはほとんどが市税を払っている現役の納税者である。
	この事業を見直すということは、同じ名古屋の子どもたちの中で差別をするのと同じ。他自治体と比べて低いほうに合わせるのではなく、これまで質の高い保育をするために絶対に必要なお金だとプライドを持ってください。
	この制度を見直すことで、この仕事に誇りを持って働いている保育士たちが生活できなくなり、離職してしまう可能性が十分にある。質の高い保育が保てるためには経験も必要。
	削減反対。
	保育の現場は大変な状況、定員超えでの入所児童が当たり前になっており、つらい現状。絶対になくさないで欲しい。
	なくなったら長く働き続ける保育士も減ってしまい質も下がるので、維持してほしい。
なぜ見直すのか。この制度がなくなると、私たち若手の職員は働き続けることが出来なくなってしまいます。働き続けるために、保育の質を落とさないためにも、なくさないでほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	このおかげで経験をつんだ職員が働き続けることができる。経験をつんだ職員が働けなくなると保育の質が低下する。維持してほしい。
	財政不足を理由に子どもの処遇にかかわる予算を削減することはやめてほしい。
	保育のお金を削減して日本が良くなるはずがない。補給金の削減は反対。
	今私の働いている保育園でもパートの方に助けてもらって1人で何人もの1歳児を見ている。これ以上減らされては子どもをしっかり見て保育するのが難しくなる。保育料を上げないでほしい。
	待機児童解消がいわれる中、過密保育が強いられている。運営費補給金が削減されると、今後子どもたちの環境がどうなるか不安と怒りがこみ上げてくる。
	民間保育園にとってなくてはならない大きな財源。ぎりぎりの保育体制では十分な保育ができない。国基準でなく、継続、発展をお願いする。
	自分たち保育士の仕事は誰にでもできる仕事ではない。専門的な知識を身につけ、実践している。しかし、労働的に守らなければ、働き続けることは不可能で、生活が厳しくなればお金のための転職を考える保育士も出てくるであろう。削減や廃止はやめてほしい。
	今のままでも十分に過酷な保育の仕事が更に厳しくなれば経験のある保育士がどんどん減ってしまう。廃止・削減はやめてほしい。
	全国一位の待機児童を抱える名古屋において民間保育園の役割が大きい。保育士たちはかなりの負担を強いられている。この制度がなくなると保育の質が下がるので削減はしないでほしい。
	補給金の見直しはすべきではない。これを見直すと名古屋市内の保育園で事故が起こる可能性もあると思ってほしい。
	保育園の保育現場の現状を知り補給金を見直すべきではないことを知ってほしい。
	保育職場で働く人たちの賃金は高くない。介護職と同じで待遇がとても低い。きちんとした待遇保障をして賃金を下げないで給料を上げてほしい。
	保育士は教員や幼稚園と比べて賃金が低すぎる。国の基準額が低すぎる。この制度は引き続き続けて欲しい
	民間保育所の調理員である。今でさえ精一杯なのにこれ以上給料が下がったら生活できない。もっと私たちのことを考えてほしい。
いい保育をするにはベテラン保育士の指導が必要。補給金を削減すると新人職員ばかりになり、いい保育、悩みを持つ家庭の支援ができない。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	保育士が長く働き続けることが保育の質を維持することにつながる。せっかくのいい制度なのになくしてしまうのは残念。
	補助金が減り、今の保育園が維持できなくなると子どもを安心して預けられない。よい環境の保育園を残してほしい。
	私達は保育の仕事に誇りを持って、保育の質を落とさず懸命に努力している。廃止、削減反対。
	保育所の質を守るためなくてはならない。廃止には絶対反対です。
	民間、公立であるかは考えずに園を選んできた。認可園であれば同じレベルの保育を受けられるのだと思ってきた。削られると質が保たれなくなる。削減、廃止はしないでほしい。
	今まで運営費補給金があったことで保育の質が守られてきた。これ以上の削減は人件費の削減など質の低下につながる。
	補給金が廃止されると私たちの給料も下がります。今でもぎりぎりなのに少なくなったら困る。
	民間保育園で働く調理員である。これがなくなったら働き続けることがとても難しくなる。続けてほしい。
	保育の専門職の役割はとても大きい。公立保育園も私立保育園も職員の処遇を同等にしてきました。そのため職員が安定して働き続けることができ、男性職員も増えてきた。現在、私立保育所のほうが多くなっていますが、そこで補給金を廃止すると保育が不安定になる。
	補給金があることで経験をつんだ職員が働き続けることができると思う。私もいまの給与でも本当に苦しい生活なのに、補給金が無くなったらもう暮らしていけない。
	補給金を下げるようなことはしないでほしい。年間の行事、準備、研修、クラス会など、長時間ベテランや若手が協力し合って保育を作っていける体制が必要と思う。
	補給金は子どもも親も保育士にとっても重要だと思う。保育所は公的な施設である。削減・廃止は辞めてください。
	民間保育所の安定運営のため必要。経験年数に応じた給与保障や配置基準のため、さらなる拡充を希望する。
	「公立も民間も同じように」と守られてきた制度を崩すなんて事はやめてほしい。現場で働く者として切に願う。
削減・廃止に反対。補助金がなくなるのは、民間保育所が公立と同じ質の保育を保障するのが厳しいなら、質を落としてもしかたないと言っているのと同じだと思う。	
保育をつくっていくうえで、人件費が必要。削減や廃止をしないでほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	保育の営みとは、手間も時間も人手もキャリアも知恵の蓄積も必要。補給金をなくさないでほしい。
	安心して働くこと、子どもを産み育てられる社会であるために、削減すべきでない。他都市比較ではなく、今の基準を変えないでほしい。
	保育士として働いていて給料が低いと感じる。今以上に給料が下がると、現場で働いている人が悲鳴を上げるのはもちろん、薄給ゆえに保育者への希望が減り、結果的に将来の保育の質が下がる。
	保育士が経験を重ね、永く働き続けられてこそ、子どもを見る目を養っていきける。補給金が減らされれば、保育士は永く働いて専門性を養っていくことができない。
	人件費の見直しが必要な意味がわからない。ただでさえ低い。
	保育に携わる人の労働条件を悪くするのか。補給金廃止に絶対反対。
	私たち保育者はよりよい保育をと考えている。必要なところにはお金をつけてほしい。働く意欲を持たせてほしい。
	よりよい保育をしていくため、環境をよくしていくには補助金が必要。
	現在でも高いとはいえない給料が下がるなんて考えられない。よい人材が続けて仕事をするためには、給料の保障は最低限である。
	働く父母が安心して子どもを預けられるためにも、今ある保育の質が下がらないためにも、そして職員が永く働き続けられるように、削らないでほしい。
	補給金がなくなることで職員の給与が減る。今でも他の職種に比べ低い給与で子どもをあずかっている。これ以上減ったら責任を持ってあずかれるのか。維持・向上してほしい。
	他の自治体に比べ、補給金で名古屋市は保育士の給料が高く、この制度はありがたい。維持・発展を望む。
	職員が永く働き、経験を積み重ねていくことが重要。なくてはならない予算。今後とも維持・発展させてほしい。
	「他都市との比較などをふまえ」とあるが、名古屋は名古屋で積み重ねた歴史がある。これからも守りたい。
	名古屋の保育の質が保たれているのは、経験をつんだ保育士が長く働き続けていることがとても大きい。保育園が存続するよう、予算は削らないでほしい。
名古屋市は、この補給金があるおかげで平等な保育が守られている。また、ベテランの保育士が働き続けることができる環境となっている。削らないでほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	他都市が明らかに低い。減らすのではなく、こうすれば減らさずに市の財政も保てるという方法を示すべき。
	削減・廃止はしないでほしい。国や他の自治体の流れには乗らず、子育て支援評価の高い名古屋の保育を守ってほしい。
	安心して子どもを預けられる園があることも安心する環境の一つ。保育の質が下がってしまうことはやめてください。
	自分が働いている園では、3歳未満時の加配職員が2人ついている。保育の質を下げないためにも、よろしく願いしたい。
	保育の質を守るため、補助金をきちんと確保してほしい。
	「他都市と比較等」は「他都市に対するアドバンテージ」という意味での検討を行ってほしい。
	他都市との比較なども踏まえとあるが、費用のかけ方に置くのではなく、子どもたちの健やかな育ちや人権保障に置き換えて、総合的に検討分析してほしい。民間保育園が保育ニーズに率先して応え、超過定員での受入を進めている。民間保育園の条件をこれ以上悪くしないでほしい。現行のように民間と公立の給与の本棒ベースは当然同等であるべき。国が示す基準は最低の基準であり、世界水準から見れば、日本の保育士配置基準は改善すべき基準である。多くの自治体では年齢ごとの保育士配置基準を改善しているが、名古屋市は国基準のままである。それをカバーしているのが補給金である。経験をつんだ学び続ける保育者が必要であり、長く働き続けることが出来る保育園の環境条件を崩さないでほしい。
	補給金を廃止することで、子どものためになることは一つもない。
	補助金のおかげで、公立も民間も同じ質で保育を子どもたちに保障してこれた。福祉・保育の質を守るためにも、削減や廃止をしないでほしい。
	補給金をけずらないでほしい。無駄なところをもっと再考してほしい。
	補助金が削減されてしまうと労働条件も守れず、結果的に保育を必要とする子どもたちに影響が出てしまう。保育の質を守るためにも現行のままをお願いしたい。
	ベテランがいなくなってしまう、パートばかりになってしまうので保育の質を守るためには、削るべきではない。
	絶対必要。無駄なところは他にいっぱいあるはず。
	けずらないでほしい。長く働き続けることは、保育の質を守ることにつながる。なくなってしまうとは働き続けられない。

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	守ってほしい。職場で働きつづけるためには大事は制度である。
	絶対なくさないでほしい。生活を守ってほしい。公立と格差がないことで、自分たちが働いている。保育士の労働を守ってほしい。
	削らないでほしい。
	何でもかんでも合理化がいいとは限らない。絶対なくさないでほしい。
	保育所の補給金をなくさないでほしい。名古屋市の保育の質が高いのは、公立も民間も職員が安心して働ける環境の中で経験が蓄積され、各園で保育が積み重ねられているからである。
	削らないでほしい。福祉施設は市から委託を受けて事業を行っているのであり、そこに格差があってはならない。この制度は必ず守られるべきものだと思う。
	子どもたちの為、親のため、保育園で働く職員にとって、なくてはならないものである。絶対に削るなど考えないでほしい。
	民間保育園で働いている。廃止は本当にやめてほしい。今子どもたちのために働き続けることができるのもこの制度があるからである。
	廃止しないでほしい。
	事業仕分けの中に入れるのはもっての外。福祉を充実させ、直接生活に関係のない事業を事業仕分けしてほしい。
	制度が無くなると、この仕事で生活していくことが難しい。大好きな仕事なのに暮らしていけなくなることを理由に辞めたくはない。絶対取りやめないでください。
	公立と私立の職員の賃金の差をなくすことや、園舎を建てるときの補助があるので、民間保育園が増え、待機児童も減ったのだと思う。
	公私の格差を埋める予算は決して不必要なものではない。公立の保育士も市立の保育士も同じように子どものことを思っているのに、給料に差が発生することがおかしい。名古屋だけだからと切り捨てるのではなくこのまま継続してほしい。
	廃止・削減されると、保育の質を守れない。未来を担う子どもたちの為にも今の制度を継続していただくようお願いしたい。
	名古屋の保育の質を守るために必要である。廃止や削減は絶対にしないでほしい。
働く親たちにとって、この不況の中での保育料をこれ以上上げられることは、とても大きな負担となる。保育料を上げることは絶対にやめてほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費 補給金等	実態に見合った人数配置にし、民間保育所運営費補給金は減額せず、改善していく方向で、より良い保育の質の内容を目指してほしい。
	補助があることで、公立保育所・民間保育所と同じ質の保育を子どもたちに保障してこれた。保育の質を守ることは、これから成長していく子ども達のためでもあるので、削減や廃止をしないでほしい。
	民間保育園の保育の質を下げないためにも削減や廃止はしないでほしい。
	補助金のおかげで、子どもたちが平等に保育を受けることができるので、削減や廃止は絶対にやめてほしい。
	保育の質を守るために補助金は必要だと思う。廃止しないでほしい。
	補助金のおかげで、公立保育所も民間保育所も同じ質の保育を保障してこれた。削減や廃止には絶対反対。
	補助金は削られ、保育料は上がりではこれから生活に見通しが持てない。元気に働き続けるためには、保育者にも子どもにも必要な補助金を削ることは絶対に反対である。
	補助金があるから、公立、民間も同じ質の保育、そして、働く保育者の権利も守られてきた。保育料値上げは反対、値下げすべきである。
	廃止しないでほしい。未来ある子どもたちがよりよい保育が受けられるよう、廃止せず拡充させてほしい。
	保育園で必死になりながら保育をしている。補助が減らされてしまっは困る。
	同じ質の保育を子供たちに保障できるようにしてほしい。削減は廃止をしないでほしい。
	子どもを安心して預けられる保育園を維持していくために補助金は減らさないでほしい。
	安心して子どもを生み育てられる環境をつくるために、ぜひ、民間保育園の現行制度を守ってほしい。国基準は最低基準とも思える。人件費削減反対。
	保育の質を守るため、補給金の削減をしないでほしい。質を下げるようなことはしないでほしい。
保育の質、保育士の労働条件、保育条件等、民間保育園の全ての諸条件は運営費補給金で保障されている。待機児童最多の名古屋市の保育制度を後退させず充実させるためにも、補助制度を存続し発展させてほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所運営費補給金等	民間保育園は、長時間保育、夜間保育、子育て支援センター事業、一時保育など様々な特別事業に取り組んでいる。安定した保育運営をしていくためにも運営費補給金をなくされては困る。
保育所の整備による待機児童対策	3歳未満児の待機数を考えたら市の対策は全く不十分。超過入所は子どもの成長発達にも悪影響を及ぼすことが考えられ、保育所の増設を基本に考えるべき。当面の緊急対策として千種台保育園の受け入れを再開してはどうか。
ひとり親家庭手当	いまの制度でも母子家庭にとって十分な手当とはいえない。母子家庭の年収は低く、一生懸命働いても、人並みの暮らしはできないのが現実。継続的な支援が必要。3年だけとするなら、そういう雇用環境をつくってからにしてほしい。削減・縮小は現実にあっていない。国の児童扶養手当はごくわずか。少子化対策として多子世帯への支援を手厚くするという他の施策とも整合性がない。
	ひとり親家庭に対する支援がひどすぎる。わずかな障害基礎年金を受給したために、児童扶養手当をとりあげ、取り立てのように返せといわれたのは人権侵害だ。
	大都市のひとり親家庭の暮らしは特別に大変。国・県の制度があるからといって大都市名古屋の独自の制度を見直す正当な理由はない。見直しに絶対反対。
	現在離婚を考えており、経済的なことが心配であるので、手当の継続を希望する。
	ひとり親家庭の経済状況はたいへん厳しいと思うので、他の手当や補助と一緒にするのではなく、いっそうの支援に拡充してほしい。
	ひとりで子育てするのはお金もかかり、大変。なくさないでほしい。
	初期の3年間だけ手厚くするというなら、母子家庭はパートでしか企業側が採用しない。子どもがいると業務に穴があくことが多いから。雇用環境をまず改善してからにしてほしい。
	見直す必要はない。
	ひとり親になってしまい、実家で一緒に家族と住んでいて、収入部分で家族全員の収入が関係して、手当が少なくなる、もしくは、もらえなくなるのはどうかと思う。
	手当を含めて年収230万にも満たず、非正規雇用が4割近いひとり親家庭への支給が減った場合、さらにひとり親家庭の負担増大につながり、虐待を誘発する。現在の社会保障はあまりにも高齢者に偏っている。
ひとり親家庭手当をいただき感謝している。養育費もなく、子どもの学費などを払うのも一苦労である。ひとりで家庭を支えることは、とてもたいへんなこと。年齢や支給年齢で一律切ったりせず、それぞれの事情にあわせて支給してほしい。カットしないで充実させてほしい。	
ひとり親で子育てをしていくのは大変なことである。国や県の出す手当が決して生活の不足分を十分に補うものでもないことは明らかである。	

事業名	意見要旨
ひとり親家庭手当	継続してほしい。シングルマザー・ファザーは収入が一般家庭の半分くらいのところが多く、経済的自立が困難。3年で打ち切らず自立できるまで手当を支給すべき。
	ひとり親家庭で頑張ってるのに手当が少なくなれば名古屋市に住めなくなる。仕分けるべき部分は他にあると思う。
	保育所に預けるのもお金がかかるし、女性が働く環境はそれほど良くないので、見直しで減らしたりするのはやめた方がいい。
	ひとりで子どもを育てるには、手当がないと困る。ひとりで育てられない。
民間保育所事業費 補給金等	名古屋市の民間保育所の運営を下支えする貴重な制度。民間保育所の運営に携わるものとして、補給金の縮小は死活問題である。
	年度途中入所を保障するために人材を確保することができるこの制度は民間保育所にとって重要な役割を果たしている。今までも少しずつ削減されており、困っている。なくさないでほしい。
	財政事情をみながら投入する人やお金を考えなくてはならないことは重々承知しているが、他都市と比較して手当が厚いことは誇りとすべきことであり、減税する余裕があるのであれば、事業の継続、拡充をお願いする。
	年度当初の子どもの数で保育士が決まり、途中で増えても保育士が補充されないとたいへん。保育の質を低下させないため、この補助金は打ち切らないでほしい。
	保育所で働く人の生活を安定させるために削減しないでほしい。
	補助金廃止に反対。少子化に歯止めをかける有用な施策の1つと考える。
	補助金廃止に反対。
	補給金等の廃止に反対。子どもを預けている親として、継続をお願いする。
	補給金がなくなることにより、自分たち保護者の保育料負担が増えることは、非常に困る。園の活動も縮小されると寂しく思う。補給金の廃止には反対。
	補給金がなくなると現在のような高い水準の保育をすることができない。また、親の負担が増えて困る。
民間保育園を利用している。子育て中の共働き世帯にとって、重要なサービスであるので、その質を保つため、補給金は継続してほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所事業費 補給金等	反対する。子どもの教育は、政府が応援すべき。
	公立でも私立でも保育の質を落とさないよう必要な援助を続けてほしい。
	今でも保護者の保育料負担はとても大きいのに、これ以上の負担がかかるのは、子育て世代に対するマイナスになる。少子化が進むのも無理はないし、市のためにならない。
	夜間に受け入れてくれる保育園があることは、安心して働けることにつながっている。また、食育も、保育園で補ってくれている。子どもは給食が大好きである。この補助金は存続していただきたい。
	民間認可園で働きながら、民間認可園に子どもを預けている。質を高める努力を怠らない保育士は保育のプロであり、プロでなければできない仕事である。保育士が働けない状況は断固反対する。
	民間保育所の研修、食育の推進、多様な保育サービスの実施にかかる事務経費や、年度途中において児童が増加する現状にかんがみた保育士の人件費の補助など、現場ではぎりぎりの状況で厳しくなっており、一層の補給金の拡充を求める。
	入所できないが入所したい父母が毎日のように見学に来るが、保育士を確保するのもたいへんである。自分たちは待機児童問題に対して努力している。子どもにかかわるこの事業を見直そうということはどう考えているのか。逆に予算を増やすべき。
	待機児童解消のために新園建設や定員増のための改築を民間保育所に求めておきながら、その資金のもとになる事業費を削減することは、待機児童解消の流れにストップをかけることになるので、削減すべきではない。
	保育士確保対策補給金の期間が見直されてしまっている今、安定的な運営を図ることは難しいと思う。
	保育士確保対策補給金の期間が短くなってしまうと、入所児童が増加してしまった場合の運営が難しくなってしまう。きちんと保育士が確保できなければより良い保育を行えないと思うので補助期間を延ばしてほしい。
	乳幼児の健康を守るため、現在歯科検診にかかる経費等の一部を補助していただいている。今後も継続してほしい。人件費の一部を補助していただいているが、前年度のような補助期間にしてほしい。
	少子化時代に逆行する見直しはやめてほしい。
	保育に関する補助をこれ以上削減しないでほしい。
今の状況でも必死で働いているにも関わらず、保育料の値上げはいかかなものか。保育料が払えず、預けられない家庭が生まれる。一人でも多くの子どもたちが良質な保育を受けられるような名古屋にしてほしい。	

事業名	意見要旨
民間保育所事業費 補給金等	絶対廃止しないでほしい。
	職員:園児の比が4:1 6:1になれば、必ず見落としにより事故が起きたりする。保育量も上がると仕事をしていても負担が大きくなり辛い。ぜひ今の制度を継続してほしい。
	年度の途中で子どもを預けるときの、保育士が少ないと困る。公立と民間の格差を作らないでほしい。
	保育士確保対策補給金をなくさないでほしい。
	保育士確保対策補給金をなくさないように。
	なくさないで。これ以上人が確保できなくなると、子どもたちが安心して育っていけるような環境ではなくなってしまふ。
	保育士確保対策補給金をなくさないでください。
	保育士確保対策補給金をなくさないでください。
	保育士確保対策補給金をなくさないでください。
	民間保育園で働く保育士である。名古屋市は公立と民間の格差がないのが素晴らしいところ。この制度は必要なので廃止しないでほしい。
	民間保育園で働いている保育士である。削減、廃止したら働き続けられる仕組みがなくなり質の低下につながる。なくさないでほしい。
	現在の補助金をなぜ他都市と比較してカットしていくのか。他都市が増やせばいいではないか。
	父母は、ただ保育してもらえらる場でなく、安心して仕事ができる専門的な施設を求めている。今の補助金でも働き続けられず、保育士を辞めていく仲間が多い現状。これ以上最低基準を下げないでほしい。
	現時点でも、保育体制も保育予算も厳しい。障害児保育、延長保育、給食ができなくなる。
	公・民間問わず、どこの保育園に入っても等しく保育が受けられ、安定した職員配置・職員のキャリアの下で政策が行われるよう願う。事業費を削らないでほしい。
民間保育所の調理員をしている。現在、給食予算はギリギリ。子どもたちの給食が貧しいものにならないように、現状の維持・発展を望む。	

事業名	意見要旨
民間保育所事業費 補給金等	補給金を減らすと安定した保育サービスは提供できない。今以上のものが 必要。
	安心して子どもを預けられる園があることも安心する環境の一つ。保育 の質が下がってしまうことはやめてください。
	「他都市と比較等」は「他都市に対するアドバンテージ」という意味で の検討を行ってほしい。
	他都市との比較なども踏まえとあるが、費用のかけ方に置くのではなく、 子どもたちの健やかな育ちや人権保障に置き換えて、総合的に検討 分析してほしい。民間保育園が保育ニーズに率先して応え、超過定員で の受入を進めている。民間保育園の条件をこれ以上悪くしないでほし い。現行のように民間と公立の給与の本棒ベースは当然同等であるべ き。国が示す基準は最低の基準であり、世界水準から見れば、日本の保 育士配置基準は改善すべき基準である。多くの自治体では年齢ごとの保 育士配置基準を改善しているが、名古屋市は国基準のままである。それ をカバーしているのが補給金である。経験をつんだ学び続ける保育者が 必要であり、長く働き続けることが出来る保育園の環境条件を崩さない でほしい。
	補助金は削られ、保育料は上がりではこれから生活に見通しが持てな い。元気に働き続けるためには、保育者にも子どもにも必要な補助金を 削ることは絶対に反対である。
	これ以上の保育料値上げは少子化にも拍車をかけられると思われる。むしろ 補助を増やし、保育士の負担と家庭の負担を減らすべきと思う。
トワイライトス クール	トワイライトスクール、留守家庭児童健全育成事業、児童館は同じ目的 であり、学校で実施しており安心できるトワイライトスクールに統合し て、トワイライトスクールを充実するのが合理的だと思う。そのうえ で、午後7時まで、有料で実施するのはどうか。
	留守家庭児童健全育成事業の施策貢献度は、トワイライトスクールと同 じく極めて大きいと考える。対象の大きさ（量）が貢献度に影響を与え るものではない。利用者や現場で関わる者は、どちらも充実させてほし いと願っている。学童保育の予算が少ない。学童保育はトワイライトス クールと同等以上の貢献・役割・社会的な機能を持っているというのが 実感。
	学童保育とトワイライトスクールでは行っていることが違う。
	トワイライトはA評価で現状でも十分貢献できている。時間やお金など にとらわれて大人の都合が優先しているように感じる。サービスの受益 者である子どもたちの生の声を聴くべき。選択を少なくする統合や整理 にはならないはず。有料化は大賛成。
	トワイライトスクールと学童保育では、もともと性質が違うので、同じ にはできないと思う。

事業名	意見要旨
トワイライトスクール	学童保育は小学生の子どもを保育する場所、トワイライトスクールは遊び場所であり、役割が異なる事業を一緒にしないでほしい。一体化反対。
	トワイライトスクールの実績は全校生徒に対して25人くらいであるのに「極めて効果あり」、学童保育は「効果あり」となっているのは恣意的な評価。 トワイライトスクールと学童保育の関係整理となったが、学童保育は子どもプランでなくなってしまいが、子どもプランは利用者が少ないので、お金の無駄づかいになる。学童保育はトワイライトスクールとは別のものであり、まとめようとししないでほしい。
	あってもよいが、なくてもよい。財政難なら削ればよい。
	現在利用しているが、1年生が4月末まで利用できない。働いている親にとって、その約3週間がとても心配である。4月入学時からの1年生の利用を検討してほしい。
	一番良いところは、金がかからないところだと思う。
	春休み・夏休み期間中の時間帯は9時からであり、朝早く家を出る保護者は利用できない。指導員は定年退職した教職者公務員の受け皿にすぎず、指導能力がない。
	留守家庭児童健全育成事業との差別化を図ってほしい。遊びの場の提供というよりもあずかってもらうという認識がまだまだあり、学童保育との比較対象になっている。
	留守家庭児童健全育成事業との一体化反対。
	留守家庭児童の子も利用しているが、大きくなったときに、寂しさや悩みを受け止めてもらえなかった感情がどうなるか心配。
	目的が違うものを一緒にしても、両方が不十分で本当に必要なサービスを受けることはできない。それぞれを充実させる動きを作ってください。
事業目的を逸脱して託児所化している。学童保育と事業目的・利用目的において明確なすみわけをすべき。トワイライトについては午後5時程度までとし、月額1000円～2000円利用料を徴収する。学童は市の委託とすべき。	
両事業の役割を明確にし、共存共栄を図ってほしい。トワイライトスクールに事業費がかかりすぎであり、留守家庭事業の方にまわしてほしい。利用者にとって、選べるのが親切ではないか。	
留守家庭児童健全育成事業助成	トワイライトスクールと学童保育は目的も役割も全く違う事業である。モデル事業は無駄であることがはっきりしたので、今後は学童保育施策に予算をかけるべきである。

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	学童保育の予算の増額を望む。
	学童保育は絶対に必要。他の事業との一本化なんて考えられない。
	学童保育は何ものにもかえられない大切な事業である。今後も更なる予算の増額を行っていただきたい。
	学童保育の助成金をこれ以上切り下げることなく更なる助成金の増額をしていただきたい。
	子どもの健全育成のためにとっても重要な事業であり、チェックを厳しくする必要があると思うが、助成の一層の充実が求められる。子どものいる世帯だけでなく、社会の安全、継続のために必要な事業である。
	学童保育の助成金をもっと増額してほしい。
	学童保育にはもっと予算が必要。ぜひ助成金の増額をしてほしい。
	トワイライトスクール、留守家庭児童健全育成事業、児童館は同じ目的であり、学校で実施しており安心できるトワイライトスクールに統合して、トワイライトスクールを充実するのが合理的だと思う。
	学童保育は長年、地域、保護者によって運営されてきた。トワイライトスクールの影響で、児童数確保が難しくなり、閉鎖するところもある。昨年から国基準並みになり、増えたところも多くあるが、児童数が少ないところは逆に助成金が減り、運営が困難になっている。大幅に助成金を増やしてほしい。
	学童保育には予算が必要。助成金をもっと増やしていただきたい。
	夫婦が共働きなので、保育園や学童保育を利用しており、現在の状況を続けられなければ安心して働くことができない。学童保育への助成金が充実し家庭の負担が減ることにより学童への入所を考える家庭がもっと増えることは間違いないと考える。同学年ではない縦割りの人間関係が築けることから子どもの成長によい影響を与え、親御さんのふれあいも貴重である。
	学童保育で働いている。指導員として親代わりに子ども達を受け止め、生活している。学童保育は留守家庭の子どもの生活の場。トワイライトスクールは、子どもの遊ぶ場。歴史的経過も役割も機能も全く別のもの。学童保育はもっと予算を増やし、保護者負担を軽減すべき。全国的には学童保育の必要性がどんどん高まっている。片親家庭は学童保育に保育料の問題で入れない現状があり、学童保育内で減免制度を作ったりして、少しでも安心して子育てができるようにしている。

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	<p>学童保育で生活しました。入所したころは不安だったが、指導員の人に受け止めてもらい安心できるようになった。学童保育があったから安心して楽しく生活できた。これからも安定して運営できるよう助成金を増やしてほしい。</p>
	<p>子どもを学童保育に入所させお世話になった。当時は助成金も少なく、バザーなどで資金を確保し、苦労した。学童保育は、保護者と地域の方々の努力で運営されている。必要性は高まっているので、助成金を増やしてほしい。トワイライトスクールは子どもの遊び場で、役割も目的も違うものを一緒にすることはできない。</p>
	<p>学童保育の指導員をしている。経済的負担が多く学童に入所できない家庭が増えている中、学童保育の予算は微々たるもの。新しい事業に予算を増やさず、今ある学童保育の予算を増やしてほしい。留守家庭の子どもに学童保育はなくてはならない場所である。</p>
	<p>留守家庭の子どもを生活を守る場合は、留守家庭児童育成会（学童保育所）しかない。無理やり全児童施策と一体化する方向性が持ち出されているが、もともと、目的の違う事業を一つにすることには、無理があると思う。未だ全校区に留守家庭児童育成会がない現状を重く受け止めて、助成内容を大幅に向上させていくことを望む。</p>
	<p>安定した運営が行えるよう助成金の充実をお願いする。</p>
	<p>保育子育て費を削減するとはなにを考えているのか。助成金の引き上げを要求する。今年度も全然少ない。</p>
	<p>学童保育の指導員をしている。安定した保育をするためには、同じ指導員であることが大事。父母の経済的負担が多く、運営もぎりぎり。経済的理由で退所せざるをえない子がいるときが一番苦しい。もっと補助をしてほしい。学童保育は保育する場で、トワイライトスクールは遊び場で学童保育の代わりにはならない。減税のために保育料の見直しなどを行うのはおかしい。学童保育所の土地や建物を公的に保障してほしい。</p>
	<p>学童への助成金が足りなく、必要な指導員の確保が困難で、運営が厳しい。安定した運営ができるよう助成金をあげてほしい。運営が安定すれば、より良い保育ができるようになる。この状態が続くと閉鎖する学童が増え、子どもにとって良くないことになってしまう。</p>
	<p>学童保育はそのまま残して、助成金をもっと増やしてほしい。</p>
	<p>子どもを学童に預けているが、助成金が減れば、親の負担金が増える。退所も考えなければならなくなる。トワイライト以上の助成をしていただきたい。</p>
<p>助成を、公的施設＋使用料にシフトするよう検討をお願いする。学童の運営費は1千万円を超え、片手間で行うことには無理がある。親は子どもの卒業とともに入れ替わり、長期的な判断ができない。トワイライトスクールとは目的も役割も違うものであり、学童保育を充実させてほしい。</p>	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	学童保育所に入所させるには経済的負担が多すぎるにより、退所を考えざるをえないことが多い。負担が軽くなるよう補助をしてほしい。
	学童の助成金を増やしてほしい。
	学童の助成金を増やしてほしい。
	学童保育にかかわる名古屋市の予算は今でも指定都市で最下位に近いので、これ以上削るところはない。放課後子どもモデル事業は利用率が低いので、これを廃止して、留守家庭児童健全育成事業に一体化したほうが財政上は効率がよいと思う。
	学童の運営もぎりぎりの状態のため、さらなる父母負担金増額をせざるを得ない状況。このままでは学童の存続ができなくなってしまう。助成金を大幅に増額してほしい。
	留守家庭児童健全育成事業の施策貢献度は、トワイライトスクールと同じく極めて大きいと考える。対象の大きさ(量)が貢献度に影響を与えるものではない。利用者や現場で関わる者は、どちらも充実させてほしいと願っている。学童保育の予算が少ない。学童保育はトワイライトスクールと同等以上の貢献・役割・社会的な機能を持っているというのが実感。
	入所数は年々増えている。入所したくても学童保育の負担金が高くて入所できなかった家庭がたくさんある。助成金の大幅な増額などの手を打ち、入所希望の世帯が入所できるようにしてほしい。入所している親の声は、「学童に入れてよかった」。少子化対策にもなるので、安心して働き、子育てができるようにしてほしい。
	評価票を見たが、トワイライトスクールとの事業費の差が大きくてびっくりしている。助成金が少ないので保護者の負担は増えている。逆に指導員の給与は低いまま。日々安定した保育ができるよう助成金を増額してほしい。
	夏休み等長期休業期間や土曜日も親身に保育してもらえる学童保育所に感謝している。学童保育は預けている父母が互いに助け合って子育てしている実感があり、子どもも指導員や子ども同士の中でゆっくり成長している。トワイライトスクールと違って、保育園のようにしっかりと受け止めてもらっているという実感がある学童保育所への制度充実、育成会への運営支援をさらにお願したい。
	学童はお金がかかりすぎる。補助をお願いする。学童を助けてほしい。
父母が学校に迎えに行かなければならないのに、行けないとき学童の指導員に引き取りにってもらった。学童は必要な施設。仕分けを行わないようお願いする。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	親にとって都合のよい託児所と化しているトワイライトスクールより、学童保育のほうが子どもの利益を尊重しているし、保護者も親として成長できる。保護者の負担は過大で、市は精力的に補助なり支援を行っていくべきだと思う。
	学童保育をもっと充実させてほしい。トワイライトスクールとは目的も役割も違う。
	特に1人親家庭等、学童保育を必要とする子どもが入れる施設として、学童保育を充実させてもらいたい。
	学童保育とトワイライトスクールでは行っていることが違う。トワイライトスクールでは学童保育の代わりになるわけではなく、学童保育が好きだという子どもたちもいる。学童保育が続くように助成金を引き上げてほしい。
	学童の助成金を増やしてほしい。学童とトワイライトの違いを把握してほしい。
	学童の助成金を増やしてほしい。指導員の経験を助成金に反映させてほしい。
	子どもたちが安心して生活を送れる場である学童保育所をなくさないでほしい。親にとっても子どもを預けて安心して働ける場でもある。
	子どもを安心して預けられるのは学童保育以外考えられない。負担を感じることは保険料が高いこと。助成金を増やすようお願いする。指導員の雇用、身分保障を改善してほしい。
	学童の助成金を増やしてほしい。
	親も子も安心して過ごせる場所なので学童を減らさないでほしい。
	なぜ学童の成果を聞いて書いてくれないのか。評価票はトワイライトスクールの実施内容だけが詳しく書かれており、目的の表現も差がありおかしい。同内容で評価してほしい。利用人数が多くなることで助成金が減るのはおかしい。指導員を安定的に雇用できるよう支援してほしい。助成金を増やしてほしい。
	B評価になっている学童保育をA評価にするための工夫や施策が必要なのではないか。時間やお金などにとらわれて大人の都合が優先しているように感じる。サービスの受益者である子どもたちの生の声を聴くべき。選択を少なくする統合や整理にはならないはず。
	働く親として、学童保育所は安心してまかせられる場。助成金を増やしてほしい。指導員の経験を助成金に反映してほしい。

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	母子家庭で、学童にたいへんお世話になっているが、お金がかかるのが大変。助成金をもっと増やしていただきたい。助成金が増えれば、学童運営の危機、各家庭の負担金など、いろいろな面で改善できると思う。
	トワイライトスクールより学童保育のほうが親として安心。学童の助成金を増やしてほしい。
	私たち働く親にとって学童保育所が必要で、子どもたちも大好きである。子どもの遊び場として開放されているトワイライトスクールと、留守家庭の子どもの保育をしている学童保育所は目的も役割も違う。トワイライトスクールは友達とあそぶことができても、それだけのつながりである。学童保育所には生活があり、親子・兄弟のようなつながりがある。違いを認識したうえで、学童保育所への補助もしっかりしていただきたい。
	学童保育に通う子を持つ親としては、トワイライトスクールと学童保育の目的・役割の違いを実感している。働く親にとっては、学童保育は第2の家であり、トワイライトスクールとは比べ物にならない。学童保育の存続が必要。助成金の引き上げを望む。
	トワイライトスクールが学童保育の代わりになるわけではない。指導員の手厚い保育や、土曜保育、仲間との絆など、学童にはすばらしいところがたくさんある。自分の子どもも学童が大好きである。
	保護者の稼働的、経済的負担が多すぎる。学童保育所もぎりぎりの運営である。もっと補助してほしい。土地・建物も市の責任で用意してほしい。
	自分の子どもは学童保育で育ち、お世話になった。経済的にとても大変だった。いつまでも続くよう、助成金を引き上げてほしい。
	トワイライトが学童保育の代わりになるわけではない。自分の子どもも学童が大好きである。
	生活の場である学童をなくさないでほしい。自分の子どもは軽度障害があり、トワイライトスクールになじめず、同じ指導員、同じメンバーの学童で成長することができた。トワイライトスクールと学童は違う。学童への補助をもっと増やしてほしい。
	保護者の負担が多すぎる。お金のことを心配せず学童保育所に入れるよう、もっと補助してほしい。土地・建物も市の責任で用意してほしい。
	保育に分配されるお金が削られれば、父母の負担は増えるばかりで、生活が成り立たない。食べるために共働きをしているのに、保育にお金がかかるとは、子どもを預けることができず、困る。
経済的な負担が多すぎるが、トワイライトスクールが学童保育の代わりにはならない。学童保育所もぎりぎりの運営。助成金の引き上げを求める。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	<p>学童へ子どもの保育をお願いしている。指導員は子どもにあわせて接してくれる。定期的に指導員と保護者で意見交換し、お互い、保育・子育てに役立っている。他学年の児童と一緒に生活していくなかで、自分の立場の理解や接し方について学んでいる。学童に助けられている。</p>
	<p>学童保育所の父母会長をしている。学童保育とトワイライトの役割は異なり、父母・指導員が協力することで人のつながりができ、子育ての悩みを共有でき、指導員、異年齢の仲間とその父母達に見守られて育つことができる等の良い点がある。学童保育の助成を充実させるべきと考える。</p>
	<p>学童保育所は、共働き家庭にとってはなくてはならないもの。指導員の創意工夫のもと、異なる年齢の児童が集い、第2の生活の場所となっている。指導員への報酬は他都市と比べても貧弱で、経験に見合った加給はほとんどなく、労働条件は厳しい。学童保育所の待機児童の増加や入所料の問題から、ほぼ無料という理由で、趣旨が異なるトワイライトスクールへ子どもを預ける例も聞いている。この事業の拡充を希望する。</p>
	<p>学童は、子どもたちも安心できる場所で、遊ぶだけでなく、異年齢集団のなかで色々なことを経験し学んでいる。学童の助成金を増やしてほしい。</p>
	<p>子どもの個性を大切に保育している。お金のために働いて、子どもを預けているが、負担が多すぎる。学童に預けたくとも、金銭的な理由でできない方もいる。トワイライトにも行けない子がたくさんいる。学校にあるから行けない子、来るなどと言われる子である。自分の子どもも学童保育が大好きである。助成金を引き上げ、誰でも入れる学童にしてほしい。</p> <p>学校の中で、管理の元で、子どもたちが遊んでいるのがトワイライトスクールであり、親が働く間、家と同じように安心して過ごせるところが学童だと思う。保育を、誰もが好きな時だけ時間をつぶさえる場と一緒にできない。合同にしないでほしい。</p>
	<p>学童保育は小学生の子どもを保育する場所、トワイライトスクールは遊び場所であり、役割が異なる事業を一緒にしないでほしい。一体化反対。</p>
	<p>トワイライトスクールの実績は全校生徒に対して25人くらいであるのに「極めて効果あり」、学童保育は「効果あり」となっているのは恣意的な評価。</p> <p>トワイライトスクールと学童保育の関係整理となったが、学童保育は子どもプランでなくなってしまいが、子どもプランは利用者が少ないので、お金の無駄づかいになる。学童保育はトワイライトスクールとは別のものであり、まとめようとしてほしい。</p> <p>学童保育の予算を増やし、多くの留守家庭児童が入れるようにしてほしい。</p>
	<p>学童保育の内容の充実、職員待遇改善のため、助成金の拡充をお願いする。学童保育がなくなれば、子どもの影響だけでなく、親も大きな変化を強いられる。学童保育は子ども・親ともに必要としている現状を理解してほしい。</p>

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	自分の子どもは、学童保育があるからこそ、安心して働き続けることができる。学童をなくしたり、別のものにするのはなく、充実させてほしい。
	学童保育の中身が大きく変われば、自分のように子を産み育てようとする親が減るのは間違いない。変えていくのではれば発展的にお願いしたい。
	子どもを持つ親である。学童があることで、親も安心して働け、子どもも安心・安全に成長できる。今の学童が変化しないように望む。
	学童をなくさないでほしい。
	学童では、日常の会話、挨拶も、生活を通じて子どもに教えてくれる。絶対になくってはならない場だと痛感している。学童を守り、運営が厳しくなることのないよう、充実させてほしい。
	子ども達は学童保育を楽しんでいる。いつまでも学童が続くよう助成金を引き上げてほしい。
	学童の父母である。トワイライトと学童を一緒にするのは反対。学童は学童がいい。
	経済的に負担が多すぎる。学童保育所もギリギリの運営をしている。お金のことを心配せずに学童保育所に入れるようにもっと補助してほしい。
	子どもが喜んで通っている。トワイライトスクールに統合させ、学童保育を廃止するのは反対。
	保護者の就労支援のためにも、子どもたちの健全育成のためにも、欠かすことのできない事業である。高い保育の質、保育実践を守るため、助成金の大幅な増加をお願いする。また、市の責任で土地の確保を実施してほしい。
	学童への助成金を増やしてほしい。 学童はただの託児ではなく、指導員、地域の方々、父母との地域に根ざした交流の中、ともに子どもたちを見守り。育成できる場である。親の仕事で保育に欠ける子も、鍵っ子にすることなく、トワイライトでは対応できない朝夕の時間帯にも助けて頂いている。
ひとり親家庭である自分にとって学童保育は必要なので、この助成はとても助かっている。ひとり親家庭にとっては、効果は、極めて大きいです。トワイライトスクールとは、「保育」と「スクール」の名が示すとおり、全く異なる性質のものであり、異なる目的の事業を一体化することは、子どもの健やかな成長の妨げになる。また、必要性でいえば、「スクール」よりも「保育」が優先のはずで、予算が低いのはおかしい。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	<p>学童保育は、子どもにとって憩いの場で、指導員のもと、仲間とのつながりを深め、自分も成長できる。トワイライトスクールでは楽しく過ごせず、行かなくなる子どももたくさん見てきた。学童とトワイライトでは中身が違いすぎ、とうてい一緒にできるとは思えない。</p>
	<p>共働きで働いており、発達障害がある子どもをあずけているが、保育のプロである指導員に保育をしていただけることにより、安心して仕事ができる。また、18時まで迎えることは困難な状況で、プラス1時間は大変ありがたい。今後更なる助成をお願いしたい。</p>
	<p>学童保育は生活の場で、トワイライトスクールとは目的も性格もまったく異なるもの。学童保育について、市が直接責任を持つべき。施設、職員体制、人件費等、安定した運営ができるよう、助成を拡充すべき。</p>
	<p>市民の行政サービスが値上がりしたらたまらない。学童保育を絶対後退させたりしないでほしい。</p>
	<p>学童保育所の指導員であるが、この仕事を続けていけるのか不安を感じている。家庭を持って子を産み育てていきたいと思っているが、家庭と両立できるのか。自分が休めば他の職員に負担がかかる。子育てをサポートしている自分が、子育てしにくい状況にある。助成金をもっと増やして安定した職員にしてほしい。</p> <p>学童保育は、留守家庭児童を対象とした法律に定められている放課後児童健全育成事業である。トワイライトスクールは児童館のように、来たい子がその日にやってくるあそびの場で、援助する内容が異なり、両事業を一体するような施策には反対。</p> <p>学童とトワイライトスクールがあった場合、安くて、運営活動のないトワイライトスクールを選ぶ保護者が多くなるのは当然。学童の保育料を安くし、バザーなどで父母が費用を捻出しなくてもすむよう、学童保育の助成金を充実してほしい。</p> <p>現在、子ども子育て新システムや、子どもルームなどの新たな事業の検討がされているが、保育を市場化させて、本当に必要な子どもたちを救えなくなるような事業は廃止してください。</p>
	<p>子育て支援、次世代育成のために不可欠な事業で、より充実すべきと思う。</p>
	<p>施策への貢献は市民にとって極めて大きいといえる。学童保育では年間通じてのカリキュラムがあり、子どもたちも紆余曲折しながらも充実した生活を送っているように思う。家庭ごとの事情を細かく把握され、父母もできる限り協力し合うことで一緒にみんなで育てているという連帯感も生まれている。</p>
	<p>学童は父母会による運営であり、財源をバザーの収益などでやりくりし、建物を賃借し、指導員の給料を支払い、完全に運営を行っている。早めに現場の声をすくい上げ、問題点を明らかにし、改善する施策をとってほしい。</p>
	<p>トワイライトスクールとは目的も役割も違う。学童保育を充実させるべきであり、一体化という放課後子どもプランモデル事業は廃止すべき。</p>

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	<p>施策貢献度が「貢献あり」なのが納得できない。我が子は、トワイライトスクールや放課後子どもプランモデル事業ではなく、学童保育所がなければ働き続けられない。</p>
	<p>トワイライトスクールと留守家庭児童健全育成事業は一体化では行えない。留守家庭の子どもたちにとって家庭のかわりとなる場所に、不特定多数の子どもたちが遊びにくるなんてありえない。放課後子どもプランモデル事業は、留守家庭健全育成会に比べ負担金が軽いにもかかわらず実際の利用者は留守家庭健全育成会とさほどかわらない。</p>
	<p>トワイライトと学童、それぞれに意義や市民ニーズがある。父母たちは、学童を運営するために土日返上で活動している。働く親をサポートするためにも、助成金の充実をお願いしたい。</p>
	<p>トワイライトスクールとは目的も役割も違う。学童保育を充実させるべきであり、一体化という放課後子どもプランモデル事業は廃止すべき。</p>
	<p>学童は子どもにとって第2の家庭。トワイライトスクールとは役割が違うので、分けて考えてほしい。必要な子がすべて入所できるよう、学童への助成金の充実を望む。</p>
	<p>トワイライトスクールと比較し、あまりにも事業規模が小さい上に運営に苦慮している。根拠法令もしっかりしているのに、子どもたちは劣悪なプレハブで生活しなければならないのか。</p>
	<p>トワイライトスクールと学童保育の一体化に反対する。留守家庭児童には、「生活の場」「家庭に代わる場」を、全児童対策のトワイライトには、「体験・学習の場」を、それぞれ充実させてほしい。</p>
	<p>トワイライトと学童、どちらも必要だが、一体化は無理。今のままで、助成金が増えると親としてはありがたい。学童の維持を希望する。学童は月2万円もの保育料、トワイライトは年間1,000円程度なのにもかかわらず、学童に行かせている父母がいることをよく考えてほしい。</p>
	<p>施策への貢献度は極めて大きく、「貢献あり」という評価の根拠は間違っている。トワイライトスクールは、この事業とは目的が異なり、全児童を対象とするスクールである。また、不登校の子どもは参加しないし、高学年に不向きなこともデータから明らか。留守家庭児童健全育成事業は、子どもの発達に応じて、毎日同じ指導員が保育を行っている。</p>
	<p>学童とトワイライトスクールは目的も役割も異なる。時間外の対応、屋外保育の充実、各家庭の参加意識などは、トワイライトではできない。放課後子どもプランモデル事業は廃止すべき。学童保育の充実と助成金の増額をしてほしい。</p>
<p>保育の専門家が共働き等で満足に下校後の子どもたちの保育ができない家庭の役割をサポートしている。また、家庭の役割のみならず、子どもたちのたて・よこのつながりについて学ぶ場であり、それができるのは学童保育ならではの。現在の学童のあり方が後退することのないよう推進していただきたい。</p>	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	放課後子どもプラン、トワイライトスクールと一体化でなく、学童保育の独自の機能をきちんと保持できる施策にしてほしい。
	助成金をもっと上げてほしい。現状、どこも運営がギリギリである。
	助成金を上げてほしい。モデル事業は廃止して、今あるものを守ってほしい。
	学校が終わってから安心して過ごせる学童をなくさないでほしい。
	トワイライトスクールと学童保育は別のものだと思う。学童とトワイライトの一体化は反対。運営の助成、指導員の経験加給助成もお願いしたい。
	遊び場開放的なトワイライトスクールと家庭的な学童保育とは目的も役割も異なる。事業の違いを認識し、助成をより充実、増額してほしい。
	トワイライトスクールは放課後の遊び場であり、学童保育所は保育の場で役割は異なる。私達働く親は勤労により社会貢献しているのに助成は不十分である。
	トワイライトスクールは学童の代わりにはならない。私たちのように学童保育を必要とするものへの対応を考慮して助成金を引き上げてほしい。
	子どものことを考えて助成金を増やしてほしい。
	指導員の経験を助成金に反映させてほしい。
	助成金を増やしてほしい。
	助成金をもっと増やして学童保育の充実をお願いしたい。
	働く親にとって家庭に代わる大切な施設。現在運営費を増やすイベント等を行っている。女性の社会参加、出生率の低下を防ぐために、学童保育の充実は必須。理解と助成をお願いする。
	トワイライトスクールとの一体化反対。
	子どもが安全に安心して過ごせる居場所づくりが大切。児童期の子どもたちにとって放課後は大切な時間。トワイライトスクールを一体化させるのではなく、それぞれの事業のよさを尊重してほしい。今の助成は額が低く保護者の負担が大きすぎる。助成を増やしてほしい。

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	保護者の負担が多く、学童保育所の運営にも悪影響を及ぼしている。負担が大きい トワイライトにいく 学童の人数が減る 1家庭の負担が増える。悪循環である。このまま減り続けると指導員の人数も減らさなければならず、安全面の不安も増える。助成金の引き上げを希望する。
	トワイライトと学童保育は目的が異なる別のもの。子どもはそれぞれ目的にあった場所を選んで通っている。一緒にするという考えではなくしっかりと意見を聞きとった上で検討していただきたい。
	補助金が少ないため父母の負担が大きく、利用したくてもできない家庭がたくさんある。補助金の充実をお願いする。
	経済的負担が多すぎる。学童保育所もギリギリの運営なので、お金のことを心配せず入れるようもっと補助してほしい。わが子はとても楽しく通っている。
	トワイライト、モデル事業に比べて学童保育はなぜ助成金が少ないのか。学童保育の料金が低いのは助成額が低いから。この学童にもしっかり充実できる策をとってほしい。トワイライトも必要だが一体化という考えはやめてほしい。一体化しても子供や親たちは混乱する。学童保育を必要としている人々がたくさんいる。その人たちは不安な気持ちである。
	学童保育の土地や建物は市が責任を持って保障してほしい
	学童に入りたくても入れない子どもが多くいる。親も子供を残して不安なまま仕事をしている人がたくさんいる。モデルでもトワイライトでもなく、学童保育が必要。助成金の充実で助かる人が多くいる。助成増額をお願いする。
	モデル事業は廃止して、今ある学童を充実させてほしい。
	モデル事業は必要ない。学童とトワイライト、どちらも充実させてほしい。
	市の全小学校にモデル事業を入れるのではなく、学童を作してほしい。モデル事業では学童の代わりにはならない。
	学童は保護者の負担がとても大きい。市が責任を持って運営できるよう補助をお願いする。
	トワイライト、学童、両方が必要。モデル事業ではなく、この2つを充実してほしい。
学童費が高すぎる。トワイライトとは内容が全く違い、学童に入れたい親も多いのに費用が高いためなかなか入所できない方もいる。市がもっと助成金を上げるようお願いする。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	行政主導で新たな施策に踏み込んでいるが、かばん置き場と人がいれば足りる事業ではなく、人を育て、安全と成長という質が求められる。子供たちや保護者の要望を聞いて強引な一体化ではなく学童保育そのもの前進をすべき。
	毎日同じ指導員に囲まれた生活だからこそ安心してすごし成長できる。不特定多数のトワイライトや子どもルームでは健全に成長できない。学童保育制度の充実を検討していただきたい。
	大人の都合ばかりで考えられた子どもルームには反対。学童保育制度を充実してほしい。
	お金を払った家庭におやつを食べさせ、払わない家庭にはおやつがないことを子どもたちにどう理解させるのか。子どもルームは貧富の差を植えつける場になる。学童保育制度をもっと充実させるべき。
	学童保育は就労家庭の援助といいながら、実際は就労家庭はトワイライトを利用している。学童の保育が高いから利用したくてもできない家庭がある。学童の助成金を上げてほしい。
	大人の事情で子どもルームを作らないでほしい。指導員・父母は子どもの健やかな成長を考えている。助成金を上げ、保育料を下げ、誰でも入れるようにしてほしい。
	学童保育とトワイライトスクールは目的も役割も違うもの。一体化という放課後プランモデル事業は廃止すべき。
	働く親にとって学童は必要。安心して子どもを預けられる。もっと助成金を増やしてほしい。
	学童を充実してほしい。トワイライトは子どもの育成につながらない。トワイライトとまではいかないまでも学童の予算を増やしてほしい。
	学童保育とトワイライトスクールは目的も役割も違うもの。一体化という放課後プランモデル事業は廃止すべき。子どもが入所でき親の負担が軽くなるよう助成金を大幅に上げてほしい。
	学童を縮小する方向に進んでいるとしか思えない。トワイライトと学童保育のニーズは異なる。トワイライトと同等か今以上に学童に対して補助してほしい。
	学童保育は子どもの保育の場、トワイライトは単なる遊び場。中身が全く違うのに両者の関係を早急に整理すべきとの評価は疑問。上辺だけで偏った判断はやめてほしい。学童は必要。助成金は少なすぎる。納税者の意見を大切にしてほしい。
	学童保育とトワイライトスクールは目的、役割が違う。代わりにはならない。助成金を引き上げ、保育料を心配せずに入れるようにしてほしい。
学童保育とトワイライトスクールは目的も役割も違うもの。共働きの場合午後6時以降も預かってもらえるところが必要で学童はありがたい。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	フルタイムで働いている。トワイライトは無料で助かるが、時間が短く、実際無理。学童は常に指導員が見守ってくれるので安心して遅い時間でも対応してもらえる。学童の存続、助成をお願いする。
	学童は一年通して内容が充実しており親も安心して仕事できる。今年入所した私の子は障がいがあるが指導員のおかげで助かっている。維持をお願いする。
	制度の充実を図ってほしい。補助金が少なく父母の負担が多い。必要とする子どもが利用できていない。助成金、特に人件費の増額を希望する。土地や施設探しは行政で行う制度を作してほしい。
	指導員の経験を助成金に反映してほしい。
	放課後子どもプランモデル事業反対。学童保育へ予算を充ててほしい。
	指導員は、子どもの気持ちを受け止め、理解し、その上で生活をしている。トワイライトが始まり、学童への入所は激減したが、学童に預ける父母がいないわけではない。求める人がお金の差で選ぶことができている現状をもっと理解していただきたい。
	学童とトワイライトスクールは目的も役割も違うもの。学童のように外へ遊びに出かけたり、様々な体験ができる場所は貴重。
	今の世の中では様々な時間に対応した学童保育の充実が必要。トワイライトスクールはあくまで子どもの遊び場の位置づけなので、親のいない子どもの保育という面では不足。
	もっと市の方が責任を持った制度に変えていくべき。土地と建物、指導員の賃金について特に責任を持ってほしい。トワイライトと学童はまったく違う施策。放課後子どもモデルプランは一体化させたために学童とトワイライトのよい面が損なわれた。一本化させることのないように。
	保育所を卒園した子どもにとってなくてはならない事業。トワイライトスクールは遊びの場であり、子どもの健全育成や安全を委ねる場ではないと思う。学童は他の事業と一体化すべきではない。指導員の処遇改善も強く望む。
	目的が違うものを一緒にしても、両方が不十分で本当に必要なサービスを受けることはできない。それぞれを充実させる動きを作ってください。
学童の指導員をしている。学童保育は働きながら子育てをするのに不可欠。存在をもっと重視してほしい。	
モデル事業、子どもルームに反対。今ある制度の充実をしないで、なぜあえてそれにとって代わるものを作るのか。子どもたちを学校に閉じ込めないでほしい。今ある学童保育所の充実を努めてほしい。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	学童保育は生活の場で、指導員が寄り添ってくれるから安心して働けるが、トワイライトは子どもの遊び場なので親として不安。学童保育の充実を
	学童保育は働く家庭にとっては欠かせないが、料金は安くなく、場所も親が捜さなければならない。学童の指導員もバイトのような金額だが良い人ばかりなのでよりよくしてほしい。
	トワイライトでは飽きる。学童の場が必要なので助成金を多く出して欲しい。
	トワイライトと学童保育所を同じように考えないでほしい。学童をもっと充実して欲しい。
	現在行っている事業はすべて継続してほしい。留守家庭児童育成会の運営助成を引き上げてほしい。
	学童保育の役割をトワイライトスクールが果たすのは無理。学童保育の拡充を進めてほしい。
	新しい施策では、障害を持っている子どもたちの放課後というのは一体どうなるのか心配。新しい施策ではなく、今ある制度の充実にあててほしい。
	専門職の指導員が継続して子どもを保育する現制度は大変有益。継続はもちろん、保育料の高さに利用できない方が多いという現状を考えると助成の拡大をしてほしい。
	経済的な負担が多すぎる。学童保育所もぎりぎりの運営なので補助をお願いします。
	トワイライトスクールとは違って、第2のわが家として預けることができる。放課後プランモデル事業は学童保育所の代わりにはなりえない。学童保育を存続できるよう市が支えてほしい。
	学童をなくしてほしくない。学童が大好き。トワイライトは楽しくないと友達が言っていた。なくさないでほしい。
	トワイライトだとキャンプないしおやつもないから学童がいい。
	学童保育とトワイを一緒にしないでほしい。
学童保育をなくさないで。私は6年間ずっと学童で過ごしている。トワイライトは楽しくないと友達も言っていた。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	私は学童にいるのが楽しい。トワイライトで学校に閉じ込められるのはいやだ。卒業しても帰ってくる場所があってほしい。
	放課後プランもお金だけかかり効果がなかったように思う。今ある学童の補助金を増やして各家庭の負担を減らしたほうが意味があると思う。
	仕事をしているのに、学童を運営するために土日も活動しなくてはいけないことはとても大変なので、活動をしなくてよいように、補助金を上げてほしい。
	学童の補助金を上げてほしい。
	学童の補助金を上げてほしい。父母は休みの日もバザーなどに大変である。
	共働きの家庭にとって学童は安心して働くことの出来る大切な場所。保育料の高さで人数が少ないので、もっと助成金で補助をしていただければ、多くの方が安心して働くことが出来るようになると思う。
	学童が楽しいという声をよくきく。私自身にも孫がいて小学校入学と同時に学童に入所予定。親が安心して預けられるよう助成金を引き上げていただき充実した学童保育所であってほしい。
	トワイライトは学童保育所の代わりにはならない。子どもたちが何を必要としているのかを見極めるのは大人の役割。学童保育という歴史ある保育に関して今一度考えて助成金を引き上げていただきたい。
	助成金をあげてほしい。トワイライトは遊び、地域との交流を主としたもので、専門の知識を持った保育の場を主とする学童保育と同じにはできない。
	トワイライトは費用的には安いので学童保育は高く感じてしまう。しかし、指導員がいて安心して子どもを預けることができる。助成を増やし負担軽減をしてほしい。
	学童保育はトワイライトなどと違って地域にある。お祭りや清掃をして地域の交流があり、仕事を持つ親にとって貴重な機会となっている。助成金が少なく、親の負担が多く、家庭数が減少しているので助成金を増やしてほしい。
	放課後を家族と過ごせる場として必要。
	トワイライトスクールは確かに低価格で済むが、遅い時間まで働く場合、学童保育所に助けられている。助成金の増額をしていただきたい。
内容の充実、職員待遇改善のため、助成金の拡充をお願いしたい。	

事業名	意見要旨
留守家庭児童健全育成事業助成	トワイライトスクールは学童の代わりにはならない。自分の子どもは学童保育が大好きであるが、経済的負担が多すぎる。
	トワイライトスクールと学童は違う。学童保育所は子どもの生活の場で、働く親にとってはなくてはならない。助成金の増額を望む。
	子どものための予算を増やしてほしい。少しでも保護者の負担が軽くなるよう、予算の拡充が必要。
	誰でも安心して、家庭のかわりとなる学童になるよう、保障してほしい。助成金の増額をお願いしたい。
	施策貢献度がB評価なのが納得できない。入所児童が増えないのは、所得が低い世帯への保育料減免が学童の運営側の努力では限界があり、市からの助成金の額が増えないからである。
	年間の延べ利用者数は多い。もっと予算をつけるべき。これまで培ってきた子どもの健全育成のノウハウを現場の者は持っているため、名古屋市の財産として手厚い助成金をつけ、今以上に本事業を発展させてほしい。
	子どもを学童に預けている。学童は第2の家庭。トワイライトスクールや他のどの事業にもない貴重なもの。なぜ改善されたり、見直されたりしなければならないのか。働く自分たちも学童の運営について協力しあっている。他の事業と一体化させるべきでなく、独自の事業として、名古屋市が責任を持っていただきたい。
	トワイライトスクールは遊びの場、学童は生活の場で、役割が違う。すでに整理されているのではないか。一体化では学童が大切にしている部分はおぎなえず、今ある生活が保障されない。今ある形のまま拡充してほしい。
	両事業の役割を明確にし、共存共栄を図ってほしい。トワイライトスクールに事業費がかかりすぎであり、留守家庭事業の方にまわしてほしい。利用者にとって、選べるのが親切ではないか。
	トワイライトスクールや学童保育は今までやってきた実績があり、早急に関係を整理するのは困る。引き続き助成をお願いする。
学童保育はわずかな助成金と自助努力で40年の歴史がある。施策貢献度は極めて大きいと思う。学童保育への予算を増やしてほしい。	
児童館の運営	トワイライトスクール、留守家庭児童健全育成事業、児童館は同じ目的であり、学校で実施しており安心できるトワイライトスクールに統合して、トワイライトスクールを充実するのが合理的だと思う。

事業名	意見要旨
児童館の運営	総務局指摘でコミュニティセンターの活用というが、もともと子どもが利用しやすいづくりにはなっていない。運営上も制限がある。児童館の機能が果たせるか疑問。また、同じくトワイライトスクールは小学校内で運営されている。児童が放課後を過ごす場が学校だけでよいのか。
子どもに関する公費負担医療	未熟児養育医療給付事業の自己負担分を市が助成する現状の制度を、子ども医療費助成制度の活用でという総務局意見は、公費優先の原則を逸脱するものとして反対である。
障害児施設運営費補給金等	保育所が質の高い実践をしてこれたのはこの制度があったからであり、削減廃止などしないほしい。
	質の高い人員の確保のために、補給金が必要である。そもそも国の人件費単価が低すぎる。他都市比較で考えるべきではない。
	今まであったため、子どもたちに安心して安全、また平等に毎日生活することができている。絶対に削減・廃止は反対する。
	障害を持つ子どもには早期発見、早期療育が大切だといわれている。地域療育センターを増やすことを希望する。また、運営費補給金により、市の障害児や家族に対するケアも守られていると思うので、補給金の存続を希望する。
	人件費に国の基準があるからではなく、国に働きかけていかないといけない。
地域療育センター	市が直接実施することで、障害児のおかれている実態を把握し、どんな政策が必要かを考えていくことができる。民営化・指定管理者制度には反対。
	民営化や指定管理者制度は行政の責任を投げ出すもの。憲法違反だと思う。
	療育センターでは医療の役割が大きく、近年の小児科の医師不足、障害児医療の一般医療機関での受入不足を考えれば、本来は民間で行える事業ではない。
	北部・西部の地域療育センターの指定管理者制度又は民営化について反対する。公的機関として充実させてほしい。
成人の日記念事業	新成人に自立した大人としての自覚を促すために役立っているとは思えない。現在、個人でも情報を集め、思索を巡らすことが可能な時代になった。直接式典を実施する必要性はもはやなく、すぐ廃止してよいのではないか。
小学校1・2年生での30人学級の実施	30人学級は児童の学力向上に有効と聞いた。名古屋の教育行政が後退することがないように期待する。

事業名	意見要旨
小学校1・2年生での30人学級の実施	<p>少人数で1人1人にゆきとどいた教育をめざすべき。先生を雇うお金、教室を増やすお金がそんなにもったいないのか。名古屋市の、国の未来を担う子どもたちにもっとお金を使うべき。先進国の中で、教育費の税金よりの支出がこんなにも少ないのは日本だけである。</p>
	<p>最近の親の子育てを見ていると、少子化で要求が高い。ややもするとモンスターペアレントと言われるような事がおこり、学校現場にストレスをもたらしている。より細かく丁寧に集団適応させていくことで、荒れもふせぐことができる。世界を見ていると少人数学級は当たり前。世界に並ぶ学力を子どもたちに保障していくには十分な教育を行っていくことが大切である。今お金をケチることなく、将来に使ってこそ生きたものになる。</p>
	<p>少人数学級には学力向上の効果がないという話を聞いたことがある。試験の成績や、不登校児童の数について、名古屋市と他の市を比較した結果を示し、効果が示されてはじめて税金を投入することが認められるべき。存続するとしても、入門期において集団生活に慣れることが目的であるならば、少人数学級は1年生だけでよいのではないか。</p>
	<p>最近、親の学校への苦情が多くなり、一人ひとりの子どもをよく把握することが要請されている。ぜひ30人学級を維持し、中学年、高学年にも広げていって欲しい。</p>
	<p>「主な論点」のとおり (国及び県における35人学級との比較を行い、少人数教育の効果を検証し、あり方を検討)</p>
	<p>少人数学級のアメリカやロシアは日本よりも優れた結果を生んでいるか。仮に10人にしたら、効果が得られるのか。たぶん、なんの成果もでないだろう。問題は今の教育システムにあると考える。非人間的である。昔は、崇高な精神があり、一人でも落ちこぼれを救おうと努力していた。これよりも評価が下がっている市立高校の成績をあげるほうに予算を使ってほしい。</p>
	<p>学校のクラスは人数が少ない方が先生のきめ細かい対応ができるので親として安心。自分の子が上級生にいじめられたとき、担任がすばやく動いてくれた。30人以下の学級でなければ、すばやい対応ができたか疑問。残してもらいたい。</p>
	<p>30人学級は推進すべきであり、後退は許されない。人を減らせば節約できるという発想が貧困。今子どもたちを取り巻く環境は精神面では貧しいと認識すべき。行政は教育環境の改善にもっと力を注ぐべき。</p>
	<p>少子化の中、子どもを豊かに育てるためには家庭・地域・学校ともに温かい目で子どもを見ていくことが必要。特に小学1・2年生は教師の負担も大きいので、数を増やすのは逆行である。</p>
	<p>すべての親の願いは3年生まで30人学級を実施すること。</p>

事業名	意見要旨
小学校1・2年生での30人学級の実施	<p>教育効果をどのようなものさしで計るのか難しいが、単に物事を理解させる・覚えさせるという点だけなら少数のほうがいいのは自明のこと。諸外国では15～20人くらいが普通と聞いた。担任の立場では、手のかかる低学年ではできるだけ一人ひとりに手を貸してあげたいと思うはずで、35人に増やすことより30人を減らす方向で考えてほしい。</p>
	<p>ヨーロッパでは数十年も前から20人台の少人数学級が常識。日本が恥ずかしいほど遅れている。名古屋の少し進んだ制度を国の方向にあわせて再検討するなどのもってのほか。</p>
	<p>学歴偏重、超過勤務労働、少子化に加え、電子社会、大方が「個」の生活を強いられている現在だからこそ、社会生活の第一歩は集団生活の基礎・学習の基本をゆったりと教える必要があると痛切に思う。親の責任も果たさせ、未来をしょって立つ骨太の人間を育てる環境づくりは地方自治に課せられた大きな責任。</p>
	<p>1クラスの人数を多くするのは子どもたちを粗末に扱っている。余裕をもって能力を伸ばしてやるのが大人の努め。低年齢の子どもを学校教育でつまづかせてしまうとその後の影響が大きい。先生たちは忙しく、子どもたちは成長の度合いに大きな差がある。今のままで、できたらもっと人数を減らしていただきたい。</p>
	<p>ヨーロッパでは20～15人の少人数学級が多いと聞く。教育こそ日本の生命線。もっと教育のあり方を考えるべき時期。自分は元教員だったが、教育は少人数教育と、教員の事務を減らす方向をめざしてほしい。</p>
	<p>家庭環境が複雑な子どもが増えているなか、充実した教育環境を提供するため、30人学級を維持してほしい。</p>
	<p>先生方は、子どもや親にふりまわされている感じがする。少しでも先生の目がゆきどとくように、30人学級は大切。全学年で30人学級になるとよい。</p>
	<p>高校の教職員であるが、人数は少ないほど、生徒に目が行き届く。小学校1・2年という低学年ではなおさら教師の指導にも時間がかかる。昨今の家庭環境の複雑な状況で、教員にはさらに細かな配慮が求められる。国の政策より充実した教育環境を実施していたのに、35人学級に戻すことはマイナス。継続と、1・2年生以外でも実施できるよう取り組んでいただきたい。</p>
	<p>学校の規模により、1学級の生徒数に差が生じやすくなる。小規模校と大規模校で格差が生じないようにしてほしい。 外国人や発達障害など多様な子どもがいることをふまえて、低学年ではできるだけ少人数編成が望ましい。</p>
<p>義務教育の充実が必要であり、そのためには、教師の研修保障、教育内容や指導方法の吟味が大切。あわせて1学級の児童数等の条件の整備は不可欠。人数が多くなれば個別的な対応やきめ細かな指導はできない。現場の教師の意見を聴くべき。</p>	

事業名	意見要旨
小学校1・2年生での30人学級の実施	自分の子どもも、小学校入学直後に手厚く先生から指導していただいたおかげでスムーズな就学ができ、学力をつけていただいた。最近の教育学の成果から、1クラス25名程度が適当な規模だと報告が出されていると聞いている。小学校1・2年生は、学校の集団生活に馴染み、基本的な読み書きや計算をこなすためにも重要な期間である。先生の激務を軽減するためにも、継続をお願いする。
	退職教員である。学校現場の職員の声を聞いてほしい。少人数学級は現場の切実な声であり、世界のすう勢である。
	小学校1年生は、子どもにとっても親にとっても環境が大きく変化し、先生が1人ずつに向かいあうことが大切だが、個人の努力でできることではない。30人までの学級は絶対必要だと痛感している。1・2年生の30人学級はなくさないでほしい。
	少人数学級は世界の常識。先進国では1学級を2人の先生が教える状況。遅れている国のような教育状況になってはいけない。将来のため少人数学級を進めていってほしい。
	国基準は、先進国の基準に比べて多い。低学年で担任の目が行き届きにくいため「いじめ」「低学力」が不安である。子どもが大切にされ、学力をつけて成長していくことこそ、国の将来への投資と考え、守ってほしい。
	今までどおりの制度を望む。
	自分が教師のときは、朝から晩まで追いまくられる1日で、子どもに寄り添ってという気持ちを持つのが大変だった。本当は全学年30人学級が望ましいが、特に低学年はいろいろな面で手をかけ、時間をかけることが必要。ぜひ30人学級を続けてほしい。
	小学校の教員をしている。現在19人のクラスで、のびのびと学ぶことができる子どもたちは幸せである。教師の目の届くところが一番である。学問的には少人数学級のほうがよいことは定説となっている。見直しには反対する。
	子ども一人ひとりを大切に、落ちこぼれをつくらぬよう、教員の人数を増やしてほしい。少人数学級は必要。
	中学3年まで続けるべき。
種々の要求を持った児童や保護者が増え、現場の教員は本来の仕事以上に時間を取られている。対応する児童が少なければこうしたケースも減るので、学級の生徒数は20人が適当と考える。教育とは、時と場所により種々の様相が現れるものであり、経済効果だけで評価するのは慎むべき。	
40人ぎっしりの学級では、個としての生徒に接するのではなく、集団としてしか接することができない。日本の教育条件は先進国の中では劣悪であり、これから創造的な能力、自分の考えを持って生きていく力を身につけるためにも、少人数教育は大切。	

事業名	意見要旨
小学校1・2年生での30人学級の実施	3年生以上にも30人学級を拡充してほしい。30人学級実施により、欠席する児童の割合が実施前より減少している。「子育てするなら名古屋で」と30人学級を全学年に広げてほしい。
	教育現場に身を置いたものとして、少人数であればあるほどきめ細かな指導ができ、子どもの学習意欲や主体性も高まる。ぜひ、3・4年生にも30人学級を拡充してほしい。
	子どもたちに行き届いた教育を進めるため見直しをしないでほしい。
	子どもの安心していられる場所として学校の教室は大切にしたい。国・県より少ない30人学級にしているのは最善のもの。維持し、小3以上に拡大してほしい。
	事業開始10年で効果について検証とあるが、そんな短期間では出てこない。引き続き30人学級を実施してほしい。高学年までの少人数学級を望む。
	1年生は幼稚園・保育園と同じような感覚で過ごしている子どもも多く、細かな配慮が必要。子どもの様子を受け止めながら、勉強や生活面を指導する必要があると思う。1人の教師で対応する子どもは少ないほうが、より丁寧な対応ができるのは当たり前のことである。子どもに関する予算の削減には反対。
	継続を要望する。様々な生育環境や見過ごされてきた問題が顕在化し、対応に四苦八苦しており、文科省も平成30年までの小1・2の30人学級を目指して定数改善を発表したばかりである。文科省の動向や先進諸国の編成基準こそ見習うべきではないか。
	子どもがより良い環境で育つためにお金を使うことは当然。名古屋の将来を背負って立つ子どもたちに投資してほしい。事業の継続をしてほしい。
	教員をしているが、子どもに向き合い、学習を支えていくためには、人数が少ないほうがよいことは明らか。学力を伸ばすことにつながっている。見直しには納得できない。これまで以上に充実させてほしい。
	塾などにおいても少人数もしくは個別指導の需要が高いと感じる中で多人数化は逆行している。ただし、23年度の予算額が大幅に増大している理由がわからないので、現状の金額でできないのか検討の余地がある。
	教育の現場において効果の発現が確認されているはず。1・2年生だけでなく、さらに上級の学年にまで拡大されることを期待する。
教師がきちんと子どもたちに向き合うゆとりが大切。特に発達障害を持つ子たちの存在が明らかになっている現在、どの子に対しても等しく教育を受けさせようとする少人数学級であることが欠かせない。これ以上の条件の低下をさせないでほしい。	
授業を集中して進めるためにも30人学級は必要。	

事業名	意見要旨
小学校1・2年生での30人学級の実施	教育を民営化することをやめて国の貧困な施策を補うべき。
	名古屋市は30人学級でさえ小1、2に限られている。世界の先進国に学んで更なる少人数学級で子どもたちの成長を保障してほしい。
	国や県の基準に合わせるのではなく、引き続き実践してほしい。3年生以上にも30人学級にしてほしい。
	学級の人数は低学年はもっと減らしてほしい。6年生まで30人学級にしてほしい。予算が増えているが教育は次世代を育てる大切な事業。長期的視野に立って検討してほしい。
	少人数教育は効果がある。子どもたちは大人から目をかけてもらい成長する。たくさんの大人に関わってもらい学校生活を充実させることができる。
	見直しに反対する。理解できない子どもが置いてきぼりにされないためにも少人数学級で授業されるべき。先生の負担を減らすためにも全学年ですべき。
	国や県に先がけて行っている30人学級は非常によい教育環境。子ども一人ひとりに目が行き届き、教育効果が上がる。世界的にも、教育先進国の学級規模はきわめて小さいことから実証済み。
	少人数学級はもっと進めて当たり前。30人学級をやめないでほしい。
	見直すどころかもっと早くから実施されるべき。外国では20人学級が当たり前。教師にゆとりがあって打ち込める保障があってこそ。
	30人学級の施策において「効果が低い」とはどのようなことを指すのか。フォローのいる子ども、家庭が増えてきた中で担任がどの子にも目を行き届かせることは大変重要。むしろ他の学年でも行うべき。
	30人学級から20人学級を目指す等、教師の数を増やすべき。また、すべて正規の先生にすることも絶対必要。
	きめ細かい教育の実践のために後退は認められない。国・県が35人学級であることこそ遅れ。アメリカをはじめ多くの国は25人以下学級。むしろ3年生以上にも拡大の方向に進めて欲しい。
	子どもの細かな指導を推進し成果を見守る視点からも廃止しないで実施してほしい。
	子どもたちのためにもぜひ続けてほしい。
昔のように地域で子どもを見る現状でなく、共働きで子育ても大変。数人の子に、学級が振り回される現状があると聞いており、30人学級を求む。	

事業名	意見要旨
小学校1・2年生での30人学級の実施	名古屋市の教員をしていた。定員は少ないほうがふれあいも多く学習効果も高いと思う。小学校の30人学級は継続してもらいたい。
	子ども向けの予算を削らないでほしい。世界には30人より少人数の学級編成の国々が多数ある。諸外国のように長年続ければ効果が出ると思う。ずっと続けてほしい。
	私たちの小学生のころは、クラス数も人数も少なく、教師にも余裕があった。子どもたちに行き届いた教育をし、おちこぼれを出さない教育を望む。
	30人学級を守ってほしい。
	低学年の先生は子どもの生活習慣にも気を配らなくてはならず、30人でも多い。中・高学年になっても思春期に差し掛かる難しさがあり、すべての学年で30人学級にすべき。
	あまりにも学校現場を知らなさすぎる。集団という意識が薄れており、聞くという習慣が身につけていない児童を多くみかける。親への対応についても、きめ細かい対応を日々していくためには30人以下は必要。
	1クラスの人数は少なければ少ないほどよい。本来は6年生までやるべき。全生徒が習った教科をしっかりと理解できるように30人学級を続けてほしい。義務教育の9年間こそ税金を使うべき。
	少ない人数で先生にしっかり見てもらうことができ、子どもが安心して楽しく学校に通えている。少子化なので、1人1人を大切にしよう30人学級を続けてほしい。
	小学校1・2年生は、幼稚園・保育園の感覚が残っており、教師は目が離せない。生徒は少ないほうがよい。アメリカでは高学年でも20人である。
	やっと2年生まで30人学級が始まった。教員も非常勤が増え、授業も難しい状態。教育が大切にされてこそ未来に希望が持てる。
	学習する内容も増え、先生方の負担も多いので、ぜひ続けてほしい。できれば全学年30人学級が望ましいと思う。
小学校1・2年生のまだ小さな時期は、少人数で先生に見ていただいたほうが親としては安心。精神的な面ではどの学年でも重要かもしれないが、1・2年生の頃は思わぬ事故が多いと思うので、ぜひ30人学級を続けてほしい。	
中学校スクールランチ	「主な論点」のとおり (利用の有無による公費負担の公平性及び1食あたりの適正価格を踏まえた経費削減の検討)
	野菜を中心に残菜が多くでている様子である。冷凍野菜中心の献立では残菜が出て当然。計算上栄養が満たされていても、残菜が多ければ満たされていない。内容をアップすべき。

事業名	意見要旨
中学校スクールランチ	中学校のスクールランチは自校で調理を行い、全校生徒が一斉に同時に食事がとれるように整備してほしい。あわせて、ゆっくりと落ち着いて食事のできる時間を保障してほしい。
	親や子どもが病気がちの場合、お弁当をつくるができない。子どもの唯一の栄養源となっている家庭もあるはず。
	利用の有無で判断するのはやめてほしい。きちんと作ってもらっている。他都市ではやれていない中学校もあり、名古屋はすごい。
	本来、完全給食が望ましい。できれば自校方式で、食育教育として、給食を拡充してほしい。
	この事業の見直しで、そこで働く職員が失業してしまい、市民生活全体に影響が出てくるのが心配。
	退職教員である。6割近くの中学生在が利用しており、保護者の方も助かっている。まずくて冷たいランチボックスを改善するには、充実が必要。
	育ちざかりの子どもにとって大切な給食である。質を落とさないで、値上げもしないでほしい。
	父母の要望で実現したもので、子どもにとっても、よいものだと思う。今のかたちが定着している。1食280円の保護者負担は昼食として重いとも感じる。不景気の中、親の給料も下がり、失業している人もいる。負担額は絶対上げないでほしい。むしろ下げてほしいくらいである。
	見直しに反対。仕事を削って減税すること自体が、地方自治の本旨、憲法に反する。
	教育を重視し、子ども達を力強く育てていくことが大人の使命。スクールランチを経費節減するようなことはすべきでない。
	経費削減を検討する必要はない。
	フルタイムで働いているので、お弁当を毎日作ることは負担なので助かっている。1ヶ月注文すると6,000円近い負担になるため経済的にしんどく、利用しない家庭は、この負担が大きく利用したくてもできないのではないか。中学校は義務教育なので、本来は無償にするのが筋ではないか。
	仕事が忙しくて作れないときは、スクールランチがありがたかった。子どもが望むのであえてお弁当を作っていたので、不公平な印象などまったくくない。まともに食事をとれない子どもたちのためにも、利用価格を上げないでほしい。
働きながら子育てをしている母親にとって、スクールランチがあることは健康管理にも安心。もっと利用が増えるように内容改善が必要だと思う。小・中学校の給食無償化の検討を現実課題のものとして受け止めていただきたい。	

事業名	意見要旨
中学校スクールランチ	経費削減には反対する。値上げにより利用できない家庭が増える。名古屋を背負う若者を大切にするために税金を使ってほしい。
	小学校のように「どの子も分け隔てなく同じメニューで全員一緒に食べる」のが教育的で効果があると思う。食育は中学校でもますます必要。
	内容を落とさず、市民の負担を増やさず、近い将来は各学校内でいわゆる「学校給食」を実施できるようにしたい。災害時にも「炊き出し」が可能になる。
	中学校で給食がないのは残念。充実した給食を求める人が増えているのに経費削減は反対。
	助かる。親が忙しく働く現状で、栄養面の充実は、特に低所得者にしわよせがくる。
	生活が厳しいために働いている親が多く、体調を崩したときに家族の食事を用意するのはつらい。予算がないならば、献立を1種類にして「地産地消」のように地元の食材を使って料理を作れば郷土愛が生まれ愛知を知る勉強にもなる。食育と言うように、成長期の子どもには食事が大切。
部活動の振興	小学校のように自校方式であたたかい給食にすれば利用率は上がると思う。3日前の予約では急にお弁当が作れないときに利用できない。どうしたら利用したくなるかを考えるのが行政の仕事。
	負担の公平性とは何か。利用する人は370円補助をもらっているから、不公平ということであれば、ランチ代を上げるのではなく、全員給食の形にするか、370円を利用していない人に配ってはいかがか。
	廃止すべき。
	廃止すべし。
	現在、採算性が低いのは理解できるが、採算がとれるならば民間に任せればよいわけで、採算がとれない事業だからこそ行う価値がある。教育や文化に関わる分野は、受益者は社会全体、採算的には赤字だが価値は価格に換算できないと考えてほしい。
	どこのことかわからないが、学校で利用しているのであれば残しておくべき。市民も利用していると思う。
野外学習センター	この事業の見直しで、そこで働く職員が失業してしまい、市民生活全体に影響が出てくるのが心配。
	特に都会の子どもには、野外学習は大切であり、自然や社会を知る学習の欠如は頭でっかちの人間をつくってしまう。教育を重視することを考えて、野外教育センターを充実してほしい。
	1年のうち、半年近く閉所しているが、施設自体はまだ老朽化していない。職員体制の議論をするより稼働率を上げることを先に考えてほしい。

事業名	意見要旨
野外学習センター	<p>子どもたちが楽しみにしている行事。小中学校で体験する貴重なもの。日々の学習では培えない集団での教育的効果はどう評価されているのか。</p> <p>補足 野外学習センターは主に高校生を対象とした施設です。</p>
	<p>小学生が行くことを楽しみにしている野外教育センターを廃止するなどとはもってのほか。</p> <p>補足 野外学習センターは主に高校生を対象とした施設です。</p>
	<p>付随した野外学習センターは必要。修理ではどうか。</p>
図書館	<p>志段味図書館が検討の対象となっているようだが、人が増えている地域であり、行政区として独立してもよいくらいのところである。サービス低下をすべきでない。守山図書館の瀬戸線沿線の再開発地域への新築・移転が最適である。</p>
	<p>民間委託には反対。収入確保を行うべきとあるが、図書館は、本来、もうけを目的とする場所ではないと思う。誰でも無料で利用できるように、市で運営してほしい。</p>
	<p>公共の事業としてなくてはならないものであり、公立公営での運営を守るべき。</p>
生涯学習センター	<p>今は多くの人が高専、大学に進学している。たくさんの大学があり、社会人が受けられる講座や聴講生制度もある。生涯学習センターの目的や事業内容に書いてあることは、大学がやることで、市が行う必要はないと思う。どうしても市が行うならば、市立大学でやるべきだと思う。</p>
	<p>市運営から指定管理者制度になったとしても、採算の取ることができない部門は廃止か統合され、利用者に不便をかけると思う。老朽化している建物は、市が責任を持って建て直すべき。</p>
	<p>廃止し、売却すべき。</p>
	<p>現在の生涯学習センターや公民館の指定管理者の例をみると、従来の管理委託の流れから外郭団体を引き続き指定しているところが多く、民間企業を指定している例は少ないと思う。民間に任せれば市民サービスが向上するというのは思い込みである。社会教育施設では行政と市民が一体となって運営されるべきであり、ノウハウのない業者が請け負っても市民生活の向上には寄与しないことは明らかである。もっと市民協働のセンターを目指した運営ビジョンを市には示してもらいたい。安易な指定管理者制度の導入には反対。</p>
<p>指定管理者になると使用料が値上げされるので反対。指定管理でふじみ野市のプール事故や、浜名湖のボート事故などが続いている。どこに良いことがあるのか。経費削減だけで教育を考えるのは間違っている。</p>	

事業名	意見要旨
生涯学習センター	生涯学習センターが民間になってほんとうに今よりも良くなるという保証はない。講座も毎回楽しみに受講しているが、公平・中立な立場でやってもらえるのか心配である。経費削減は人件費を削るほかないが、働く人がしわ寄せを受ける。指定管理や料金の値上げには反対する。
	誰もが自由に利用できる公共施設の料金値上げは、施設の意義やあり方をしっかり吟味すべきで、たんなる財源確保のための値上げは、市民サービスの低下となる。また、民間でできることは民間で行うから、指定管理者にという考え方は現状を無視している。いまだ残っているところは、その必要がないか、やっちはいけないところである。管理する人が数年で交代し、民間企業の営利の場となることでは心が育たない。民間カルチャーセンターはいくつもあるので、公営でないといけないことをやるのがよい。
	指定管理者制度ができて8年たち、この制度を導入していないのは理由があつてのことと理解している。30年の歴史のあるセンターを直営から民間委託にすることはマイナス。民間は金もうけを考えるから職員と同じようにやれるとは思えない。人件費を下げればレベルは下がるし、安い給料で働く人を犠牲にしても夢が持てる職場にはならない。指定管理では融通が利かない、不親切だという声を聞く。市民生活の質をあげ心豊かにするためには、高くてもよいものをという発想でやってもらいたい。私たち利用者に施設の運営に関わる機会を与えてほしい。
	市の唯一の生涯学習センター。会議室等も借りられ、多彩な講師も多く、料金も安い。年金生活者の活動意欲を奪わないで。区に一つは必要。
	生涯学習センター・福祉会館・児童館はそれぞれ中心の目的が異なる。それぞれの特色を生かして充実すべきであつて、共通面があるからなどという理由をあげて統合など検討すべきでない。
	まず利用時間・料金、申し込み方法などの利便性の改善が行われる必要がある。現在でも形式的な管理に問題を感じることもある。
	市民が自由に活動に使える施設は今のままで。いっそう自由に使えるように充実してほしい。
	この事業の見直しで、そこで働く職員が失業してしまい、市民生活全体に影響が出てくるのが心配。
	見直しに反対。仕事を削って減税すること自体が、地方自治の本旨、憲法に反する。
	民間に丸投げさせる上に、請負業者から賄賂を受け取る職員を狙って、その職員の首を切るつもりか。
指定管理者制度の導入に基本的に賛成。ただし大幅な利用率向上が見込めるかが不透明。建物の老朽化による建替が検討された場合の見込みも気になる。	
公的に生涯学習の機会と場を市民に提供するのは大切。	

事業名	意見要旨
生涯学習センター	楽しんで学んでいる。指定管理者制度に反対。民営になれば費用も高くなり、続けられなくなる。
	市民には集会を持つ権利がある。しかし現状の名古屋市政は集会の自由を尊重しておらず、集う場はあまりにも少ない。指定管理は民間が入ることにより集会の権利（または自由）等を侵される危険があり納得いかない。
	かつて無料だった駐車場も有料になり、利用料も5割増になった。利用者の負担は増すばかり。指定管理になるとプライバシーを破棄され、利用料値上げの危険性がある。市民が集い合えるよう、強化・増設してほしい。
	指定管理が導入されると、利用者との人間関係・信頼関係が崩れる。経費削減による労働環境の悪化と現場の士気の低下を招く。まちづくり事業との連携ができない。施設設備の維持修繕が迅速にできず、サービスが低下する。4年毎に指定管理者が変わっては安心して活動できない。以上の理由から、指定管理を導入しないでほしい。
	地域文化を育む活動、地域の課題や平和、子育て、青少年事業、国際交流、環境教育などの活動を行っている。民間が受注したら、横の連携はできず、今のようにネットワークを形成することは無理であり、サービス低下は避けられない。指定管理者制度の導入に反対する。使用料値上げは、利用者の負担が大きくなるので反対。
	楽しみにしていたイベントが縮小され、期待感が薄れた。
	生涯学習センターは、地域の身近なところで安全に安心して低料金で誰でも利用できる施設。利用率が低いから統廃合するとか、運営を民間に任せるなど大間違いで、福祉会館、児童館と合わせて、もっと増やして施設を充実させるべき。昔は趣味実技を含めて様々な講座を年中実施しており、そこからグループが発生してきたが、講座の削減に伴い、利用する人が少なくなってきた。それで施設を統廃合することはおかしい。
	あくまで市の責任で運営し、充実してほしい。広報を強化してほしい。
女性会館	学習の場を、女性のみ限定して用意する理由はないと思う。男性と一緒に建物で学習することに問題があるとは思えない。講座の内容は大学で行っているものと違いはなく、市が行う必要はないと思う。どうしても市が行うならば、市立大学でやるべきだと思う。
	廃止すべき。
	女性の問題と男女平等参画とは同じではない。同じと考えては、男女が参画する社会は実現できない。
	市民が自由に活動に使える施設は今のままで。いっそう自由に使えるように充実してほしい。

事業名	意見要旨
女性会館	女性が安心して集まれる場所である。安い金額で借りられる。今のままで残してもらいたい。
	日本の経済指数は2位、3位であるなか、男女平等、人権の地位があまりに低く遅れている。男女平等施策の後退には反対する。ぜひ継続してほしい。
	女性会館を利用している。社会教育行政を民間に委託することは断固反対。男女平等参画推進センターは管理運営委託により利用者が減っていると聞いている。ぜひ直営の存続をお願いしたい。
	今まで何度も利用した。縮小はしないでほしい。
	継続すべき。指定管理者制度の導入は反対。女性会館・男女平等参画推進センターとも女性団体が活用して女性の社会活動を活発に推進する拠点。直営で職員が運営に携わることが必要。
	つながれっとはNPO運営なので、民間的な独創的企画もやっているが、市民参加や公平性で少し閉鎖的。女性会館は中立・公平性が担保され、貸し館として利用しやすい。市民やNPOの施設運営への参画は大切なことだが、指定管理者制度は問題点が多く、もう少し別のやり方を工夫すべき。2つはまったく違う性格の施設。運営の面でもより良いシステムを構築するよう、2館で切磋琢磨すべき。また、両館とも会議室はすぐ埋まってしまい、需要に対して供給が少なすぎるので統合は反対。
	サービス低下につながる指定管理者制度絶対反対。
	女性の地位向上等のため女性の社会参加のためにも女性会館の存続を望む。
男女平等参画推進センター	女性の問題と男女平等参画とは同じではない。同じと考えては、男女が参画する社会は実現できない。
	日本の経済指数は2位、3位であるなか、男女平等、人権の地位があまりに低く遅れている。男女平等施策の後退には反対する。ぜひ継続してほしい。

事業名	意見要旨
男女平等参画推進センター	<p>相談業務以外が民間委託され、以前に比べると使い勝手や女性センターとしての親しみも薄くなってきている。やはり女性センターとして直営に戻してほしい。相談業務にこそ個人のプライバシーの尊重もあり直営が必要だと思う。社会教育施設である女性会館と、女性の地位向上を進めるセンターとは役割が異なるので一元化にも反対。</p>
	<p>日本の女性の地位は世界的に遅れている。名古屋市は男女平等参画の名で条例化され、方針決定の場に女性をと目標を持って推進している。民間に委託するのではなく、名古屋市で責任を持って担当してほしい。</p>
	<p>今まで何度も利用した。縮小はしないでほしい。女性問題にかかわる本や資料も大切にして、本当に男女平等参画のセンターになるよう充実してほしい。</p>
	<p>継続すべき。指定管理者制度の導入は反対。女性会館・男女平等参画推進センターとも女性団体が活用して女性の社会活動を活発に推進する拠点。直営で職員が運営に携わることが必要。特に男女平等参画推進センターは本市における男女平等参画社会を目指す活動の中心的な位置づけ。民間委託すべきものではない。市の職員が政策推進に重要。</p>
	<p>つながれっとはNPO運営なので、民間的な独創的企画もやっているが、市民参加や公平性で少し閉鎖的。女性会館は中立・公平性が担保され、貸し館として利用しやすい。市民やNPOの施設運営への参画は大切なことだが、指定管理者制度は問題点が多く、もう少し別のやり方を工夫すべき。2つはまったく違う性格の施設。運営の面でもより良いシステムを構築するよう、2館で切磋琢磨すべき。また、両館とも会議室はすぐ埋まってしまい、需要に対して供給が少なすぎるので統合は反対。</p>
	<p>女性の地位向上等のため女性の社会参加のためにも男女平等参画推進センター存続を望む。</p>
<p>生活援助型配食サービス (介護保険における市町村特別給付)</p>	<p>以前ボランティアをやっていたがとても喜んでいて。一人暮らしの高齢者は一日1~2食となり、栄養が偏りがちになる。少しでも市から補助があればより豊富な材料で料理が作れ、安否確認にもなる。良心的な事業者には今後も補助をしてほしい。</p>
<p>民間社会福祉施設 運営費補給金</p>	<p>福祉は経済状況によって質が左右されるものではない。実践の質を向上させるために必要な補給金を削減すべきではない。経済効果とは違う視点での評価基準を設定すべき。</p>
敬老パスの交付	<p>年齢65歳からの支給はマイカーからの公共交通への移行、街の活性化に役立っている。自分は名古屋で働いてきた高齢者である。高齢者の公共交通で移動する楽しみを奪わないでほしい。</p>
	<p>喜んで使っている。敬老パスのおかげで外出が気軽にできて、健康でいられると思っている。大勢の人が喜んで利用しているものをなくさないでほしい。また、1万円とか、大幅な値上げが実施されれば利用できない人が増えるので、今のように最高5,000円までとしてほしい。</p>
	<p>交通費の心配をせずに外出できる敬老パスは、医療費、介護保険の費用削減につながる素晴らしい制度であり、存続させるべき。</p>

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスのおかげで家に閉じこもることもなく、ボランティア活動などで外出することができている。高齢者の社会貢献にもなるし、健康維持のためにも有益で、国保・医療費の節約にもなる。
	なぜ65歳になると、地下鉄やバスに格安で乗れるようになるのか理解できない。使っている人が喜んでいるというのは、税金で一部の人だけが得をしているということで、続ける理由にはならない。自分たちのために特別に税金を使えというのは情けない。地下鉄・バスが整備されており、通常料金でも十分安く、ありがたい。健康のためには歩くのが一番で、若い人の負担にはなりたくないの、敬老パスはやめてほしい。
	敬老パスは高齢者の生活を支えており、病院・買物・健康のために外出できなくなる方が激減すると思う。
	自動車の維持費が家計を圧迫するので手放し、念願の敬老パスの恩恵にあずかり助かっている。できるだけ出費をしないようにしているが、診療代・薬代はかかってしまうという現状なので、敬老パスを存続してほしい。
	働く母親にとっては厳しい状況の中で仕事を続けて税金をおさめてきた。名古屋の史跡や施設巡りを楽しみにしている。高齢者が敬老パスを使い動く経済効果は大きいと考える。健康面からも敬老パスは存続すべき。
	高齢者福祉に反対するものではないが、敬老パスはやめて、地下鉄駅のエレベーターの整備や、ノンステップバスの導入にお金を使ったほうが、外出を促す効果が大きい。もし続けるならば、敬老という観点なら、今の時代、75歳からとし、無料で配布すべき。またボランティアに参加している高齢者に無料交付してはどうか。
	敬老パスがなければ、高齢者は気軽に外出しなくなり、運動量が減り、医療費が増すと思う。敬老パスはなくさないでほしい。
	高齢者に感謝しつつ、借金を子孫に残さないため、見直しは仕方がない。 (1) 現在の負担額を所得別に増額する。 (2) 高齢者が社会活動に関わるとき、そのための交通費を減額する。たんなるボランティアではなく、資格をとり、研修を受け、実際に活動していることを証明すること。シルバー人材センターやNPOなどで研修等をしてもらう。
	私を含め、敬老パスを受け取った人は交流が増え、喜んでいる。病院にも早めに通い、高齢者の健康な生活に大きく貢献している。名古屋市の医療費の軽減に役立っている。廃止すると、市の財政にかえて大きな負担になる。
敬老パスを貰ったら名所を訪ね歩こうと楽しみにしている。対象年齢の引き上げや負担金額の増加になることは反対。現役時代にはたくさん市民税を納めてきたつもりである。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	図書館で子どもたちにおはなし会をする時、気軽に参加できるのは敬老パスのおかげである。交通費が捻出できなくて、公私ともども老後の生活が心豊かに過ごせなくなると思うと本当に残念である。敬老パスを継続していただきたい。
	これまで税金を払ってきた。あと何年と待っている。高齢者が外出する機会が増え、健康や社会参加等で、街の活性化につながり、経済効果も大きい。誰も乗らないバスや地下鉄を走らせるより、大勢の利用者がいるほうが交通局も働きがいがあるのではないか。
	廃止には反対。敬老パスがなくなってしまうと、都心に出ることも少なくなり、家にいる時間が長くなるのではないかと思う。外出は高齢者の生きがいの一つ。外出のはげみになるものをなくさないでほしい。
	高齢者のいきがいつくりや健康維持のため、絶対にこれ以上負担を多くしないでほしい。本来は65歳以上全員に無償とすべきと思う。
	せめて子ども料金位支払っていただきたい。お出かけになれる高齢者の方には、その位は負担可能と思う。若い人の働く環境は、お年寄りの方々の頃と比べ大変きびしい状況。将来のために見直しを求める。
	敬老パスで週に2日くらい出かける。歩くおかげで足も丈夫になる。1回に2つくらいの仕事ができるので助かり、ありがたい。70歳をすぎるともうそんなに動けないかもしれない。65歳ならまだまだ動けるので、敬老パスをなくさないでほしい。
	敬老パスで出かけることで、健康が保たれている効果があると思う。また、買物など、消費を押し上げる効果もある。市内の車の規制効果もある。ボランティアに参加する方も多い。私もパスをもらいたいと楽しみにしている。
	買物や、演劇映画鑑賞等に出かける機会が増えるので、経済効果が大きく、不景気を解消する役割がある。出かけることで、体力の衰えを予防し、認知症等の症状も少なくなると思われる。パスをいただくことを楽しみにしている。
	減税の財源のために福祉に手をつけようとしていることには反対で、特に敬老パスを査定することは許せない。
	名古屋に引っ越して2年で、昨年からは敬老パスを利用している。気軽に出かけ、時には家族にみやげを買ったりして、経済効果もあり、ほとんど病気もしなくなり医療費の軽減にもなっていると思う。
	敬老パスにより高齢者の行動範囲が広がるとともに、消費の拡大により景気への波及効果もある。交通局に支払う仕組みがわからない。
	廃止・削減は絶対に反対する。むしろ、原点に戻り無料にすべき。
年金の中から介護保険料を天引きされ、将来を考えると不安である。出かけるのに敬老パスは欠かせない。値上げは現在の生活では考えられない。むしろ無料にしてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	今後も是非続けていただきたい。年金の中から交通費を払ってまで外出はしないというのが正直なところである。パスがなくなれば出かけるのをやめ、家に引きこもってしまう人が増えると思われる。
	これから高齢者が増えるので見直しは必要。高齢者の社会参加を促進するということであれば、無制限に乗り放題にする理由はない。毎週土日など決まった日に乗車できる制度にしたり、パスではなく回数券にして利用上限を決めてもよい。たくさん使う人と少ししか使わない人の負担額が同一ということは不公平なので、使った回数に応じた支払いとしたほうがよい。
	敬老パスは本当に高齢者の生きがいづくりや健康の維持につながっているのか。名古屋市と他の市を比較して、医療費や介護にかかる費用が安くなっていることが示されれば、税金を使って継続してよい。それが示されないということは、効果がないということ。
	生活のために通勤費の出ない仕事を65歳過ぎても続けている人もおり、敬老パスは誰もが待ち望んでいる。さらに値上げとなると購入できない人も出るので、見直し等せずに、このまま制度を残し、次の方にも引き継ぎたい。
	車でなく、歩いてパスを使用し、健康を保っている。医療費抑制にも、買物をする事で経済効果にもつながると思う。企業減税の穴埋めに敬老パスというのは信じられない。
	敬老パスはありがたく、楽しみにしている。今までどおり続けてほしい。
	敬老パスは名古屋中移動するのに大変便利で助かっている。交通費のことを考えないで済むので購買力を高めるのに役立っているし、趣味の活動も活発にできる。高齢者の医療費を少なくすることにも役立っている。長い間税金を払ってきて、払った税金が役立っていると実感したのが敬老パス。地下鉄や市バスを守っていくためにも敬老パスは大切。
	健康の保障の一つが出歩くこと。敬老パスの廃止は絶対にしないことを求める。
	本当は無料に戻してほしいが、せめて現行の負担金を継続してほしい。65歳から敬老パスを利用してボランティアを続けたが、敬老パスがなくなったら貧しい自腹を切ってボランティアはできなかった。高齢者は経済的に不安が大きいので無料パスがなければ出歩かなくなり、病気が増えるだろうと実感している。年齢引き上げ、負担金上げに反対。廃止は絶対反対。
	敬老パスがなくなると高齢者の足が何事に遠退き、ひいては体力の衰えにつながる。廃止、または増額に反対である。
	敬老パスの見直しを反対する。
私たち高齢者は敬老パスにより救われている。高齢者の行動範囲が広がり、外へ出かける回数も増え、元気になり病気が減る。楽しく生活ができ、家庭との関係もうまくいくので、応分の負担で今までどおり続けて欲しい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	どこへ行くにも交通費を気にせずに出かけることができるので大変ありがたい。行動することで元気が出て、人と交わることで老いも感じることなく活躍できる。現役時代にたっぷり税金を払ってあるので、敬老パスはぜひ存続してほしい。
	高齢者にとって市内行楽の足であり、安心して暮らせる。敬老パスの現状維持を強く希望する。老後の生活の楽しみを奪わないでほしい。
	高齢者の元気を支える敬老パスを廃止しないでほしい。
	現在2つの病院に通院しており、交通費が1ヶ月860円かかる。その他交通費として1ヶ月ほぼ1万円必要である。敬老パスがなくなると外出できないので、現状のままとしてほしい。
	高齢者が時々外出するのに敬老パスは必需品。生活にかかわる外出の交通費は生活費への負担になる。来年パスをいただける年齢になる。楽しみにしていたのでなくさないでほしい。
	同窓会の時の自慢は敬老パス。友人たちは、「すごい、名古屋市に住みたい」と羨ましが。全国に誇れるすばらしい制度をぜひ続けてほしい。
	敬老パスのおかげで外出することができる。もしなくなってしまうたら、おそらくバス・地下鉄を使用して外出することがほとんどなくなってしまい、足腰も弱り、病人が増えてしまうことになる。医療費もどんどん増え病人ばかり増えてもっと困るのではないか。唯一の楽しみ敬老パスを取り上げてしまっては大変困る。少しくらいは値上げしても交付はしてほしい。
	敬老パス事業が仕分けの対象云々はどうでもよい。
	自分自身、公共施設や病院、趣味の会合などに敬老パスはなくてはならないもの。年寄りを元気づけ、経済効果にも役立つ敬老パスの廃止は承認できない。
	敬老パス廃止というのであれば、まず議員の海外視察廃止、議員報酬の半減、それからの話なら納得がいく。
	定年が60歳というところが多く、60歳からに拡大しても良いくらいに思う。介護予防にも効果があり、街の活性化にも効果があるこの事業、もっと年齢条件を拡大してほしい。60～64歳の自己負担金は若干高くなっても良いと思う。
	廃止はもってのほか。厳しく辛い時代を送られ、日本国を支え、郷土、愛知、名古屋のために尽力を捧げられた高齢者にやっとゆっくり自分の人生を楽しむ年齢になったときにとてもきびしく残念な仕打ちである。
	退職の後、音楽にめざめ、週3回合唱団に通っているが月に12,000円ほど交通費がかかる。有料でもいいので何とか存続させてほしい。
70年代の初めには、無料で敬老パスを受けられた。有料になったが、1年間5,000円で市内をあちこち行けるようになり、健康で明るい生活を送れることをうれしく思っている。敬老パスがなくなったり、高くなれば、思うようにでかけることができなくなり、いつもお金を考えながら市バス・地下鉄を利用することになる。年金生活なので、せめて名古屋市内を自由に出かけ、健康を維持したいと思う。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	夫が入院中、夫の弟が介護が必要で、自分にかかっており、車がないため、どこへ行くにも敬老パスが頼り。手仕事を70歳くらいまで頑張ってきたが、今は国民年金のみで税金がないのでなんとかやっている。自分も長く立っていることができない。弟に自転車で毎日弁当や日用品を買って届けている。
	年金生活者で、敬老パスを利用するようになって、大変重宝している。孫を動物園やリニア・鉄道館に連れて行った。年金が減額されるなど生活も厳しくなっている。敬老パスの値上げや年齢引き上げをしないで、本丸御殿に使う税金をまわしてほしい。
	敬老パスは次のような効果を生み出していると考えており、持続可能な制度にという名目で、現行制度を安易に見直すべきではない。1高齢者が交通費を心配せずに外出し社会活動に参加できる。2高齢者の健康維持に役立つ。3病気が重くならないうちに病院に出かけるので医療費の縮減に寄与する。4街が賑わい、買物や食事などの経済効果を生み出す。5自動車利用による駐車問題や交通公害を少なくし、環境改善に役立つ。6高齢者をかかえた家庭の主婦が自分の時間を持てる。7市営交通事業の維持につながる。8県下の自治体の交通政策（巡回バス）などに影響を与える。
	敬老パスは、公共交通機関の積極的利用を促進し、高齢者の心身の健康維持に大きな役割を果たしている。市の経済を支える効果も併せもっている。医療費節減にも貢献する。「憲法をくらしにいかす」事業であり、もっと拡充されてしかるべき。
	敬老パスを使って街へ出て買物し、趣味の習いものに出かける高齢者の元気の源である。65歳からというのが大切で、年齢引き上げでは効果が半減する。敬老パスがなければこんなに出かけられない。病気もしないため医療費の軽減にも、お店の売り上げにも役立っている。減税よりも敬老パスを続けてほしいと願う高齢者は多い。短時間の少数の議論で判定できる問題ではなく、もっと広く市民の声を聞いてほしい。
	敬老パスの見直しは反対。
	敬老パスの見直しはしないでほしい。
	敬老パスは見直すな。
	敬老パスの見直し反対。
	敬老パスの見直しをするな。
	元気を保ち、趣味やボランティアによく出かけている。少しでも人の役に立てることを喜んでいるが、敬老パスがあればこそ続けることができる。廃止など絶対にしないでほしい。
	敬老パスは夫婦とも活用し大いに役立っているが、1人5,000円は所得税が課税されていない収入しかない世帯にとっては大きな額になる。これ以上負担を求められるのはたえられない。現行どおり続けてほしい。
交付枚数が30万枚まで増加しているのは、高齢者が外出し、元気になり、よいことだと思う。ぜひ続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスのおかげで生きがいを得られている。もしパスがなければ毎日家の中で過ごさなければならない。絶たないでほしい。
	敬老パスは、買物、交友など、高齢者の社会生活に欠かせず、移動に不可欠。経済社会の活発のためにも大切なもの。拡充こそ望ましい。
	自分が利用して4年足らずで廃止も検討とのことで残念。通院、買物、催事の利用も多く、体を動かす機会も増え健康になり、街の活性化にもつながると思う。
	もうすぐ65歳で、敬老パスがもらえるのが待ち遠しい。年金暮らしの身にとって交通費の負担はばかにできない。交通費の心配をせず外出できる65歳を待っている。なくしたり、負担を増やすことをしないでほしい。
	もうすぐ65歳で、敬老パスがもらえるのが待ち遠しい。年金暮らしの身にとって交通費の負担はばかにできない。交通費の心配をせず外出できる65歳を待っている。なくしたり、負担を増やすことをしないでほしい。
	財源不足を理由に敬老パスを改悪するのはもってのほか。高齢者にとって外出の機会を増やし健康増進にもつながる。現在すでに一定のお金を払っている。
	パス見直し反対。現状維持に。
	敬老パス見直しに反対。現状維持に賛成。
	敬老パスをいただいてから感謝して使っている。カルチャーセンター、無料で鑑賞できる美術展等などに出席して勉強もでき、有効に使っている。高齢者の外出が多くなることを総括的にみると、医療費の節約、消費も多くなり経済的効果大。公共機関を使って、道路の混雑、事故、排気ガスも減り、良いこともたくさんある。議員数を減らしたり、海外視察など無駄な経費を極力減らすべき。
	病気で車に乗れなくなっている。現在、通院4か所に、また、医師から外出することがリハビリといわれ、美術館巡りや公園の散歩などに楽しんでいる。住民が生き生きと生活することなくして、名古屋の活性化も発展も望めないと思う。高齢者にとって交通費を案ずることなく、自分で必要な行動が取れることは生き甲斐である。
	高齢者の増加に伴い、医療費の抑制のための政策として認知症やうつ病の予防のための介護予防を実施しているが、これとあわせ敬老パスは高齢者の外出を導き、健康を維持していくために大切な施策である。敬老パスをやめれば医療費のほうが増大する。
敬老福祉の一つの制度として是非続けて欲しい。敬老パスを5,000円で交付を受けているが、利用しなかったら年間8千円から1万円程度の出費となり、せいぜい半額助成を受けている感じである。介護保険料や国保保険料は大幅にアップし、年金の手取りは減る一方なので、パスはただにしてもらいたい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	65歳以上になると働く場と収入が減り、活動が自宅近辺に狭くなりがち。元気に活動することが健康維持にも役立ち、医療費も減らせる。お金の心配が減るといふようなことに参加できるようになり、生きがいにもなるので、ぜひ今の状況を維持してほしい。
	時間があるときは利用している。元気な高齢者の力を市政に利用してもらえばよいので、敬老パスの見直しには反対。金額は無料を望む。年齢の先延ばしなどもってのほかである。
	絶対なくさないでほしい。家の中でひきこもりをなくす役割を負っている。医療費の減少にもつながる。
	敬老パスは、1973年に実現できた。高齢者が増加するのは当たり前のこと。市民税10%減税と騒いでいるが、圧倒的市民に恩恵はない。お年寄りが元気に気兼ねなく、外出でき、健康が保てることは132億の経費でもおつりがくる。
	高齢者、特に年金が少ない人にとって敬老パスは重要。市バスに乗ってみれば利用者が多く、喜ばれていることがわかる。
	財政負担が増大していくので、見直し、改悪、廃止されないか心配。名古屋市の財政が悪化した原因は、市民税10%減税したためであり、そのために福祉教育等の予算減額をしなくてはならない。
	現予算より増大しないようにし、持続可能な制度を検討すべき。
	60代は働ける時代なので、70歳以上1,000円・65-70歳2,000円とするか、又は70歳からの交付で1,000円にしてもよいと思う。バイトでも働ける足・腰の丈夫なうちは交通費くらいは出費してもよいと考える。子どもに親の働く姿をしっかりとみさせておくとよいし、健康にも教育にもよいと思われる。
	高齢者の生活は年金で維持されており、廃止されると経済的に負担が増大し高齢者の社会参加ができなくなるので、敬老パスは継続すべきである。
	廃止すると経済的に負担が増大し、地下鉄・市バスが使用できないと社会参加に影響する。敬老パスの交付はやめないでほしい。
	元気なうちに交通費の心配なくいろんな所へ出かけられるので経済効果もたくさんあると思う。65歳からの敬老パスの交付を是非続けてほしい。
	もうすぐ65歳で、敬老パスがもらえるのが待ち遠しい。年金暮らしの身にとって交通費の負担はばかにできない。交通費の心配をせず外出できる65歳を待っている。なくしたり、負担を増やすことをしないでほしい。
	夫婦の年金をあわせてようやく生活できる水準。名古屋に生まれ育ち、商売を行い、税金を納めてきた私たち夫婦にとって、65歳の、うれしい、市からのプレゼントは敬老パスである。敬老パスがあれば、交通費の心配をせずに市内を動ける。地下鉄・バスで出歩くと千円かかる。敬老パスの改悪は断じて許さない。改善こそ名古屋の持続的活力になる。

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスで幅広いボランティア活動等に積極的に参加でき感謝している。これ以上の見直しはしないほしい。年金をやりくりしている身にとって、交通費負担は大変である。結局諸活動等に参加できにくい、家にとじこもりがちになってしまう。
	今までどおりで願います。これ以上の見直しはしないほしい。
	敬老パスは高齢者を室内にとじこめることなく外出機会をふやし、健康を保つことにもプラスとなる。現行制度の改悪は許せない。
	敬老パスの取り上げが画策されているようだが、絶対に許せない。
	敬老パスは高齢者がまちに出る際に大きなサポートになっている。まちにできれば買物機会が生まれ、地域の経済に貢献し、健康にもよく、人とふれあい、明るく暮らせることにもつながっている。こうした効果を正しく評価し、現状を維持存続させるべき。
	現在生活保護生活者である今、孫の顔を見に行くため豊田までの交通費が少し助かっているが、廃止されると行くこともできなくなるので、存続させて欲しい。
	交通費はばかにならず、少ない年金では負担が多すぎる。敬老パスで街にいったら買物をして、医療費の負担も減るし、地域にお金をおとしていくので経済効果もある。本来は敬老精神にもとづいて無料にすべきである。
	敬老パスはお年寄りにとっては、楽しみであり、あちこち出歩いては友達をつくって、医者にかかる必要もなく、商店にもお金を使うので、経済効果も抜群。こんなよい制度をなくしてもらっては困る。
	この制度を採用した目的を考えてほしい。高齢者の利便と健康維持にあったのではないか。敬老パスが廃止されれば、高齢者が外出する意欲を削ぎ、健康を害するおそれがある。
	敬老パスは廃止しないでほしい。毎日病院通いである。
	財政負担増見込みという前提が疑わしい。また、外出を奨励すべきであり、生きる意欲、健康増進が見込まれる。消費も増える。負担を増やして経費削減では老化推進、認知症進行となると思う。
	来年65歳になる。敬老パスをもらえるのを楽しみにしてきた。通院で毎月1万円以上かかる。年金者には痛い出費である。廃止は反対。
	見直しは絶対やめてほしい。パスがあれば外出も増え、お店で買物したり、お茶したりと楽しみにしている。市民のささやかな願いを奪わないでほしい。
	高齢者の健康増進・維持に大きく貢献していることは交付前と交付後の医療費の比較で証明されていると思う。また、文化施設等の入場者数も交付がなければ必ず減少し、経済効果の意味も大いにあると思う。人口維持・増加にも一役買っていると思う。パスがなくなることには絶対反対。
高齢者の楽しみを奪わないでほしい。現行どおりに決めてください。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	<p>医者通いに地下鉄が無料になり、医者代だけ払えばよくなった。無料ではなく、一定額を払っているのが敬老パスはなくさないでほしい。</p>
	<p>直ちにやめるべき。高齢者が大幅に増える社会で、中高年の働き手がそれを支えるということはありません。年金も収支の条件設定を間違っただけで、名古屋市も計算なしにばらまいた施策で財政が破たんすることは計算できたことで、収支が伴うことが大前提。税の支払いで貧富の調整はされており、生活保護もある。あらゆる弱いものに補てんするほど日本は豊かではない。せめて乗り放題をやめ、利用回数・区間の上限を定めるべき。区間の上限で、栄や名駅のみが繁盛することも避けられる。</p>
	<p>今までどおりの交付を希望します。</p>
	<p>敬老パスがいかに福祉に役立ち町の経済の活性に役立っているか、庶民の生活を知ってほしい。病院へ通院、見舞い、ボランティア。元気な方々は、ウォーキング、そして出かけた先で食事・おみやげ・お茶。少し離れたところの友人に行ったり。無縁社会と言われる今、つながり合う人々の大きな役目となっている。老後、寝たきりにならないよう、敬老パスは65歳からとし、なくさないで。</p>
	<p>敬老パスは高齢者の足で廃止は絶対反対。</p>
	<p>来年から該当するので楽しみにしていたのに見直しとは何事か。財政上どうしても難しければいくらか値上げしても継続すべきだが、減税するくらいなら維持すべき。交通機関が気軽に使えれば、金も使い、楽しみ、健康のプラス面がある。交通費もばかにならないので施設の年間パスポートや鯉城学園を我慢してきて来年からと思っていたのに、老後の夢を奪うようなことはするな。</p>
	<p>敬老パスは現行のままでいってください。高齢者には必要です。寝たきり高齢者にならないためにも出かけることは必要。</p>
	<p>現状を維持してほしい。敬老パスの利用は、自分にとって命綱。腰痛で少ししか歩けず、敬老パスが利用しづらくなれば外出ができなくなり、筋肉が衰えてしまう。自家用車の運転も事故を起こさないように控えないければならない。筋肉が弱れば、医療費もかさみ、通院回数も増える。</p>
	<p>廃止しないでほしい。敬老パスがあれば、気楽に外出できる。また、外出をすれば帰りに家族へのお土産を買ってくる。のんだり、食事をしたり、市内のお店にいくらかのお金を払ってくる。</p>
	<p>敬老パスの制度は全国でも評価されている。高齢者がいきいきと生活し、行動範囲が広がることで経済効果も上がる。無料だった制度に戻してほしいのが本音。</p>
	<p>敬老パスがなくなると病院への外出に困るので絶対になくさないでほしい。</p>
<p>敬老パスを使用して10年、その間にシルバーカレッジ名古屋市高年大学の通学、ボランティア活動にと助かっている。敬老パスがなくなると外出する回数も少なくなり、買物や友達との交流もなくなる。敬老パスをなくさないでほしい。</p>	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	65歳になったら敬老パスが交付されることを楽しみにしてきた。今は敬老パスのおかげで週に3~4回とバス・地下鉄を乗り継いで街に出歩くことが多くなった。街の中を歩くことで健康を維持できる。また、喫茶店で友人とお茶を飲みながらの話や、時には昼食もとっている。敬老パスは大変年金生活者には役立っている。敬老パスの交付の効果は、医療費削減に貢献し、お茶や食事をするなどで経済効果をあげ、デパートや店で子どもや孫のために買物をすることもある。このような効果により名古屋市全体が潤っていることを評価して存続してほしい。
	敬老パスは高齢者にとってなくてはならない大事なもの。自分は自動車の運転免許証は返却したので、敬老パスは今の自分には命綱である。将来とも敬老パスを存続すべき。
	敬老パスは多岐にわたり、市民の暮らしを支える上で大きな効果をあげている。支出したお金の額以上の経済効果を認証し、現状を維持することを要望する。
	後期高齢者であり、年をとると遠出できなくなるが、名古屋市内を外出できる楽しみを与えてほしい。敬老パスで出歩くことが認知症の防止につながっていると思う。
	敬老パスは高齢者が買物や外出に利用しており、交流や健康などに役立っている。経済的にも予算削減以上の効果が大きい。必要なところを切るとは許されない。
	バス路線が少なくなるなか、自分の親は毎年パスをもらい利用している。年金も少ないが、パスで友人の家に行ったり趣味の教室にでかけており、健康を保っている。東京・大阪・神戸などと比べて鉄道が少なく、バスが補っている敬老パスは無料に向けてすすむべき。高齢者のひやっとする運転に遭遇するので、温暖化ストップとともに運転を減らしてバスに乗ろうというキャンペーンがあってもよい。
	交通費の負担が重く、敬老パスを心待ちにしている。高齢者が元気に街にでることは健康にも経済的にも文化的にもたいへん効果があると思う。制度をよくして残してほしい。
	公共交通の恩恵に与ることが難しい地域がまだ市内にある。自家用車やタクシー利用になる傾向が強い。収支からだけでなく、地球温暖化防止等の観点から考えることも大切。より交通弱者の足を充実させることが求められ、その視点からも敬老パスは現状維持が必要と考える。
	ボランティア活動や病院に出かけることが多くなった。市バスが自分の足になっている。敬老パスが65歳になったら利用できることを楽しみにしている。いままでどおり続けてほしい。
	増える高齢者の方がいきいきしてこそ、名古屋市全体も明るくなる。行動することで健康の維持にもつながり、相対的に医療費の抑制につながると思う。
年金生活者であり、敬老パスも名古屋市への転居の理由の一つだった。自分の楽しみに出かけるときや、病院に通うときに利用させていただいている。パスがなくなると出かける楽しみが少なくなる。制度がなくならないことを願っている。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	<p>デパートやスポーツクラブなどはお年寄りでいっぱいである。年金暮らしだと、交通費はばかにならない。往復で千円かかれれば遠出はあきらめることになる。節約するので、ひきこもりになる。そうすると病人が増えて、逆に医療費が大きく公費から出ていくことになりかねない。65歳からというのがよいところで、70歳だと外出する人々の率も減ってくる。健康保持、街をにぎやかにするためにも、敬老パスの見直しは逆効果だと思う。</p>
	<p>自分がもらうようになってから有料になり、定年後を楽しみにしていたのに悔しかった。5,000円を払って月に4~5回利用している。値上げや廃止になっては生活のレベルがダウンする。これから足腰も弱くなり、敬老パスはますます重宝するので、今のままにしてほしい。</p>
	<p>高齢者が健康で元気なのは65歳からパスのおかげで外へ出てリハビリになるし、買物も楽しむことができ、結局経済効果につながっている。現行制度を残してほしい。</p>
	<p>65歳以上の敬老パスは、無料ですべての人に交付してほしい。市バス・地下鉄は市民のためのものであり、お年寄りから料金を徴収する必要はない。赤字でよい。市民はみな税金をたくさん払っているのだから、サービスを低下させないでほしい。私たちの税金がお年寄りに使われても当然である。</p>
	<p>敬老パスは、定年退職を迎えて収入のなくなった高齢者たちには大きな喜びであった。気軽に外出して都心で食事や買物をする。友人たちとおしゃべりし、歩き回り、足腰が鍛えられ、脳の活性化にも役立ってきた。町の活性化・健康づくりに本当に役に立ってきたと思う。健康保険や介護保険のお世話になる数を減らしてきたと思う。敬老パスの制度が従来どおり存続するよう望む。</p>
	<p>これ以上何を見直すのか。お年寄りがわずかな年金を使い街へ買物・病院など毎日大切にパスを利用し、経済効果にも役割を果たし、元気にすることで医療費削減にもなっている。見直しするなら無料にしてほしい。</p>
	<p>敬老パスを利用して1年になる。交通費を気にせず出かけられ、健康と若さが保てると思う。多少の負担額が増加しても、ぜひ敬老パス制度は継続していただきたい。</p>
	<p>敬老パスを見直すそうだが、社会的弱者である高齢者のための敬老パスの廃止や負担増は絶対に反対である。</p>
	<p>せめて現状維持。パスがあるから気軽に出かけられて健康維持に役立っていることを考えるべき。なぜ福祉予算ばかりねらいうちするのか。</p>
	<p>高齢者が外に出ることでの経済効果や医療費の削減を考えると、敬老パスの制度を見直した場合、その何十倍もの不利益が発生すると思う。目先のことにとらわれず、もっと大きな視点で施策を判断しなければいけない。無料にすることには賛成だが、負担をあげることには反対。</p>
<p>65歳で敬老パスで自由に出かけられるようになった。出かければ買物や飲食等、名古屋の経済に貢献している。交付率も64~65%と資格者全員が手にしているわけではないのだから、受益者負担なんて言わずに、現状でよい。名古屋の経済の活性化のためにも団塊世代に積極的に街に出てもらうためにもこれからも敬老パスは絶対必要。</p>	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	<p>義母は亡くなる3ヶ月前まで毎日敬老パスで出かけていた。老齢福祉年金しかなかった義母が出歩けたのは敬老パスのおかげ。パスのおかげで友人と会ったり通院でき、医療も介護も長期間利用したことはない。</p>
	<p>敬老パスの対象年齢を引き上げないでほしい。負担金を値上げしないでほしい。できればゼロにしてほしい。来年65歳だが、東山動物園や水族館などに行くことを楽しみにしている。</p>
	<p>非常に重宝している。町内会の役員として区役所や施設に気軽に出かけられるのも敬老パスのおかげ。当初は無料だったのに、やっと敬老パスの恩恵を受けられる年齢に達したら有料になっていた。敬老パスは高齢者の交通安全に寄与しており、買物弱者の助けになり経済活動の活性化・公共交通の充実向上に役立っている。見直すなら、無料にすべき。</p>
	<p>街の活性化と高齢者の健康管理上でも必要。</p>
	<p>パスがあるから体力維持のためスポーツセンターに地下鉄で通っている。廃止しないでほしい。収入にみあった金額の差をつけるのは賛成。1,000円はそのまま、3,000円だった人はたとえば8000円、5,000円だった人はたとえば15,000、新たに20,000円など、負担金を多くする。</p>
	<p>敬老パスがなくなることにより高齢者は外出の機会が減少し、体調不良をおこしやすくなるのではないかと。むしろ医療費が増大し本末転倒ではないかと思われる。敬老パスの廃止には反対。</p>
	<p>病院に通っているが、年金も少なく、パスがなくなると困る。</p>
	<p>パスのおかげで各地に散歩している。出かけると1,000円は使う。なくなると名古屋市は廃墟のようになる。</p>
	<p>敬老パスの交付条件がきつくなれば、その分だけ自動車への依存度を高めざるをえない。交通事故やCO2減少を目指す社会の方向に逆行することになる。次の更新時に免許を返上するつもりだが、敬老パスの交付条件が悪くなったら考えざるをえない。</p>
	<p>敬老パスの値上げ廃止に反対。年金生活者にとって交通費の負担は大きい。</p>
	<p>敬老パスを交付していただいてから、気軽に様々な所に出かけることができるようになった。趣味の幅が広がり、自分を向上させたいと努力するようになり、健康管理をする上でもたいへん重要なものになっている。名古屋の街の活性化にも貢献していると思う。今後も敬老パスを継続してほしい。</p>
	<p>敬老パスの恩恵にあずかり、行動が広がり、外出の回数も増え、脳の活性化にもなり、それなりの経済効果にもつながると思う。できるだけ自立した生活をしたいと思っている。対象の改善見直しはあっても、継続していただければありがたい。</p>
<p>敬老パスがもらえて感激した。お金を気にせずどこへでも行けることに喜びを感じている。帰りの交通費を気にせず、飲食や遊びができる。高齢者の健康を増進し、経済効果も抜群。私鉄も利用できるようにし、無料にして、存続を。</p>	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	交付を受けない方が30%ある。全予算の中で大きなウエイトは占めないと思う。ただし、財政が厳しいというのであれば、負担額、初年度1,000円アップ、その翌年度にさらに1,000円アップでどうか。
	65歳からの敬老パスをととても楽しみにしている。元気で外出することは生きがいにもつながるし、交通局の赤字解消にも役立っているはず。敬老パスが見直されれば交通局が赤字になり、料金が値上げされ、また利用が減るといった悪循環になる。せめて現状維持してほしい。
	敬老パスは医療費の削減をねらったもの。予防医学の立場から、敬老パスの交付は医療費も減るし、市場も活性化する。こんなによい制度を低下させることに反対する。
	年間5,000円を払ってパスの交付を受け有効に使っている。健康なので用務を達成するのに非常に便利で、家計上も大きく助かっている。
	年間3,000円を払って敬老パスの交付を受け、病院や用事に利用しており、制度をぜひ継続してほしい。
	80歳だが、気軽に使える敬老パスのおかげで毎日のように生涯学習センターの講座、講演会、展覧会に出かけ、仲間と食事やお茶をして楽しんでいる。敬老パスが使えなくなると年金生活者には交通費の負担は重荷になり、家に閉じこもり、不健康な高齢者が増えて医療費が増大する。外食産業への影響も無視できない。
	当初は無料だったのに。今のままでよい。高齢者の楽しみを奪わないで。
	一日に何度も入院している母の介護に付き合い、はじめのうちは年間21万円近くかかったが、65歳でパスで乗れるようになってからは1年間に5千円になり、大変ありがたかった。高齢化が進み、老老介護や所用、ささやかな娯楽として市バスで出かける高齢者も多く、本人の健康にも市の経済にも効果をもたらす。今までどおり、なくさないでほしい。
	敬老パスは高齢者の足。まちに出かけお金を使い、経済の活性化にもつながる。
	年金生活者が活動する際には、特に車を持たない者としては公共交通機関に依存することが多い。敬老パスがあれば、心置きなく見舞いやボランティア、趣味の活動もできる。長い間社会の中で、家の中で、家族のため、人のために働いてきた高齢者に敬老パスで少しだけゆとりある老後を送らせてほしい。
	高齢者の暮らし、健康、生きがいを支える名古屋市が誇りとすべき制度。今以上に高齢者に負担を負わせる検討などしてはならない。
	65歳から敬老パスを利用し、市議会傍聴・講演会・映画・町並み散策等をして認知症防止、寝たきり防止に役立っている。高齢者が元気でいれば医療費増大を防ぎ、介護がなくなれば家族は安心して働き、社会の発展に寄与する。自分は死ぬまで自分の足でトイレに行き、自分の手で食べられる人生にしたい。
高齢者の外出する機会を奪わないでほしい。敬老パスを利用できることが長生きできる理由の一つ。財政負担が予測どおりになったとしても、もっと他に評価をすべきものがあるのではないかと考える。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスがなくなれば、気軽に外出できず、家に閉じこもり、病気がちになるとも限らない。事業仕分けすべきものはもっとたくさんある。少なくとも現状維持で継続してほしい。
	もともと敬老パスは無料でもらえた。これ以上高齢者に負担を強いるのはやめてほしい。
	敬老パスで高齢者は気兼ねなく外出できる。外出先では飲食やお土産も買うし、地域の商店もうるおい、経済の発展に役立っている。敬老パスの使用分が交通局に還元されなくなったら、ただでさえ高い地下鉄・バスの料金がもっと値上がりする。家にこもっていると医療費がかさみもっと財政が悪くなる。無料が希望。
	年をとると年金暮らしとなり経済的には厳しい。体の衰えもさびしい。敬老パスを楽しみにしている。積極的に外に出て、老化を少しでも遅らせたい。これがあると医療費も減っていると思う。現状のままをお願いする。
	たとえ小口でも高齢者が街に出ることにより、消費につながり、健康にもよい、すぐれた制度だとある学者がいており、同感。
	自分にとって通院や買物に非常に役立っている。気兼ねなく外出できることは健康にとって非常によいこと。現行のままで、年金も少ないので、できれば無料にしていきたい。
	現在はマナカで移動しているが、あと少しで敬老パスで出かけられると楽しみに出歩いている。無料配布だったら、もっと外出し、健康になるし、外で食事・買物もするので経済効果にも貢献することになると友人と話している。
	自分たち高齢者が外出して活動することは健康の意味からも大切。年金生活者から奪わないでほしい。まだまだ多くの無駄金が使われている事業がたくさんあると思う。高齢者を敵にまわさないよう、賢明な対応を希望する。
	商店街を閉店に追い込む。高齢者の楽しみがなくなる。不用のものがほかにいっぱいある。
	65歳でパスの交付を受けるのを楽しみにしているので、絶対なくさないように。高齢者が出かけることができなくなり家庭不和の元になる。
	自分たちが若い時には敬老パスは無料だった。それが有料化されてしまった。敬老パスを使って外出し、健康維持に役立っているお年寄りもあり、街の活性化にも役立っている。無料に戻るか、年齢を引き下げるなどの改善を求める。
	高齢者が増えるから値上げではなく、元の無料パスに戻すべき。
	高齢者が元気で外出するためにはなくてはならないもの。ぜひ無料にして、65歳からにしてほしい。
	高齢者が外出しようとする意欲を持つことにより、元気になり、医療費が削減する。敬老パスは存続希望、無料化の実施を。
敬老パスの値上げをしないでほしい。また年齢を現行のままにしてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	現行のまま維持してほしい。
	現行制度を維持してほしい。値上げはしないでほしい。
	市外の友人からうらやましいといわれる。子孫の代まで現状のまま存続をお願いする。
	利用者として現在の負担金で継続してほしい。
	自分たちの楽しみのなくさないようにお願いします。敬老パスのおかげで健康でいられる。
	敬老パスをなくさないでほしい。
	健康でいられるのは敬老パスのおかげ。なくならないようお願いする。
	なくさないでほしい。
	ずっと続けてほしい。
	なくならないようお願いする。
	なくなるようなことはしないでほしい。
	現在、健康でいられるのは敬老パスのおかげ。なくすことはしないでほしい。
	あと1年で利用できるかと期待してきたのに、期待を裏切らないでほしい。
	敬老パスがあるので外出する。家の中にいてばかりいては足腰も弱くなり医療費の負担も増加する。無料で65歳の人に敬老パスを続けてほしい。
	なくしたり、値上げは反対。
	敬老パスでいろいろなところに出かけることができ、感謝している。パスがなくなったり値上げされたりしたら外出の回数はずっと減る。外出し、歩くことで、健康も保たれる。無料で65歳から支給されることを望む。
	高齢者が交通費を気にすることなく出かけられるものである。
	値上げや交付年齢を上げることに反対。
	値上げや交付年齢を上げることに反対。
	値上げや改正に反対。
出かけられるのは敬老パスのおかげ。家にとじこもることが多くなると病気も増えていき、国保の方が高くなる。	
なくしたり、値上げは反対。	
値上げ反対。	
値上げや中止は反対。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	値上げや中止、交付年齢を上げることに反対。
	無料にしてほしい。
	無料にしてほしい。
	気兼ねなく外出できることは、高齢者にとって喜びであり、健康の源でもあり、市の医療費にも大きく貢献しているはず。むしろ当初のように無料配布すべき。
	自分は敬老パスがあるため気軽に外出することができ、健康に過ごすことができている。見直しには絶対反対。他に見直すことがあると思う。
	年寄が元気なことはすばらしいこと。無料にもどしてほしい。
	敬老パスは福祉の象徴。高齢者が元気でいられるのは素敵なこと。
	高齢者の健康といきがいを守るため、敬老パスはなくしてはならない。
	毎日病院に通っているが、敬老パスが使えるので助かっている。元気で動ける65歳からいただけると年をとっても動きつづけられると思う。値段も今以上に上げないよう、現在どおり続けてほしい。
	まだ65歳になっていない。廃止では、自分は恩恵を受けることなく終わってしまう。廃止には絶対反対。値上げも反対。年金は少ない。
	高齢者になれば出歩くことも少なくなるが、パスがあれば意欲的に生活でき、医療費も少なくなる。最低でも現状維持、さらに無料になれば幸いである。
	敬老パスは高齢者の社会参加として、気軽に外出ができ、多くの市民によるこぼれている。交付年齢65歳以上も含めて、現状のままで、見直す必要はない。
	存続してほしい。
	無駄を省いてほしい。年長者は敬う指導を。
	街へ出て歩くことで元気を保つ意義は極めて大きい。医療費縮減にも大いに役立っていると思う。存続させるべき。
	継続をお願いします。
	存続をお願いします。
	続けてほしい。ないと楽しくない。
	続けてほしい。ないと楽しくない。
	続けてほしい。
存続すべき。	
少額のお金でも、回が重なると大きな金額になり、外に出ることも負担になる。自分の趣味にチャレンジしたり、どこかに行くことも心の栄養のために必要なことと思う。	
素晴らしい政策を続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	存続をお願いする。
	続けてほしい。
	戦後の日本復活に尽力した人をもっと大事にすべき。
	お年寄りを大事にしてほしい。
	お年寄りが外出して元気でいられる。
	他に見直すものが、まだあるはず。
	なくさないで。
	なくさないで。
	ぜひ続けてほしい。
	なくすな。
	なくすな。
	継続願う。
	継続してほしい。
	残して。
	私たちが外出することを促進する有効なものとなっている。高齢者が健康で長生きできるためにも、必要で、取得年齢の引き上げ、負担料の増などは認められない。現状を後退させることはやめてもらいたい。
	交通費は高く、1回外出すれば500円から1,000円はすぐ使ってしまう。高齢者が元気に外出でき、活動できることが、生活の広がりや、今後も元気で過ごしていることにつながる。他の部分を削って財源を確保してほしい。
	高齢者にとって敬老パスは生活の宝。どれだけの高齢者が利用しているか。健康面でも同じ。なくさないでほしい。
	高齢者になると病院にお世話になりがち。近所の商店が閉店して買物に行くのも敬老パスがあるとありがたい。
	外出をサポートし、とじこもりを予防し、運動不足解消、生活習慣の改善に役立つ。
	有難いと感謝しながら使わせていただいている。現状維持を願望している。
通院、買物に利用しており、日常の暮らしが成り立つのは敬老パスのおかげ。存続していただきたい。	
健康福祉局は、高齢者の社会参加が促進され健康維持に効果があると評価している。経済効果も大きいものがある。交付年齢や負担金額を引き上げるなど絶対にしないよう要請する。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	65歳以上の市民の社会参加、市バスの乗り具合、施設の利用頻度など検証したのか。足腰が丈夫なうちに敬老パスを手にするから外出する機会が増え、寝たきりの高齢者を作らない。昼間バスや地下鉄に乗るので市民の足を守ることになる。買物をし経済効果をあげる。一石三鳥にもなる制度。有料にしてしまい、本来なら無料に戻してほしいが、せめて今の制度を守っていただきたい。
	高齢者が交通費の心配なく外出することで、健康増進に役立っていると思う。お寺の縁日に敬老パスのおかげでお参りに来ることができるというお年寄りもいる。
	現在64歳で、来年に敬老パスが交付される予定で、これでやっと思い切り外出して元気に老後を過ごせると期待していたところ。敬老パスの交付については少なくとも現状を維持し、できるならば後期高齢者の方々には無料にしてほしい。他にもっと見直してもよい事業があるのではないか。
	高齢者の社会参加を促す大きな役割を果たしている。また、公共交通機関である市バスの運営を支えていると思われ、将来のまちづくりに向け、公共交通の維持・充実は不可欠である。軽い自己負担額で、65歳以上から幅広く行われている制度を維持する必要がある。
	65歳になったら敬老パスがもらえることを楽しみにしてきた。名古屋の地下鉄は高く、すぐ500円・600円かかってしまう。年金を頼りにすると外出も懐を気にしてのことになる。敬老パスは相当の経済効果があると思う。また、敬老パスを見直せば、交通局の経営にも大きく影響して、財政投入しなければならない。元の無料にしてほしい。
	自分の住む地域では、文化・スポーツ施設が貧弱で、市の中心に出かけることが多くなる。継続すべき。
	高齢者が増えるからという理由での見直しには納得できない。対象者が多くなるということはむしろ充実すべき。導入された当時のように無料にしてほしい。これまで名古屋市の高齢者が果たしてきた役割の大きさを考えてみるべき。これからの人生を健やかに幸せに暮らしてほしいと願わずにいられない。
	病院にかかることが多くなり、毎日通院するため、敬老パスがあると助かる。これ以上の負担を増やさないでほしい。
	お年寄りが外に出れば、健康に良いし、社会に活力を与える。消費効果もある。維持こそすれ、縮小・廃止は言語道断。
	私たち高齢者は、今まで一生懸命働いて税金を払ってきた。今でも年金から少しだが払っている。パスがあるから外にでる。外出すれば食事もするし、物も買う。歩くので健康にも役立っている。
	高年大学に通学するのに月8,000円～9,000円かかる。65歳になる日を楽しみに待っている。地域活性化のためにもなくさないでほしい。
	1か月1,000円で年間12,000円くらいまでならいいと思う。
	自分に限って言えば、免許証を返納し、敬老パスに頼っており、利用の制限が強まればたいへん困る。

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	自分是对象年齢だが交付は受けておらず、自転車・徒歩で買物等に行っているが、困る人もいる。遠出や病院には乗り物は必要。若い人もいずれば必要な時が来るので、継続してほしい。
	高齢者の外出を促すことで、健康増進に貢献し、ひいては高齢者医療費の抑制に役立っている。学術的に検証した資料があるのではないか。また、外出により消費が促され、地域経済への貢献、税収増にもつながる。廃止よりも無料にしたほうが財政面でプラスになることも考えられる。継続されたい。
	年金生活で外に出かけるのはお金がかかる。65歳になるのを楽しみにしていた。地域でボランティアをしているが、100人近くの方のほとんどが高齢者で、敬老パスは欠かせないといわれている。年齢条件の引き上げや料金の増額があっては制度の意味が半減するので、現行での継続を。
	市民に喜ばれ、市民生活を豊かにした施策が見直しされると知って驚いたが、今回の見直しは廃止することだろう。敬老パスは絶対残すべき。
	月4回ほどボランティアに出かけているが、敬老パスあればこそ。交通費を負担してまでは外出もままならず、ひきこもりになってしまう。そうすれば、不健康になり、医療費増加の一端を担うことになってしまう。
	やっと敬老パスが利用できる楽しみにしていたのに、なくなるかもしれないと聞いて驚いている。不要不急で無駄な予算を見直してほしい。
	私は、敬老パスでたいへん助かっている。見直すということだが、年寄のささやかな幸福を奪うのか。
	敬老パスがあるので病院にも通えるが、年金生活者には交通費を払うのはたいへんなこと。生活に必要。どうか私から敬老パスを取り上げないでほしい。廃止や負担増に反対する。
	年寄が困ることはやめてほしい。以前のように無料にしてほしい。
	敬老パスがなくなるかもしれないと聞いて驚いている。敬老パスがあるから年寄がどこへでも出かけることができる。大事な敬老パスは守り、不要不急で無駄な予算を見直してほしい。
	敬老パスを取り上げようというのは、弱者切り捨てのよう。もともと長年社会のためにつくした高齢者が社会参加し続けられるようにとのもの。無料だったものが有料化された。無料化できるよう努力すべき。
	敬老パスが廃止、なくなるかもしれないということを聞いて驚いている。親の介護や通院、買物やけいこ事など、退職後のくらしに大変役立っている。
	大事な敬老パスを「見直す」そうだが、廃止や負担増をしないでほしい。社会的弱者である高齢者が社会参加できるように行われた施策であり、見直しには絶対反対。
閉じこもりがちの高齢者に外出の機会を増やしてもらうことで、健康の増進、精神衛生の向上、その結果として、介護支援の圧縮、医療費の軽減、孤独からの解放、地域への貢献、消費活用による経済効果の底上げに寄与。高齢者がバスで移動したからといって経費原価がどれだけ違うのか。敬老パスの廃止による利用者数の削減で、市バス職員の意気も下がる。決して廃止してはならない。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスは本当に助かっている。絶対に削らないでほしい。なくなったら出られない。
	私たち年金者にはとても助かっている。足腰などだんだん悪くなり、買物などに必要。少しお金をたしてでも、見直しをしてもらえると助かる。
	たくさんの方が利用している敬老パスをなくすなど、とんでもないこと。なくさないでほしい。
	自分が敬老パスをもらって、病院や買物、ウォーキングにと活用させていただいている。このまま継続してほしい。
	外に出かける楽しみがなくなり、家に入ってしまう。健康のため、いただきたい。
	敬老パスは本当に助かっている。出かけられなくなると、不景気になるし、ひきこもりになると思う。
	敬老パスがなくなるかもしれないと聞いて驚いている。敬老パスがあるから出かけることができる。仕分けの対象が福祉・教育・保育だけではないか。福祉や暮らしを削らないでほしい。
	敬老パスがなくなると聞いて驚いている。敬老パスはとても助かっている。どうして高齢者を困らせるのか。お金がなかったら、高齢者を困らせない事業をやめればよい。
	敬老パスは本当に助かっている。勝手になくさないでほしい。絶対に削らないでほしい。年寄りを困らせることはやめてほしい。
	後期高齢者であり、私たち弱者の生活を、これ以上脅かさないでほしい。戦前戦後の荒波を乗り越え、敬老パスのおかげで自由に出歩くことができ、健康を維持できる。見直しに反対する。
	大事な敬老パスの廃止や負担増をしないでほしい。社会的弱者である高齢者の負担増には絶対反対。名古屋市にお金がないなら、お金持ちに負担を求めるべき。
	高齢者が社会参加できる大切な施策。財政が厳しいなら、他の見直すべき施策をやめていただきたい。
	国民年金はわずかであり、パスがなくなったら外にも出られない。絶対になくさないでほしい。
	年金はわずかであり、パスがなくなったらどこにも行けない。絶対になくさないでほしい。なくすなら、年金をアップしてほしい。
	少ない年金の受給者として、敬老パスは続けてほしい。できれば差別をなくすために無料制度にしていきたい。
年金を頼りに暮らす者には、お墓参り、買物や、友達に会うなど、外出できるのは敬老パスのおかげで、有難いと感謝している。外出は、健康にも精神的にも大切。不利な制度になることは反対。	
高齢者の社会参加できるようにとつくれた誇れる制度。無駄という人がいるのか。絶対守ってほしい。以前のように全員無料にしてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	社会的弱者である高齢者の事業を削るのは絶対反対。金がないなら大型事業を見直してほしい。
	敬老パスは我々高齢者の生命線である。廃止になると、家にこもり、死が早くなる危険性がある。敬老パスをなくさないでほしい。
	敬老パスは本当に助かっている。この大事な施策を勝手になくさないでほしい。絶対に削らないでほしい。高齢者を困らせることはやめてほしい。
	週3回ボランティア活動を行っているが、敬老パスの交付がなくなれば、とてもできないと思う。
	学習会や、地域のボランティアを頑張っている。旅行や、気楽に名駅・栄にも出かけ、飲食や買物ができている。敬老パスのおかげであり、益々元気で頑張りたいと思っている。今のまま残してほしい。
	敬老パスは、高齢者の外出比率を高め、消費増による経済効果、健康増進による医療費削減効果、公共交通機関利用増による効率の向上などの価値がある。65歳以上で働いている人が会社の交通費支給と重複している場合は、停止を可とする。制度の廃止だけは絶対しないほしい。
	絶対持続してほしい。敬老パスがあるので私たちも安心して外出でき、健康につながり、国保の軽減にもなると思う。
	外出するとき大変助かっている。ぜひ現状維持してほしい。
	現在、バスに乗って出かけ、健康に気を配っている。多くのお年寄りが外出し、健康を保つことは、医療費の軽減、国保の安定につながると思う。加齢のため、将来は車に乗れなくなる。現行の制度を続けてほしい。
	名古屋市が全国に誇れる唯一の制度である。低年金では外出もままならず、家にこもれば健康にもよくないし、医療費の増大にもつながる。健康にも、世間とのつながりも広がる。
	鉄道会社のウォーキングに参加することや、健康維持に必要なもの。それだけでなくとも高齢者は不利に取り扱われる傾向がある。弱者にとって必要な施策を簡単に廃止しないでいただきたい。
	大事な敬老パスの廃止や負担増をしないでほしい。病院の通院だけでも大変である。パスのおかげでやりくりしているが、年金だけの生活であり、交通費全額自己負担になったら早期治療もできなくなる。
	当初無料であったのが、有料となった以上は、継続していくべき。必要のない人は申請をしていないのだから、市財政に大きな負担はないと思う。
	敬老パスを使うたびに感謝している。健康に注意して、勉強する機会を重ねないといけないと思う。敬老パスがあるから、高齢者は外に出る機会を増やし、友人に会って、励ましあうことができる。値上げしたり、なくさないでほしい。
	自分自身は使用していないが、ほかの高齢者の皆さんが安心して公共交通を利用できるよう、制度を継続してほしい。
元気で何事もできるのは敬老パスのおかげと思う。敬老パスの廃止は困る。なにか他のもので。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスは見直ししないでほしい。病院に通いにいけなくなる。
	敬老パスのおかげで、交通費を気にせずに出かけられる。敬老パスがなくなったり、今以上高額になると安心して出かけられなくなる。買物をしたり、歩くことで楽しみながら健康保持にもつながる。このまま続けてほしい。
	高齢になると病院に行く回数が増えてくる。孫たちと外出して、食事をして、買物もする。敬老パスは現行どおり、できれば無料にしてほしい。65歳からの支給はゆずれない。70歳では、足が痛くて地下鉄などの外出はいけないという声も聞いている。
	鉄道が便利なところに自宅があるのでバスに乗ることはほとんどなかったが、敬老パスをもらうようになり、バスに乗って街へ行き、景色を見て、買物をし、ストレス解消できる。歩き疲れて、よく眠ることもできる。病気が遠くなれば、医療費も少なくなる。これからの楽しみを奪わないでほしい。
	絶対なくさないでほしい。病院や外出にこまる。
	収入の少なくなった高齢者には大きな喜び。気軽に外出できることは、街の活性化、食事や買物する喜びもあり、脳の活性化、健康にも役立ってきた。健康保険や介護保険のお世話になる数を減らしてきたと思う。存続したほうがプラスの面が多くなると思う。
	本当に助かっている。なくさないでほしい。
	高齢者が外出できるよう続けてほしい。減税や、無駄使いをやめてほしい。
	自分にとって大切なもの。外出する機会を多くしようと努力している。もらえなくなったら、家にこもってしまうと思う。続けてほしい。
	私たち高齢者にとって、敬老パスで、交通費を気にしないで外出し、買物をし、友人と交流を深め、まちの活性化に役立つ喜びを得ることができる。健康維持につながり、ひいては、健康保険や介護保険の市負担を負わせていると考えられる。一部負担金の導入があってから交付率が下がっていることを考えると、少なくとも現行を守られることを望む。
	自分が健康で出かけられるのは敬老パスがあるから。高齢者福祉に税金を使うのは当然。
	敬老パスがあることによって、高齢者が安心して外出することができる。見直しはしないでほしい。
	高齢者と障害者のバリアフリー化は世界的な流れである。高齢者の社会参加は、認知症や脚力低下による骨折を予防し、医療費軽減、地域経済活性化、伝統継承など、金銭に代え難い価値がある。
	社会参加に大切である。通院も買物も敬老パスを利用している人が多くいる。年金生活では交通費の負担も大変である。出かけることで体力の維持にも役立つ。むしろ拡充してほしい。
65歳という元気な時期に交付され、サークル・趣味・買物と、社会参加にも、商店の売り上げにも、まちの活性化にも、プラスの影響がある。値上げや年齢引き上げは絶対しないでほしい。無料に戻してほしいくらいである。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	高齢者にとって無料で市バス。地下鉄等が利用できることは社会参加、外出等に大いに助かっている。高齢者が引きこもらず外出して健康で豊かな生活を送るためにも、今以上の負担を増加させず、制度を続けて欲しい。
	今年65歳になり敬老パスを手にする事ができた。敬老パスで外出する機会が増えた。ぜひ敬老パスを今までどおり65歳以上、負担金もできるだけ安くしてほしい。
	敬老パスは気楽にどこへでも出かけられて、健康にとっても良い。元気な身体を維持して夫婦で出かけ家庭円満である。ささやかな楽しみをとりあげないでほしい。
	将来の財政負担が増えようが、良いことは継続すべき。減税をやめて、大型開発をやめれば、何分の一かの財源で充分現行制度の維持はもちろん、無料に戻すこともできる。南区では現行制度になって、敬老パスを持たない高齢者が増えた。高齢者がひきこもり健康が心配だ。
	無料にしてほしい。健康に年をかさねて楽しく元気に暮らしたいというのがささやかな私たちの願い。
	敬老パスの見直しに反対。導入により、至る所に笑顔の生き生きとした高齢者があふれてきた。交通費の心配もせずに、自由に好きなことを、好きなところに行くことができる喜びにあふれていた。積極的に社会活動に参加する人、買物や孫への土産を買う人など、賑わいも増え、消費拡大にも大いに役立っている。移動が増えるとともに健康増進にも役立ち、元気な高齢者が増え、医療費の節減にも大いに貢献している。単に金額だけでははかることのできない潜在的に大きな経済的・文化的効果をもたらしていることを考えるべき。
	自分の親が利用しているが、お年寄りが名古屋市内を移動するには大変便利なものと思う。大金持ちの人だけで集まって「敬老パスはダメ！」と言ってる感じがする。全体を見れば廃止なんてする必要はない。希望するお年寄りには、交付すればいいと思う。
	敬老パスを見直す必要はない。お年寄りに大いに利用され、健康を維持し、長寿社会を支えている。パスを利用する経済効果も大きい。
	見直しに大反対。高齢者の生きがいや健康を奪い、生活保障も危機にさらすことも。仕事を削って減税すること自体が、地方自治の本旨、憲法に反する。
	自分の親たちは敬老パスをフル活用して、老後を楽しんできた。有料化になったものの、年金生活者の身には有難いもの。長年、市民税を納めてきた者へのうれしいプレゼントである。敬老の精神を市民全体で持ち続けるために続けてほしい。高齢者の外出の機会を奪わないでほしい。若い人の消費が減っている今だからこそ、余裕のある年齢層に働きかけ消費を促すことは大切。
	無料化が無理なら現状で。
今までどおり実施してほしい。	
今までどおり実施してほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	元気な人が、出かけて生活を楽しむのは当然のこと。交通費は結構かかる。年金生活者は交通費だけでも無料だと本当に助かる。今まで社会を支えてきた人たちを大切にす意味でも見直ししないでほしい。
	高齢者は家に閉じこもりがち。市バス路線の方は、敬老パスがあれば、気楽に外出できる。財政上の理由もあると思うが、続けていただきたい。自分はほとんど使っていない。地下鉄の駅利用は高齢者の足にはこたえる。
	自分たち高齢者は敬老パスで気兼ねなく外出し、勉強し、友人の交流を広げ、楽しく暮らすので元気になり、医療費の節約にもなる。交付年齢や負担の引き上げはしないように。
	有料になってしまったが、たいへん助かっている。周囲の人たちも、パスがあるから、毎日のように駅前まで買物にいけると言っている。もうすぐもらえる年齢の人たちも待っている。ささやかな庶民の夢を無視するようなことはやめてほしい。
	他の市から移ってきて、敬老パスをいただき、気軽に出かけられることに感謝していた。制度が悪くなるばかりで、これ以上がっかりさせないでほしい。廃止と負担増は絶対しないでほしい。若い人でも楽しみにしている人がいると聞いている。
	自分は年金暮らしで、月4回ほど通院しているので、ないと困る。
	どこへ出かけるにも使えるので助かっている。年寄りを困らせることはやめてほしい。
	社会保障は、住民・市民にとって生活していくための大切な制度である。自治体は住民の健康くらしなどを守る条件を改善していくのが役割である。見直すことは賛成できない。
	お金がないなら、大手の企業やお金持ちの人たちにもっと負担を求めるべきで、社会的弱者である高齢者の敬老パスの廃止や負担増を求めるなどは絶対反対である。
	本当に助かっている。出かけることによって病気にならないで、元気に歩くことが必要だと思う。なくさないでほしい。
	社会的弱者である高齢者が社会参加できるようにつくっていただいた制度。この施策を見直しが必要な「ムダ」と誰が言い出したのか。お金がないなら大型事業などやめればよい。敬老パスは絶対守ることに加え、以前のように全員が無料でもらえるよう戻してほしい。
	敬老パスはどこに出かけるのにも使える本当に助かっている。勝手になくさないでほしい。絶対に削らないでほしい。年寄りを困らせることはやめてほしい。
	高齢者が社会参加するのに大変役立っている。後退させないでほしい。無駄を省けば、福祉はもっと良くなる。
	敬老パスを見直すそうだが、廃止や負担増をしないでほしい。
敬老パスを見直すそうだが、高齢者は家でおとなしくしているというのが。認知症になってしまう。他に削るところがたくさんある。	
敬老パスはどこに行くにも使えるので本当に助かっている。年寄りを困らせることはやめてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスがなくなるかもしれないと聞いて驚いている。敬老パスがあるから、高齢者が地下鉄や市バスでどこへでも出かけることができる。
	敬老パスを楽しみにしている。自分は低所得者なので廃止しないでほしい。
	敬老パスをいただくようになって嬉しく思っている。いろいろなところに行けるようになり便利なので、なくさないでほしい。
	毎日便利に使え本当に助かっている。削らないでほしい。年寄りを困らせないでほしい。
	敬老パスは本当に助かっている。廃止には絶対反対。
	パスはたいへん重宝し、値段も手ごろで感謝している。今のままで維持してほしい。
	敬老パスはささやかな楽しみであり、絶対に削らないでほしい。
	低所得者の弱者いじめをして敬老パスをとりやめないでほしい。
	買物に行く時は地下鉄・バスを使用している。なくならないよう、高くならないよう、願います。
	出かけるのに使いたい。足が弱っているので、なくさないでほしい。
	敬老パスがなくなると、外に出る機会がなくなるので、本当に困る。
	敬老パスをなくさないでほしい。
	年金生活で病院に通院しているが生活が苦しい。敬老パスは通院以外にも、どこへ出かけるときにも使えるので、助かっている。絶対なくさないでほしい。
	事業仕分けで敬老パスの廃止が指摘されているが、廃止されると年金で生活している高齢者は出かけることを控えるようになると思う。家にひきこもることが多くなり、体や精神にも悪影響を与え、結局は病院通いが増えるのではないか。外出すれば、意欲と楽しみになり、医療費抑制にもつながるのではないか。買物をし、消費につながる部分もあるのではないか。廃止には反対である。
	なくなると困る。
	病院通いに必要で、なくさないでほしい。
	自分は週1回は利用するので、なくさないでほしい。
	敬老パスは社会的弱者である高齢者に反対する。
	弱者いじめにすぎない。
	もともと無条件交付であったものを、負担を強いてきた。今回、さらに交付条件を高齢者の負担増で変更することは認められない。
外出でき、高齢者の活性化に役立っている。非常に好評な制度である。永久継続してほしい。	
年金受給者にとっては本当に助かっている。高齢者の外出の促進にもなり、健康や消費にも貢献し、大ヒットだと思う。もともと無償であったので、少なくとも現状維持をしてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスがあることで、現在、気軽に外出して助かっている。心身ともに健康を保つためにも敬老パスを継続してほしい。
	敬老パスを取りやめたら、お金を出してバスに乗って出かけることは少なくなり、店も購買力が落ち、高齢者も活気がなくなり、両面ともにマイナスになるので、なくさないでほしい。
	自分たちの世代の人たちは、いつか敬老パスを使って出かけることを楽しみにしている人が少なからずいると思う。楽しみを奪わないでほしい。
	シニアの元気の一つのベースが敬老パスである。また、地下鉄・バスに乗り、中心部等に出かけることによる経済効果も結構大きいと思う。このところ、事業費の額に大きな増減なく、この制度の維持に努めてほしい。
	廃止はとんでもない。高齢者をばかにしている。絶対廃止は反対。
	大変良い制度である。見直しや負担増は絶対ダメ。
	収入の少ない高齢者が気軽に家族に気兼ねなく外出するには、これ以上自己負担を増やされてはたまらない。高齢者いじめの敬老パス交付の見直しはやめてもらいたい。
	40年間市民税を納めてきた。退職して年金生活になり、65歳に敬老パスをもらえるのを楽しみにしていたのに、困る。削るべき財源は、弱者ではなく、高額所得者や大企業からの分担にすべきではないか。
	今までずっと心待ちにしてきた。今でも無料ではないし、たくさんの方が利用している。いまのまま続けるべき。後退させるようなら反対運動がおこる。もっと別のことで考えるべきところがあると思う。年配の人々の社会参加も大いに助けている。
	年金で生活している自分にとって、買物、通院、花見など、便利に利用させてもらっている。足腰のまだ丈夫な高齢者がまちにでて若い人と交わる機会を与えることが、行政のいたわりではないか。これ以上の負担をかけないで、制度を後退させないでほしい。
	シルバー人材センターの会員で、仕事をしている。今は、敬老パスがあるので、発注者は交通費を負担しなくてよいが、敬老パスがなくなると、発注者が交通費を負担することになる。シルバーの介護保険のヘルパー派遣でも、利用者はヘルパーが来るたびに負担しなければならないので、依頼をやめようかと考える方がかなりでてくる。発注がやめになれば、シルバーはつぶれる。これでいいのか。
	高齢者の生活支援のみならず、出歩くことでの健康支援や社会参加にも役立っている。出かけることで食事や買物など経済活動やまちの活気など効果は大きいのではないか。高齢者が出歩くのは、バスや地下鉄が比較的すいている昼間である。敬老パスの見直しには反対する。
敬老パスがなくなると、高齢者が外出を控えるようになり、運動不足におちいり、足腰が弱くなる。その結果、医療費がかさみ市の負担が大きくなる。足腰弱体防止には65歳からでなければ遅い。高齢者が元気になれば市全体が活性化する。交通局の赤字軽減にもなっているのではと思う。無料に戻し、65歳以上を継続してほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	退職し、年金生活になった現在、敬老パスの有難味を感じている。配偶者が入院しているが、毎日会いに行けるのも敬老パスのおかげである。押しつぶされそうな気持のときにも乗り越えてこられたのは、気軽に外出ができ、気分転換がはかれたからである。交通費の捻出をすとなれば、家計も苦しく、家に閉じこもりがちになり、足腰も弱くなり、病院通いの毎日になる。
	敬老パスは私たちの暮らしに欠かせない。本来無料にすべき。少なくとも現状を維持してほしい。もし制度をなくしたり、負担が増えてパスの受け取りをあきらめる人が多くなれば、高齢者の外出は減り、不景気が進み、健康にも影響し、医療費・健保の予算が大幅に増えることは眼に見えている。
	高齢者は家には体力、知力が衰える。市バス地下鉄に乗って出かけることで脚力、知力を維持できる。バス停まで歩き、立って待たなければいけないし、乗換も必要。バスの時刻表を頭に入れて買物をしたりすることが、認知症を遅らせ、元気でいれば医療費を使うことが少なく、国保の運営にも寄与する。
	交付条件を厳しくして、街をさびれさせて高齢者の健康を損なわせるつもりか。負担を増やさないでほしい。
	市の交通局の経営や、高齢者がいきいきと行動しているという点でプラスになっている。補助が減れば遠くの病院や公共施設に行くのも負担が増え、楽しみを奪い健康を害する。維持してほしい。
	高齢者が家に閉じこもらず、積極的に外に出て趣味を活かし、社会貢献するなど、多様な生きがいを持つことがいつまでも元気に暮らせるポイント。元気な高齢者が増えれば、名古屋市にとっても財政的に有効ではないか。一律減税をするがために、私たちの生活に密着する敬老パスの見直しはやめてほしい。
	敬老パスを使って外出していただくことで、経済効果も大きく、医療費の軽減、CO2削減などあらゆる分野への効果が期待できる。廃止でなくても、交付年齢を上げたり、負担金増などの見直しでも困る。
	もうすぐ使えるようになるのに、なくされたら困る。年寄りのいきがいと健康を奪わないでほしい。
	どこに出かけるにも使えるので本当に助かっている。年寄りを困らすことはやめてほしい。
	敬老パスは社会的弱者が社会参加できる全国に誇れる施策の一つ。病院通いにいつも使っている。パスの廃止と負担増は絶対に反対。
	どこにでも出かけられるので本当に助かっている。老い先短い年寄りを困らすことはしないでほしい。
	敬老パスは社会的弱者が社会参加できる全国に誇れる施策の一つ。病院通いにいつも使っている。パスの廃止と負担増は絶対に反対。
敬老パスはお金のない高齢者に本当に助かっている。年寄りには大切なものであり、困らせないでほしい。逆に大手の企業やお金持ちの企業からとってほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスは社会的弱者が社会参加できる全国に誇れる施策。一律10%減税をやめ、議員の海外視察や名古屋城本丸御殿の建て替えなど、不要不急で無駄な予算こそ見直してほしい。
	どこへ出かけるにも使えるので本当に助かっている。病院と買物に使っている。大事な福祉施策を仕分けの対象にして勝手になくさないでほしい。年寄りを困らせないでほしい。
	交通費を気にせず、気軽に外出して健康を管理する面で重要。街の活性化にも貢献している。負担金の引き上げは絶対反対。
	金持ち減税のための予算捻出の今回の行政評価、事業選択は市民犠牲につながるので絶対にやめてほしい。
	敬老パスは高齢者の社会参加、保健との幾重もの効力を発揮している。廃止、料金の引き上げをしないでほしい。少数の判定員に是非をかけるなど、論外。
	高齢者のためにどれほど役に立っているか、その立場にならなければわからない。気楽に外出し、生きがいを持って健康に暮らす上で不可欠なもの。無料にすべき。
	財政難を理由に見直すなら、名古屋城の木造化や中部国際空港の2本目滑走路などを見直すべき。減税の財源づくりのために敬老パスを見直すことは許されない。
	削らず充実してほしい。高齢者になって収入は少ない。少しの援助で世の中が活性化する。高齢者の役割を発展させる方向に持って行ってほしい。
	母親の介護施設に通うのに大変助かった。年齢や金額の引き上げは困る。
	不明。
	自分は一人暮らしの年金生活者だが、パスを利用して健康づくりと自動車を離れエコに協力できた。一人暮らしで家に閉じこもりがちな高齢者にとって外に出かける大きな力になる。なくさず、現行どおりにしてほしい。
	交付により健康面、名古屋の都市明朗性も保たれている。市民が健康を損ない街歩きしなくなれば暗い町になる。
	年金はどんどん減り、外出すると交通費の高いのに驚く。絶対に残してほしい。
	パスのおかげで外出もできる。なくさないでほしい。
お年寄りは今まで日本を作ってきたくださった方々で、敬老が必要。なくしたら余計外に出なくなって市の医療費もかさむ。絶対になくさないで。	
敬老施策は県も国もなく、敬老パスが唯一の事業で、拡充すべき。自分も喜んで使っている。外出の機会が多くなれば買物、見舞い、ランチなど元気な老後を楽しむことで生活の質・幅が広がる。負担金額も値上げしないでほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	買物や各種事業、ボランティアに大変役立っている。事業仕分けで改悪されれば生活が縮小し、社会の活気も縮小する。市民を困らせたい、縮小させたいための事業仕分けだと思う。
	敬老パスがなくなると出かけられなくなるので困る。
	有料でもパスがあれば中心部などに足を伸ばせ、いろんなイベント行事に参加でき、気軽に買物もできる。年金生活では、閉じこもりがちの生活になるが、パスがあれば行動範囲が広がり、精神的、肉体的に活発になり医療費の節約にもつながる。不況のこの時期だからこそ、制度を維持して高齢者を励まし、動かし、町の活性化に生かしてほしい。
	高齢者の社会参加のみでなく、若い世代が高齢者が一日在宅していることで感じるストレスを軽減できる。健康維持・医療費の抑制となる。チケット等を買う動作がなく、窓口で迷惑をかけない。市の福祉行政・市民の税金が直接市民に還元される。以上のことから見直しを再考してほしい。
	なくなれば、毎日生活に不自由を感じて困る。全員無料にしてほしい。
	定年後の楽しみとして公共の地下鉄・市バスはなくてはならない乗り物。いまさら私たちの楽しみをなくさないでほしい。
	今までどおり継続してほしい。
	通院・リハビリにはどうしても必要。社会参加の機会も増え、社会の活性化にもなっている。
	利用者にしてみれば、こんなにありがたい制度はない。パスのおかげでどれだけの人が助かっているか想像してほしい。
	善政を後退させないでほしい。敬老パスがあるから気軽に出かけられ、健康維持や街の活性化につながっており、経済効果も絶大だと思う。行政評価の対象は見当違い。
	元気なお年寄りが街へ外出し、買物・食事にと、経済の活性化に大いに寄与している。健康維持にもつながっている。絶対に必要。
	団塊の世代と言われている自分たちはこれからどんどん不利益なことが増えてきて、住みにくい名古屋になっていくのが耐えられない。せめて元気に長生きできるよう、これ以上後退させないでほしい。
	敬老パスを楽しみにしていた。65歳で交付してほしい。
	パスを楽しみにしている。敬老パスは全国に誇れる福祉行政。継続させてほしい。
	現在パスを交付されているが、事業仕分けに入ること自体おかしい。健康福祉局も高齢者の社会参加を促進する貢献度は極めて大きいと認めているのに、65歳から70歳に交付年齢を引き上げる検討をしていることに反対。
敬老パスは高齢者にとって大切な健康維持の手段。なくさないでほしい。	
今までどおりでお願いしたい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	改悪に反対。体調不良でよく病院にでかけるが、これでは無理。
	65歳からいただけることを楽しみにしていたので、継続してほしい。
	敬老パスのおかげで出かける機会を作って気分を若々しく保っている。多少交付金が高くなっても続けてほしい。
	敬老パスがもたらす高齢者の社会参加は、まちの活性化にも寄与すると考える。また、健康な体づくりは医療費の抑制にもつながり、財政的にもはかりしれないほど大きな効果があるのではないかと。
	交通費を心配しないで高齢者が街に出て買物をしたり、食事をしたりすれば、街や経済の活性化にもつながる。見直しは反対。現行通り実施してほしい。
	自分の親は足が悪いが、敬老パスがあるので、離れたところにしかない美容院に行ける。市バスで2区間だけだが、歩くにはしんどいし、パスがあるので乗って出かける意欲になる。年金でつましく1人で暮らしている私の親からパスをとりあげないでほしい。
	社会に貢献してきた高齢者達を敬い、社会参加を支援する、創造的な事業。敬老パスが利用されることで、地域社会が人的にも活性化されていることは間違いない。地域経済の活性化に多大な貢献をしており、この制度がなくなると、確実に地域経済に打撃を与える。縮小したりなくしたりしないでほしい。
	敬老パスがなくなれば、仕事を始め買物や用事で外に出ることが困難になる。ぜひ存続してほしい。
	敬老パスは高齢者の社会参加を促進し、健康増進にも役立っている。無駄な大型事業や減税をやめ、敬老パスを今までどおり交付してほしい。
	病院通いも買物も敬老パスがあればこそできる。収入は僅かな年金なので病院通いの度重なる出費は大きな負担になる。なくさないでほしい。
	年金暮らしになった今も体の続く限り少しでも役に立てたらとボランティアに参加している。高齢者の社会参加の道をとざし、ささやかな楽しみや文化に触れる機会さえ遠ざける前に、少なくとも、金がないことを理由に敬老パスを見直す前に、億の金額を作り出せる方法を実行すべきである。
	市長は敬老パスを守ると公約し当選している。健康福祉局は、高齢者の社会参加が促進され健康維持に効果があると評価している。さらに経済効果も大きいものがある。交付年齢や負担金を上げるなど絶対にしないでほしい。
	高齢者の外出機会を増やし健康維持にも有効であり、今後も継続すべきである。市交通局の財政支援にも役立っており、地域の足としての地下鉄、市バスの存続発展のためにも拡充継続すべき。
負担増からあり方について検討するということであるが、サラリーマンにとっては、行政は税金を取るだけで何の見返りもない。長年高い税金を払ってきて年齢が近づいてきたらあり方を検討するというのは不公平である。	
買物、外出になくしては困る。継続してほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	<p>バスを利用するようになって、出かけることが気にならなくなった。65歳以上の元気促進ということでは名古屋の活気にもつながる。見方を換えれば、今まで働き、その分税金を出してきたごほうびと考えられる。存続を希望する。</p>
	<p>通院や買物などでよく利用している。なくなれば、外へでることも非常に少なくなり、身体の衰えも早くなって病院にかかることも多くなり、医療費の負担が増える。削ることは絶対にやめてほしい。</p>
	<p>現状維持で願います。敬老パスは年寄りへの勲章であり生きがいである。生活を切り詰めて年金生活の出費もあり、外出に生活をもっと切り詰めないといけない。もっと他に見直しする部門があるのでは。</p>
	<p>時代によって状況は変化するので見直す必要があると考える。今80歳台の方はほとんど外出が少なく、タクシーを利用したりする人が多い。70歳台の方は一番旺盛に外出できるので、必要な方は最低5,000円で購入して使用していただくことが良い。60歳台も然り。</p>
	<p>パスがもらえるのを楽しみにしている。せめて今のまま維持してほしい。市交通を利用して市内あちこちに出かけられるということは、元気な充実した老後をごせるとても大切な保障である。楽しみを取り上げないでほしい。</p>
	<p>高齢者が交通費を気にせず外出できることは、健康、知的な刺激を受けるために重要だと思う。現在の負担程度にとどめて維持してもらいたい。</p>
	<p>交通費の心配なく出かけられてることが本当にありがたく、心身ともに健康でいられる幸せを日々感じて元気に出かけている。可能なだけ出かけて街の活性化にも貢献できれば好循環にも反映できる。</p>
	<p>自分にとって敬老パスは、社会参加、健康づくり、そして友達の輪作りに欠かせないので、このままの存続をぜひお願いしたい。</p>
	<p>おしゃれして元気に出かけるためには、自分自身病気予防に心がけ、元気を維持するために敬老パスを継続してほしい。</p>
	<p>敬老パスのおかげで外出でき、気分転換やストレス解消の大きな支えになっている。ぜひともこれだけは廃止しないでほしい。子ども時代に戦争で苦しみすごしたこの人生の終末をこれ以上苦しめないでほしい。</p>
	<p>病院通いや公共施設に出かけるために、バス・地下鉄を使う。外出できることは、身体だけではなく、精神的にも大切だと思う。利用者を増やすことが市として大切であり、制度を存続すべきである。</p>
	<p>高齢者が交通費を気にせずに、買物・お出かけに外出することができる健康を守る上でも非常に有効である。</p>
	<p>敬老パスで出かける楽しみをとらないでほしい。少し位値上げしても絶対になくさないでほしい。</p>
	<p>長年親しまれている。これ以上の見直しはやめてほしい。</p>
<p>ぜひ継続してほしい。基本的に無料がいい。敬老パスがあるから、出かけることができる。健康や元気の維持のためにもよい制度。</p>	
<p>とても助かっている。マイカーは駐車場の心配をしなくてはいけない。</p>	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	もう少しでいただけるが、なくなると、楽しみがなくなる。65歳から少しあげてもよい。収入がある人は考えてもよく、三段階の値段をもう少し上げて、みんなが喜ぶのではないかと思う。
	敬老パスのおかげでいろいろと出かけられる。ぜひお願いしたい。
	敬老パスをいただいているので、病院に安気に行くことができている。
	大いに助かっている。遊び、病院、友達付き合い等外出が心置きなくでき、元気の素である。なくなると医療費が多くなると思う。
	敬老パスをもらえるのを楽しみにしている。今まで税金を払い敬老パスの発行を支えてきたので、見直しの対象となるとは納得できない。見直しは中止してほしい。
	高齢者の社会参加、経済効果に大いに貢献している、後退はやめてほしい。見直すべきことは他にいっぱいあるはず。
	なくなったら外出できない。栄へ行こうと思ったら、バスと地下鉄を使わなくてはいけない。往復で840円かかるので、これでは困る。
	敬老パスは、戦後の日本を支えたお年寄りを敬う大切な施策。今値上げとか交付金の年齢引き上げと聞き、どこまで弱者を踏みつけるのかと怒りを抑えることができない。
	多くの方が買物等を楽しんでいる。なくなったら名古屋市の経済においてショックを受ける結果になるかもしれない。自分を含めて、楽しみにしている人がたくさんいる。ぜひ続けていただきたい。
	敬老パスの交付に感謝している。私達高年が元気に生活するため制度を後退させないでほしい。
	もらえるのを楽しみにしている。敬老パスのおかげで高齢者が元気に外出し、経済も活性化にする。今の条件より後退させないでほしい。
	高齢者、病気の人、免許証ありの人で地下鉄・市バスを使用していない人には交付しないようにしてほしい。無駄な経費を省くことになる。交付も区役所ですれば経費も削減できる。
	収入が減った年代の敬老パスはありがたい。団塊の世代が入るころにやめるというのも納得できない。高齢者は無報酬で仕事を引き受け出歩くことも多いため、この制度を続けてほしい。
	敬老パスは、憲法に保証されているいのちとくらしを守る役割を担い、交通局財政をバックアップしてきた。継続すべき。
	平日は買物に使っている。一日家にこもるのではなく元気をいただいている。廃止ではなく値上げではどうか。
敬老パスで乗車する方を見るとうれしい。安心して外に出られるためにもなくさないでほしい。またパスがあるからスムーズに乗れ、一回ずつ支払うと時間もかかり転倒にもつながると思う。	
敬老パスを活用したいから名古屋市に住み続けた。女性サークルで学習し、図書館や女性会館に通った。女性団体の多くが高齢の人を中心に活動しており、有意義に過ごしているのも敬老パスがあつてこそ。負担金を現在以上にしないで存続すべき。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	高齢者の生きがい作りに寄与し、経済効果も期待できる。
	若い者の負担が重くなるとは思わない。高齢者が外出すれば子どもたちは喜ぶ。健康で生きがいを持って暮らせば医療費がかからない。大きな視野で考えれば財政負担は軽くなる。
	パスを買って、市バス・地下鉄を利用するようになった。公害をなくしエコに。健康のために歩くこともでき、また近くに商店がないため利用している。年金が少ないので改悪はしないでほしい。
	車の免許を持っていないのでバス・地下鉄を利用して健康のために出かけている。社会の知識を吸収している。これが健康の元だと思っているので絶対に廃止しないでほしい。
	待ち遠しい気持ちでいたのに団塊の世代の私たちは税金も納めその恩恵が受けられない。続けてもらえるよう希望する。
	高齢者の健康を維持する方法として体を動かし外出し刺激を受け脳を活性化させ認知症防止に役立つ。市バス・地下鉄をより利用してもらうために、地元で見落とししている寺院や建物などを掘り起こし利用マップを作ってはどうか。
	見直しに反対する。敬老パスを楽しみにしている。ぜひ続けてほしい。
	パスがあることで外出が気軽にでき健康に役立ち、ひいては消費も活性化している。65歳になったらパスがもらえると楽しみにしているのを奪わないでほしい。
	敬老パスがあるからこそお年寄りが街に出て活動できる。お年寄りが生き生きと過ごせるまちづくりに欠かせない。負担なしで無料にすべき。継続すべき。
	年金生活者である。敬老パスで催物などにも参加でき、外出して体を動かし健康になる。さらに発展させるべき。
	是非存続していただきたい。負担金をなくしてほしい。健康維持に役立ち医療抑制に貢献できる。地域の交流、横のつながりができる。外出先で消費がある。間接的な効果が大きい制度は後退させないでほしい。
	敬老パスは高齢者が金銭的な心配なく、役所や病院、買物、交流、行楽などが気兼ねなくできる。健康を維持できる。支給年齢を上げたり負担を増やすことなく継続してほしい。
	交付年齢の引き上げ、負担金の増額はしないでほしい。敬老パスを多くの高齢者が享受できることが大切。財政難を理由にしないでいただきたい。
	敬老パスが見直しの対象になるのは反対。
敬老パスは私の大切なものであり、決して取り上げないでほしい。	
社会的弱者である高齢者が社会参加できるようにと作られた。絶対に廃止や負担増をしないでほしい。大手企業やお金持ちの人にもっと負担を求めべき。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	助かっているという話をよく聞く。所得の多い方からは金額を上げてもらい、他の方は現行でと願う。自家用車の運転は危ないし、行った先の駐車場の問題もある。
	敬老パスのおかげで、定年後、年金で習いごとに出かけられる。健康を守っていくうえで大切。まちの活性化にも役立っていると思う。現行制度を必ず守ってほしい。
	定年後、サークルに通っている。交通費が敬老パスで助かっている。高齢者にとっては健康を保つ上でも大切である。
	健康維持につながる。それにより医療費の軽減になる。出かけることで経済効果を生む。老いることや将来への不安が少なく、名古屋市に住み続けたいと思う。全国からも高い評価を得ている。継続して交付していただきたい。
	名古屋の元気がなくなってきている。そこへ来て敬老パスを見直すとは何事か。ますます元気、活気がなくなる。
	年金が減り生活が苦しくなっている。高齢者が気軽に街に出る楽しみを奪わないでほしい。
	敬老パスは既に削られており、高齢者がとても大切にしている制度を削らないでほしい。外部評価の対象が福祉関係だけしかないのは腹立たしい。
	高齢者が活発になり、健康度も高まる、出先で消費もする。今若い人も将来利用できるから平等な制度である。交通局の財源の一部にもなる。現行制度を続ける方がよい。
	医療機関で働いているが、医療費に加え通院費用は高齢者に大きな負担。敬老パスで気兼ねなく買物に出かけ、暮らしている人が多くいる。高齢者が外に出れば経済効果も上がる。病院や施設を探し、転々とする老後は家族にも精神的・経済的負担がのしかかる。
	敬老パスは高齢者の健康維持に重要であり、医療費の削減にも貢献している。5年後、7万人の増加が見込まれるとコメントがあるが、高齢化が進む今日当然手当をすべき施策。
	これ以上の自己負担の増額は行わないでほしい。気軽な外出を保障する点でも喜ばれている制度。
	有料になり、持参者が激減した。気軽に外出できるよう無料に戻すべき。その方が市が活性化する。相乗効果を考えるべき。
	65歳からの敬老パスを待ち望んでいる人も多くいる、交通費に使わなかった金を家族への手土産などに利用すれば、購買力も高まり、経済の活性化につながる。
	公約違反。
	敬老パスのおかげで元気に活動できるので、継続をお願いします。
見直しは困る。	
今までどおりにしてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	自分たち高齢者は助かっており、敬老パスは市政からの大切な贈り物と感謝している。
	敬老パスを守り、さらに制度の向上に努めることが責務である。
	高齢者には絶対必要な敬老パスを継続させてほしい。
	高齢者の外出を少なくし、健康にも影響を及ぼす問題。
	長年利用している。経費として大変かとは思いますが、存続を心から希望する。
	いつまでも元気な高齢者でいてほしいので絶対に必要。気軽に外出できるように、交付はこのままでお願いします。
	高齢になると通院することも多くなるので、廃止してほしくない。家計が助かっている。
	運転免許を持っていない。バス、地下鉄を利用するので廃止してほしくない。
	年間5,000円の負担は我慢しても、敬老パスを取り上げるなどもってのほか。これ以上の負担金や年齢の引き上げにも反対。
	現在母の介護のため毎日使って出かけている。高齢者の健康のためにもなる。
	65歳以上を縮小しないように。高齢者の健康にも影響しているし、医療費の公費負担も少なくなり、市財政上も効果が大きい。経済の活性化にも役立っている。
	街で買物をし、昼食をするのが楽しみ、という声をよく聞く。敬老パスを使い外出し引きこもりをなくし、健康にも気をつけて生活している。敬老パスをなくしたり負担金を引き上げることはしないでほしい。
	敬老パスは高齢者に対する敬老の意味がある。経済活発のためにも、廃止はやめてほしい。
	敬老パスがなくなると今の生活の活動基盤が崩れる。年金生活者にとって交通費の心配なく外出でき、生活を支える大切な制度。なくさないでほしい。
	継続かつ充実を。年金が少なく生活できない。
	65歳からの敬老パスをやめないでほしい。年金が少なくなる中、健康でいるために、この年齢から絶対に必要。
	高齢者の出かけるのを手伝えること。75歳以上は無料にすること。
	敬老パスは日本の社会の担い手として懸命に生きた世代が喜んで利用されている。ぜひとも存続を。
	通院、買物、文化行事に参加するのに敬老パスを便利に利用している。なくなったら痛手であるので、なくさないでほしい。
	現状のまま、もしくは無料での継続をお願いします。元気な高齢期がむかえられるのは敬老パスのおかげである。
交付年齢の引き上げや負担金の増額には反対。自分も心待ちにしている。大型事業を中止して財源を確保すべき。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	収入が高い人の負担を増やして、低収入の人の額を無料等減らす方向にしてほしい。年齢の引き上げには反対。
	現在気軽に買物、催しに参加できるのは敬老パスがあるから。見直しや廃止をされると医療費増につながる。負担金の引き上げはしないでほしい。
	敬老パスには感謝している。美術館、映画、買物を楽しみ、健康にも、精神的にも元気になる。継続してほしい。
	敬老パスのおかげで高齢者が外に出て医療費や介護の負担も少なくなっており、食事をしたり買物をしたり経済効果もある。自分もパスがあるのおかげでよく外出できる。市民が喜び、有効に使われているのでぜひ続けてほしい。
	どこへ出かけるにも交通費が高いので、敬老パスがあると外出して健康にも良いと思う。
	敬老パスがなくなると外出の機会がなくなり、認知症になってしまう。病院通いは休むこともできない。3千~5千円もお金を払っている。ただで利用しているわけではない。
	バス地下鉄をよく利用している。病院に行くのに利用している。なくなると困る。
	敬老パスのおかげで毎日プールに通い、感謝している。なくなるとプールも病院も行けなくなる。なくさないでほしい。
	名古屋へ引越したとき、65歳になったら敬老パスが使えるとうれしかった。敬老パスがあると外出する気になり、健康維持になる。病気になって医療費を使うよりもよい。続けてほしい。
	もうすぐ敬老パスの対象になる。外出は公共交通でと考えており、パスをなくせばお年寄りの外出機会が減り、医療費が増えるのではないか。
	高齢者にとって、通院に、食事に楽しみに、特に1人暮らしでこもりがちなのを防ぐのに役立っている。ぜひ継続してほしい。
	義母は敬老パスをよく利用させてもらっている。元気の源になっているように思う。制度を縮小せず継続してほしい。
	財政負担増は止めてほしい。制度のあり方を見直すのはもってのほか。以前のように無料にしてほしいと思う。ぜひ存続してほしい。
	もうすぐ敬老パスがもらえる。65歳は多くの人が現役をリタイアする時期。年齢引き上げも止めてほしい。引き上げるとパスをもらえる年齢になっても出かけることに億劫になり交付を受けなくなるのではないか。パスは高齢者の健康に効果があるので、見直すと外出機会が減る。経済効果も大きいのではないか。
敬老パスがあるから年寄りが地下鉄や市バスで出かけられる。事業仕分けの項目は、福祉・教育・保育だけではないか。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	もうすぐ対象になると楽しみにしている。名古屋市は他の大都市と比べ市バス地下鉄ともに高いと思う。私は今毎月2000～3,000円必要。年金生活では大変な負担になるので今の制度を守ってほしい。
	敬老パスはなくさないでほしい。むしろ無料にしてください。
	敬老パスを事業仕分けの対象とするのは、憲法第13条、第25条に違反する。交通費が重くなり、閉塞的になりかねない。
	高齢者が運賃に気兼ねなく乗れるので、乗り間違い等しても安心。自力でいきたいところにいける。未来の高齢者のためにも続けていくべき。
	65歳より後退させないでほしい。健康促進、経済活性になる。
	高齢者は市バスでの買物に大変助かっているが、敬老パスの廃止、交付年齢引き上げなどまったく許せない。
	敬老パスを利用している。すでに負担が収入により負担があり、年金生活者にとっては値上げは困る。敬老パスの負担を下げてほしい。
	敬老パスがあることで60代が元気に出かけられ町の活性化もできる。出かけることで健康になり医療費もかからなくなる。廃止は止めてほしい。
	敬老パスのおかげで高齢者の心身の健康に寄与し、医療費の抑制になる。外出すれば必ずお金を使うので経済効果がある。高齢者は感謝している。高齢者は保護するものという考えだけでなく、ボランティアなど、その力を具体的にいかすことを考えていくとよいと思う。
	出歩くときに困る。
	病院に行くのでなくさないでほしい。
	足が悪くて歩けないので。
	病院に行くのに困る。
	気楽にどこへでもいけるので助かっている。絶対になくしてほしくない。
	安心して外に出られ、元気にすごしたい。絶対に廃止や値上げには反対。
	亡くなった夫が入院していたとき、敬老パスのおかげで毎日会いに行けた。今も敬老パスを使って通院している。なくさないで続けてほしい。
市民税、国保しっかり払わされる。楽しみにしている敬老パスを失くさないでほしい。	
敬老パスであちこち行けるようになり、うれしく思っている。低い年金生活なので、せめて名古屋市内を自由に出かけ健康を維持したい。	
年を重ねてから、外に出歩くのが心身健康の秘訣。パスがなくなれば、皆外出の機会が減るのでぜひ続けてほしいと願っている。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスがあるから、名古屋の街は賑やか。改悪したら高齢者は街に出られなくなる。デパートも街も寂しくなり景気も悪くなり、暗い名古屋になる。
	必ず継続を。
	敬老パスが使えるようになって喜んでいる。敬老パスが切れたら高齢者は出かけなくなる。そうすると病人も増える。
	敬老パスがあるから、お寺にお参りでき、買物で経済にも貢献できる。名古屋市の高齢者はパスがあるから健康と他の市町村の人は言う。国保会計のためにも敬老パスは必要。
	年金暮らしの私にとっては待ち焦がれていた敬老パス。車は乗れないので大変助かっている。
	孫の子育て支援に大変助かっている。社会に役立つことに敬老パスは使われている。
	高齢者が元気でいられ、外出によって見聞を広め好奇心により心豊かになり明るく生活できるもとなっている。廃止しないでほしい。
	こんな庶民に大切なものを値上げしないでほしい。買物に行ったり、温泉に行ったり、催事に出かけたり、健康的で経済効果も大きい。私たちの大切な税金は敬老パスのような施策に使ってほしい。
	65歳まで働き続けやっと手にした敬老パスを有効に利用している。経済や市民の健康維持に貢献度の高い施策を値上げ・廃止の対象にすることは、シルバー層いじめと経済的マイナス以外の何ものでもない。
	地下鉄の駅まで遠いため、市バスを利用。乗換えが多く、敬老パスは便利。
	敬老パスは高齢者にとってかけがえのないものになっている。健康維持や経済効果の上でも金銭で測り知れないものがある。高齢者が増えるからと行政評価の対象にすること自体、市民生活への温かさ欠けている。市民生活が低下するものは対象にすべきでない。
	高齢者が元気であることで、子どもたちが安心して働くことができる。敬老パスを今までどおり続けてほしい。
	昔と違って、70代でもまだまだ元気。交通費往復は結構負担で、敬老パスがあるからこそ気軽に出かけられる。どうかこのまま続けてほしい。現行のままの一部負担金は払う。
	敬老パスがあると、良く歩き、健康につながり、医療費を抑制する。また、頼む方が気軽に頼めなくなり、ボランティア活動に行けなくなる。なくすのはやめてほしい。
なくなると、外出もできなくなり、とても困る。	
敬老パスを使って、体操教室に通い、体を鍛えている。外出が減ると、病人が続出し、医療費がかさみ、自治体の負担増につながる。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスが廃止されたら、家計に響き、集まりや買物などの外出を控えるようになる。家に閉じこもり、生活習慣病を招き医療費の増になりかねない。高齢者が元気だと現役世代に負担をかけず、家庭が円満に行くのではないか。
	敬老パスがなくなると、出かける回数がますます減る。病院に行くにも高額な薬代の他に交通費が必要となると絶望的。弱いものをいじめず、底辺を潤すべき。
	年金で暮らしているが、外出は何よりの楽しみで、敬老パスには感謝している。お出かけ回数が少なくなるのはとても悲しい。今後ともぜひ続けてほしい。
	敬老パスがあると、気軽に出かけられ、デパートや色々なところへ行って買物などの楽しみを味わっている。なくなると、楽しみがなくなり寂しい。できる限り今のまま続けてほしい。
	待ちに待ってパスを貰い、外出も楽しくなって本当に嬉しい。これからも積極的に社会参加して健康で生活できるように頑張るので、敬老パスを取り上げないでほしい。
	敬老パスのおかげで生涯学習センターの講座などに参加でき、元気に過ごすことができる。名古屋以外の住民に、羨ましがられる。ぜひ存続してほしい。
	高齢者が増えていく世の中だが、もっと住みやすく楽しめる日々にしていくため頑張ってほしい。
	年寄りには敬老パスがなかったらどこにもいけない。高齢者の楽しみを取り上げないでほしい。
	無駄な経費を仕分け、敬老パスを守ってほしい。
	外出が増え、元気が出る。ぜひ発行を続けてほしい。
	年間で5,000円分利用していないかもしれないが、交通局の収入になればと思い、5,000円払っている。他にもっと見直すところがあると思う。年収の低い市民のため、無駄な経費を頑張って仕分けてほしい。
	免許証を返納した後もアクティブに行動できるのは健康面・精神面にもとても良いこと。廃止になってしまったら、外出を控える方もいるのでは。お年寄りの楽しみを取り上げないでほしい。
	敬老パスは値上げしないでほしい。
	継続してほしい。
	出歩くのにありがたい。廃止しないでほしい。
	続けてほしい。
今のまま続けてほしい。	
敬老パスがないと、家族との交流や買物などに支障があり、引きこもり防止のため今のまま続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	現状維持にしてほしい。費用は他の無駄なところから捻出してほしい。
	これからも敬老パス交付の継続をお願いする。
	行動範囲が広がると気持ちも若くなり、とても良いこと。お年寄りが孤独にならないためにも必要。
	敬老パスの値上げは困る。
	今以上に値上げしないでほしい。
	現状のまま。
	生活が大変である。年寄り同士、バス・地下鉄に乗って紅葉を見に行ったり、温泉に行ったり楽しみにしている。年寄りの楽しみを取り上げないでほしい。
	自営業で、会社まで敬老パスを使っている。夫は車通勤。いつ免許証を返納しようかと話していたが、敬老パスの廃止では返すこともできない。
	敬老パスのおかげで、交通費が無料で助かっており、なくなったら自分の動きがにぶくなる。周囲のお年寄りも敬老パスで元気に出かけている。絶対なくしてほしくない。
	敬老パスは引続きよろしくをお願いする。
	敬老パスを使える年齢に近づいて、これから楽になると思っていたが、廃止になると困る。ぜひ続けてほしい。
	年々大きな病院へかかる事が多くなり、バス、地下鉄を使用する事が多くなると思う。敬老パスはこのまま続けてほしいと思う。
	やっと敬老パスをもらえる年齢になったのに、頂けなくなるのは残念。
	万が一バスで通院するような事になれば年金も少ないので大変困る。乗客の少ない時間帯には小型バスにして経費の節約をすればよいのではないか。
	廃止した時に約130億円の事業費をどこで使うつもりなのか。心から納得することはないと思うので、あと少しでパスを交付される身としては絶対反対である。年金以外に多く収入のある人はなくせばいい。年をとっても気軽に外出することで心身ともに健康となり、お金も使うので経済効果もあると思う。
	敬老パスはぜひ続けてほしい。収入のない高齢者が交通費を支払ってまで気軽に外出しなくなることで購買力も落ち、街の活性化が弱くなるのではないか。高齢者も年々増加しているので70歳以上に交付する、所得制限を設けるなどをしてはどうかと思う。
現行どおり継続すべき。事業の見直しは常時行われるべきであるが、なぜ敬老パスを見直しの対象にしたのか。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスは交通機関利用に極めて便利で、外出も増える。年間5,000円で何度でも乗車できるので生活費の支出として大いに助かる。もしなくなれば生活にハリを作る機会が減る。自分としては無料にしてもらいたいくらい。
	敬老パスは行政評価に値しない。このパスがあることで外出の度合いが増え、いくばくかの支出も期待できるし、健康の維持もでき医療費の削減につながると考える。
	少なくとも今の制度で継続してほしい。パスがあることで気軽に外出でき、外出すれば喫茶店にも入るし買物もしお金が社会の中でまわり、地域経済も潤う。
	生活ができなくなる為なくさないでほしい。買物、通院に必要。
	敬老パスがあるという理由で市内に転居し税金を払ってきている。市が交通局へ払うお金で現在の交通網が維持されている面がある。高齢者は安全のため運転免許を持たないほうがいいとも言われており、外出できなくなることで健康にも悪く医療費も増加する。消費も減り経済にも悪影響がでる。以前は無料だったが、これ以上の削減は愚かな政策だ。
	敬老パスは残念ながら有料にはなったが、高齢者にとってたいへんありがたい制度。以前のように無料に戻してほしい。
	敬老パスで元気に動き回っている。医療費の削減や街の活性化に役立っている。経済効果は大きく、今、削減する理由はない。絶対になくさないでほしい。
	外出を楽しみにしているのでなくさないでほしい。
	もう少しで敬老パスを手にするのを楽しみにしている。買物や文化を楽しむにあちこち出かけたいのでなくさないでほしい。
	市の福祉行政サービスの一つである敬老パスを対象にすることは論外で、社会的弱者から生活の足を奪うことになり、通院、外出もままならず老後の生きがいもなくなるのではないかと。継続に大賛成。
	今まで敬老パスを利用していただお年寄りの方は、デパートに買物に行ったり、バスに乗って出かけてみたり、病院に行くときに利用している方も多くみえると思う。敬老パスがなくなると外出するのに不便となり、家から出なくなる可能性もある。それが一部の人だけだとしても、その人たちがより安心して暮らすには必要だと思う。
	少子高齢化が進むなか、高齢者が外出する機会を増やし、流通やまちづくりにもっと関わってもらいたい。敬老パスがなくなると、高齢者の方が外へ出る機会を著しく奪うことになると思う。高齢化だからこそ敬老パスは必要ではないか。
	敬老パスのおかげで気軽に外出することができて助かっていたが、もし廃止となると家に引きこもり健康面からもマイナスとなり医療費等の負担が増加すると思う。年収の高い人には高額を支払いとするか、なしとするべきだ。
廃止すると非常に困る方が増えると思う。ぜひ存続をお願いしたい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	足が悪いためどうしてもバス、地下鉄を利用する必要があり、敬老パスがなくなると、病院にも今までどおり行けなくなり困る。絶対に廃止しないで。
	バスを利用している毎日なので存続をお願いしたい。
	毎日のように医者通いなので敬老パスがなくなると困る。毎日タクシーでは通えないので廃止しないでほしい。
	65歳になったら当然貰えると思っていたのに、突然廃止になるとは納得できない。年金は減額になるし、税金は上がるし、せめてパスは存続してほしい。
	敬老パスがなくなると大変困るので、なくさないでほしい。
	敬老パスがなくなると生活が困る。
	廃止すると高齢者の楽しみを奪い健康の妨げになると思うので、なくさないでほしい。
	取りやめになると困る。
	将来敬老パスがほしいと思っていた。制度が廃止となると不公平であり、絶対、廃止に反対。
	今まで使えていたものが使えなくなるのは不便だし、病院等へバスで通っている人は困ると思う。ご年配の方をいたわってほしい。
	病院へ行くのに困る。
	いつも利用しているのでよろしくお願いします。
	廃止されると楽しみがなくなる。廃止には絶対反対だ。
	脳梗塞で右半身が不自由であり国立病院へ通っている。収入は年金だけであり、敬老パスがあるので大変助かっている。
	血圧が高く通院している。目も不自由である。敬老パスがなくなると困る。
	今後の生活には敬老パスは大切だ。
	敬老パスの廃止には反対。子どもの家に行く楽しみをとらないでほしい。
	敬老パスの廃止に反対。大型プロジェクトに莫大な金を注ぐのを改めれば敬老パスの費用など微々たるものだ。一番立場の弱い高齢者からわずかばかりの楽しみを奪い、金持ち優先、弱者切捨ての社会にすることは許せない。
敬老パスを利用し週に3日は外出する。敬老パスがなくなると外出しないので困る。	
毎日、会社への通勤に使っており、なくなると困る。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	やっともらえたばかりなのに、敬老パスがなくなるなんてとんでもない。体力はこれからなくなるだろうが、先輩を見習い敬老パスを利用しこれから元気な老後を送ろうとしており、絶対に困る。
	やめないでほしい。
	もうすぐもらえるので、なくさないでほしい。
	将来楽しみにしているので、なくさないでほしい。
	高齢化社会なので、お年寄りの社会参加で元気に暮らしてもらうためにも、敬老パスはあったほうがいい。運転免許の返却を勧めるなら、交通機関を気軽に使ってもらえればと思う。
	パートで勤めているが、会社から通勤費用が出ないので、なくなると困る。
	無料ではない。自分は、年間5,000円支払っている。外出し明るくなった人がたくさんおり、ぜひ継続してほしい。
	体を壊し自転車に乗れなくなり、敬老パスに頼りきりの毎日だ。病院通い、友人との外出などに利用している。存続させてほしい。
	親戚が65歳を越えた際に運転の不安や健康面から車を処分し敬老パスを利用している。敬老パスがなくなると出かけることが出来なくなり、引きこもってしまうのではないかと心配になる。高齢者の安全、健康、環境のために、ぜひ敬老パスの継続をお願いしたい。
	エコ生活をするため車をやめ敬老パスを使っている。なくなると外出もしなくなると思うので、ぜひ、なくさないでほしい。
	元気な人は健康のため、どんどん外出し、外で活動することが必要。そのため、交通費の補助があると、経済的にも助かり、外出しやすくなるので敬老パスの交付を続けていくべきと思う。
	敬老パスは継続したほうがいい。いろいろな所へ外出でき、健康に暮らしている。
	事業内容が悪化しているなら、負担額を増やして交付したらと思う。
	夫が年金生活者だが、市・県民税など現役時代とほとんど変わらず、介護保険、医療費も3割負担など出費は多くなるばかり。自家用車もやめ敬老パスを利用しようと思っている。他に見直しをするべき無駄な事業があるのではないか。大型公共事業こそ見直しをしてほしい。
	父母は敬老パスのおかげで市バス、地下鉄を使っている。病院も遠くにあり、交通機関がないと不便だし、自分も働いているため送り迎えも困難。帰りに買物に出掛けるときもある。たまにしか出かけない高齢者の楽しみをとらないでほしい。交通事故も減らせると思う。
寂しい日常生活に病院通いも兼ねまちに出ることで心の癒しになっている。なくさないでほしい。	
車がないため、敬老パスを生活のために必要としている。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	元気な頃は、趣味ごとで毎日のように市バスを利用していた。高齢者が元気で市バスを利用できることは幸せ。市民の困るような行政はやめてほしい。
	今のところ自転車で通える範囲の病院へ通院しているが、大病院に行くことになったら年金も少なくタクシーの利用は困難。子どもに無理を言うこともできない。
	市の中心地へ行くのはお金がかかる。敬老パスを廃止すると、高齢者が家に閉じこもりがちになり健康を害し医療費がかさむ。それに比べると継続するほうが安上がりではないか。
	敬老パスで足を奪わないでほしい。
	敬老パスを続けてほしい。敬老パスのおかげで外出でき元気でいられる。
	使えることを楽しみにしていた。廃止には絶対反対する。
	このまま続けてほしい。
	続けてほしい。
	敬老パスが渡されるのを楽しみにしている。今も、バス、地下鉄を利用するが、一日に何回も乗り降りすると負担になり、土日エコ切符を使っている。もうすぐもらえるのに、廃止するのは絶対許せない。パスがあることで高齢者が気軽に出かけられる。
	交付を続けてほしい。やめるのは反対だ。
	病院へ通院しているため、敬老パスを続けてほしい。
	敬老パスがあれば気軽に出かけられ、足も丈夫になる。
	敬老パスの廃止又は負担額の増額は高齢者の外出意欲をなくし、ますます閉じこもりを増やすことになる。社会的弱者をこれ以上閉じ込めないでほしい。
	敬老パスの廃止には反対である。
	敬老パスがあれば気軽に出かけられ、開放感にしたり、足も丈夫になる。
	敬老パスのおかげで高齢者も気軽に出かける事ができ、心身とも健康になり、医療費の削減も出来ると思う。
お寺参り、通院、友人と会うとき、いろいろな催しの際に外出しているが、廃止されると年金も少ないため経済的に圧迫される。高齢者は早く死ねということが。許せない。絶対、反対だ。	
通院や友人との歓談など、敬老パスがあり非常にありがたい。今まであったパスを廃止するなんてことはしないでほしい。	
弱者である高齢者の敬老パスを奪うことをしてはいけない。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パス廃止はよくない。敬老パスがあるので交通機関を利用してどこかへ出かけ、金銭を消費することで経済効果が発生するし、身体的、精神的にも前向きになり体調もよくなり、医療費削減につながる。
	昔は無料だったのに、もらえる直前になって高額になるのは許せない。最後の楽しみを奪わないでほしい。今は通院するにも交通費がかかっている。
	ありがたい制度だが、有意義に利用されている方は少ないのではないかと。交付は30万人以上だが、実際に利用している人は少ないだろう。この制度を廃止し、保育料などに回すべきだと思う。
	敬老パスで高齢者が外出することで、健康にもよく、社会性を高めることもできる。さらに、外出先での買物、飲食などお金を使うことで名古屋の経済を一定部分支えている。市の財源が使われているが、それで交通局の経営を支えている。廃止してしまうと、高齢者が気軽に外出できなくなり医療費がかさむことにもなるし、個人消費も落ち込む。
	敬老パスがなくなることで、外出の機会が減少し体調不良を起こしやすくなり、むしろ医療費の増大につながる。敬老パスの経費より海外視察の経費をカットすべきであり、敬老パスの廃止には断固反対である。
	敬老パス廃止に反対。買物、通院、その他の用事に、無料である敬老パスを利用している。なくなると通院も経済的に難しくなる。
	敬老パスを交付されてから車の使用頻度が減り、排気ガスの減少や交通事故の減少に多少役立っている。有料となり年金暮らしには痛手であったが、応分の負担はしている。
	見直しは論外。以前は無料だったが、65歳になると有料になった。昔は名古屋市に借金は無かったが、今は借金が増えてしまった。無駄が多く、やり方が悪いと思う。一般家庭では、収入以下になるよう、支出を少なく、やりくりしている。
	敬老パスをなくさないでほしい。
	敬老パスをなくさないでほしい。
	敬老パスの廃止は絶対反対だ。廃止する前に調査する必要がある。外出の出来ない人や寝たきりの人、車を利用している人には民生委員に調査してもらい交付をしない。負担金を一律とする。5,000円でも高いとは思わない。年齢も70歳以上にするなどしてもいいと思う。
	敬老パスのおかげで高齢者が元気で過ごす事ができている。もともとは無料だったので、元に戻してほしい。
	市長は敬老パスは守ると公約している。公約は守ってほしい。
	敬老パスで市バス、地下鉄に自由に乗れるのはうれしいことだ。健康のためにも、買物に出るにも、自由に使える、自分も助かっている。
交付を待ち望んでいる。たしかに敬老パスのための支出の金額は大きい。しかし、外出を控えたとしたら、何年かに医療費増となるのではないかと。消費にもつながる。敬老パスを残し、経済を発展させ、医療費削減を狙ってほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスには感謝している。行事・講習会・買物にも使っている。車を運転する必要もなくなった。高齢者がいきいきと暮らし、消費の拡大に役立っているパスの働きは大きい。現状維持を求める。
	有効に使っている。無料にしてほしい。
	無料にしてほしい。
	車の運転ができなくなればバスを利用するので、続けてほしい。
	なくなると困るのでなくさないでほしい。
	敬老パスがなくなると自費で通院しなくてはならず、負担が大変。時々街に出かけると頭が活性化してうれしい。今までどおり利用させてほしい。
	敬老パスで遠くに買物にも行ける。健康にも購買力にもよい。なくなれば家に閉じこもり、病気にもなりやすいので敬老パスは続けてほしい。
	敬老パスは、市民の健康にとっても、名古屋の文化・経済の活性化にも、交通局の運営にも大きく貢献している。
	市バス・地下鉄を利用しないと生活が困る。年金のみでは大変で、通院にも困難。値上げはしないでほしい。
	なくなるのは困る。
	なくなるのは困る。
	団塊の世代になっても敬老パスは続けてほしい。このことはわかっていたはずだ。健康な老後を守るためにも続けてほしい。
	敬老パスのおかげで外出できることは、健康にもつながっている。従来どおり敬老パスの交付を続けてほしい。
敬老パスで通院しているので、なくなると困る。続けてほしい。	
通院になくてはならないもので、健康につながっている。健康で長生きするためにどうしても必要。	
現行どおり続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスでお茶のお稽古に通っているが、なくなれば出かける回数が減る。なくさないでほしい。
	敬老パスを利用していろいろ出かける。これから高齢者が増えて家に閉じこもることがないようにこの制度はとても大切。ますます拡大、無料にしてほしい。
	車がないので、買物や病院になくっては困る。今までどおりでお願いしたい。
	大変助かっている。年金生活者なので値上げしないでほしい。
	自分たちにとっては重要なもの。なくすことはもちろん、金額を上げることにも反対。
	敬老パスのおかげで楽しく過ごせてありがたい。
	敬老パスのおかげでどこへでも行ける。
	敬老パスのおかげで、通院、公共施設の利用などとてもありがたい。これからも続けてほしい。
	通院が多く、運転もできず、年金生活で、すごく利用している。続けてほしい。
	敬老パスは名古屋市の経済発展の基になっている。敬老パスがなければ、コンサートや買物、ボランティアにも行かない。出かけて足腰丈夫になり、気分転換にもなる。今までどおりに続けてほしい。
	これから、老後の楽しみとして、健康を保つため、敬老パスを利用して大いに外出する予定。廃止しないでほしい。
	いろいろ出かけたかったので、なくさないでほしい。
	敬老パスがほしい。
	健康で、出歩くのを楽しみにしている。買物はあまりできないが、パスは生活にうるおいをもたらしている。今後も続けてほしい。
	弱者へのしわ寄せはダメ。敬老パスは続けてほしい。
	重度障害者なので、給付金等等、持続してほしい。
敬老パスは楽しみで、家にこもらず健康のもとになり、医療費を減らすことになる。	
廃止には大反対。余分な公共事業はダメで、高齢者の集まりができるところをどんどん作ってほしい。	
自家用車で用事をすませてきたが、医者通いばかりなので、今までどおりパスがもらえるとありがたい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	無料だったものを有料にして、今度はなくすと言いつつなんて許せない。他に無駄遣いをしていると思う。元気で出かけて買物をすれば経済的にもいい。
	敬老パスのおかげで病院・買物に、本当に感謝している。今後も守ってほしい。
	病院通いに敬老パスがないと困るので、よろしくお願ひしたい。
	高齢者の健康増進、外出により経済活動に役立っているの、市政にとっても非常に貢献度が高い。
	高齢者の健康と活性化のため敬老パスは必要。なくしたり、料金をあげないようにお願ひしたい。
	敬老パスのおかげで、毎日のように観劇・デパート・ボランティア・病院にでかけることができる。負担が多くなれば、経済的に困難になり、外出を控えなければならない。年金生活者にとっては、敬老パスはありがたい。
	もうすぐ待ちに待った敬老パスが交付されるのに、廃止されたら泣くに泣けない。廃止になれば多くのお年寄りが閉じこもりになるし、なくしたからといって大幅増になることはないと思う。
	交通費の負担は大きく感じる。年金暮らしの高齢者にとってはたいへんなこと。高齢者が家にこもることなく外に出かけることは心身の健康の維持のためにも大切。敬老パスは意義もあり、重要なものであるの、存続を求める。
	敬老パスは本当にありがたい。健康維持にも役立っているし、経済の活性化にも貢献している。現行制度の維持をお願ひしたい。
	敬老パスの恩恵を受け、外出を多くし、健康管理に留意している。規制がかかれば、医療費の支出が多くなる。
	見直ししないでほしい。
	見直ししないでほしい。
	見直ししないでほしい。
	見直ししないでほしい。
	今までどおり続けてほしい。
	敬老パスで通院している。なくさないでほしい。
介護予防に有効。見直さないでほしい。	
いつもありがたく利用している。もう少し金額を上げてもいいので、65歳からの支給にしてほしい。元気なうちならボランティアや学びの中に入るのも容易なはず。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスで気軽に文化に触れ、買物もできる。経済も活性化し、医療の予防にもなる。なくさないでほしい。
	社会的弱者である自分たちが社会参加できることがうれしい。家の中にももっていると取り残されてしまう。
	病院や買物などに便利に使っている。絶対になくさないでほしい。年寄りを困らすことはやめてほしい。
	パスが使えるようになるのを楽しみにしている。今はほとんど車で外出している。交通費が上がれば外出も控え、健康にも影響が出て医療費がかさむ。年齢を引き下げるか、現行据え置きにしてほしい。
	高齢者の社会活動参加に不可欠。健康福祉局から交通局に支払っている負担金は交通局の経営を支えており、無駄な経費ではない。
	敬老パス廃止・負担増は絶対にやめてほしい。
	有料に反対する。
	見直しに反対。本来無料に戻すべき。市民の生活を優先してほしい。
	現状維持を厳守。通院に恩恵をいただいている。高額な治療費に加え、敬老パスが値上げされると多大な負担がかかる。
	敬老パスにより家にこもらず外に出られる。元気で病院にも通う回数が少なくなれば税金も使わない。
	負担金を増やせば豊かでない高齢者が引きこもりになり、要介護者を増やし、結果的に市の財政を圧迫する。値上げはすべきでない。
	将来の財政負担の増大が見込まれることは、成果であり、喜ぶべき。このような市民生活に直接関係する政策は拡大すべき。
	敬老パスのおかげで気軽に出かける高齢者も多く、心身の健康増進に役立ち、医療費を減らすことにもなっている。長い目で見て、市民全体、特に弱者のことを考えてほしい。
	無料にしたほうが良い。
	なくさないでほしい。無料にしてほしい。
	なくさないでほしい。無料にしてほしい。
	なくさないでほしい。無料にしてほしい。
	今までどおり続けてほしい。通院している方には絶対必要。
	今までと変わらず交付してほしい。
	今までどおり続けてほしい。

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	高齢者の社会参加の促進・生きがいづくりや健康増進という施策への貢献は大変貴重であり、交通局の事業の運営にも寄与している。生活困難な者こそこの施策に喜びを持っている。
	敬老パスを取り上げないでほしい。自分たち高齢者に対するごほうびだと思う。
	なくなったら外出することができなくなる。車もなく、年金も引き下げられた上、後期高齢者医療保険と介護保険料が引上げられた。外出するには多額の交通費が必要である。健康のためにも敬老パスを切り捨てないでほしい。
	もうすぐ65歳になる。交通の便に恵まれず、栄や名駅などに買物や、映画、美術館などに行くと、乗り換えのために交通費がたくさんかかる。そのため、都心へはあまり行くことができない。何としても継続してほしい。
	敬老パスは高齢者の健康に深く関連する。高齢者は動かず、外の空気を吸わず、活動しなければ、必ず身体的または精神的に問題が起きてくる。そうなれば医療費はかさむ。パスがあればこそ健康に生きれるものである。
	最低限現行制度を守り続けてほしい。高齢者の健康増進に大いに役立っている。医療費の削減にもつながっている。
	敬老パスのおかげで私たちは家に閉じこもることなく、いろいろなところへ出かけることが出来る。他に見直すべきものがあるのではないか。
	年金を頼りに生活している後期高齢者の自分にとって、通院や公共施設の利用のために欠かせない。外出できることは、健康にも精神的にも支えになっている。継続し、できれば無料にしてほしい。
	敬老パスがあるので外出できる。年金だけでは、常に出かけることはできない。家に居てテレビの守りでは足腰が悪くなり、友達も少なくなる。
	高齢者の健康のためにこのパスは必要である。いつまでも続けていくことが必要である。
	敬老パスには感謝している。確かに負担は増すばかりと思うが、高齢者の社会参加が健康維持につながっていると思うし、ボランティア活動もできた。現状の65歳以上で、多少負担金を上げてもいいと思う。
	以前は無料だった。現在は所得に応じた負担で、これは当然。孤独なお年寄りも多い中、外出が唯一の楽しみ。交通費はばかにならない。外出がなくなったらひきこもりになる。今まで社会に貢献されてきた高齢者の楽しみを奪わないで。
	病院に通うために敬老パスは必要。今までのように使いたいのので廃止となったら打撃である。

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	高齢者が交通費を気にせず気軽に行動して余生を楽しむことができるし、街の繁栄に繋がると思う。見直しが必要であれば、負担する金額の改正が必要だと思うが、まず段階的に上げていくことが良いと思う。
	福祉社会に逆行する政策は反対。多少の負担金の増額も考慮して継続希望。外出することにより精神的にも元気でいられ、ショッピングや昼食を摂る事により、街の活性化の一翼を担っている。ひいては心身ともに元気でいることは医療費の節約、介護の負担軽減に繋がるといっても過言ではない。
	存続させてほしい。ただし、現在の負担額は低すぎると思う。現行の1,000円は3,000円、最高の5,000円は10,000円位にしても良い。又、支給年齢は65歳から70歳に引上げてほしいとも思う。廃止は絶対やめていただきたい。パスがなくなり、歩かないと病気になり、医療費が増大する。
	高齢者にとって絶対に必要な政策である。以前のように無料とすべきである。高齢者にとっての生きがいは外出し、社会の空気に触れることである。これを保障するのが憲法の精神である。
	無料にすることはあっても負担増や廃止には絶対反対である。敬老パスは、心や身体の健康に大変プラスになっている。配布を楽しみに待っている。
	敬老パスがいただける日を楽しみにしている。なくなると出かける人が居なくなったり、病院通いも交通費にひびく。自分も交通費が月に1万円以上かかるためとりやめた。
	なくなるとデパート買物もいけなくなる。年金でせめてもの交通無料が助かる。
	有効に使っている。巡回バスとともに高齢者にとっては日常生活に必需である。現行制度以下に切り下げないようお願いしたい。
	交付年齢や負担金の引上げは絶対に反対。
	お年寄りの足を奪わないでほしい。気軽に外出でき、買物等にも利用されている方も多いと聞く。経済的効果も大きいと思う。
	ボランティアに知人・友人との交流に交通費の心配をすることなく元気に生活できている。健康だけが唯一の財産なので、敬老パスの事業仕分けは大変困る。
	現在使用して非常に助かっている。交付されないと外出もままならなくなり、困る。ぜひ交付を続けてほしい。
	絶対なくさないでほしい。
年金額が少ないので敬老パスがなくなると困る。	
敬老パスを楽しみにしている。年をとっても元気に外に出るのに有効なので、是非続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	意味のある使い方ができればよいと思う。
	年金生活で、大変助かっているので続けてほしい。
	高齢者が自分で出かけるために必要。以前は無料だったのだから値上げする必要はない。
	厳しい財源とは存じているが、敬老パスは家族が大変重宝させてもらっている。流れで決めるのは納得がいかない。存続を断固訴える。
	私用だけでなく、ボランティア等、それぞれの体力に応じて自主的に社会還元しているので、継続してほしい。
	とても楽しみにしている。健康面にも良いと思う。お金はかかるかもしれないが、このくらいのことを名古屋市は率先してやってほしい。
	高齢者の楽しみ。元気で外に出ることにもつながる。奪わないでほしい。
	出かける楽しみがなくなるのでなくさないでほしい。パスがなくなれば街の活気がなくなる。
	交通費がかかれば外出も減り、経済の活性化にも影響する。将来の楽しみをなくさないでほしい。
	生きがいをもとめ社会参加に、また福祉の増進をもとめ、健康につながる敬老パスは必要。
	65歳になったらと楽しみにしている。絶対になくさないで。元の無料に戻してほしい。地域経済にプラスになり、健康づくりにプラスになる。
	実現してほしい。生活に大きな助けになる。
	今より切り下げることが反対。
	絶対続けてほしい。
	楽しみにしている敬老パスを続けてほしいと思う。
	高齢者が交通費を気にせずに出歩けることは本当に重要である。値上げ、廃止などとんでもない。
	絶対反対。高齢者を軽く見ている。
	現状のままでよい。
もうすぐ65歳でずっと待ってきた。この機におよんで廃止や年齢引き上げは許せない。夫は通院に敬老パスを使っている。車に乗らないことは環境にもよい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	この制度は市民税を無駄に使う制度ではない。敬老し、高齢者が市内を往来し、目的をもった動きをすることを助長し、年寄りの生きがいと健康維持に役立っている。医療費の負担を減らす唯一の制度であり、廃止はならない。
	市内ですっと働いてきた。もうすぐ年金生活だが、年金もどんどん削られていく中で、敬老パスまで仕分けされてはたまらない。
	外出の手段として、お年寄りにかかせないものである。
	自動車に乗れない。敬老パスで出かける楽しみができた。1区間の利用が主だが、なくなるとは困る。
	敬老パスを使っている人達が、生活が広がって活気が出たと聞いている。ぜひ敬老パスを続けてほしい。
	病院通いに欠かせない。なくなると生活に負担が大きい。
	減税よりも敬老パス交付のほうがより市民サービスになる。市バスは全市民に無料で利用させるぐらいの姿勢を望む。
	週3回麻雀クラブに行っている。惚け防止、健康でいるためである。パスがなかったら出かけなくなり、家にひきこもり、病気になり、医者にかかってしまう。
	パスを使い市内観光するのが、ささやかな楽しみだったのに取り上げるとんでもない。
	交付を受けたばかり。絶対に高齢者にとって必要。公共機関の利用を促進する上でも敬老パスはその足がかりになる。
	低所得の生活の中で出かけることを控えてしまう。家に閉じ込められる気分になりそう。
	出かける楽しみを失う。生活にひびく。
	廃止に反対。高齢者を家に閉じ込めるようなことのないようお願いしたい。
	高齢者が気軽に外出し、健康を保つための大きな要因である。医療費の削減に結びついていることは明らか。ぜひ継続しなければならない。
高齢者の社会参加。外出することによる健康づくり、医療費削減。高齢者を敬う社会風土づくり。公共交通機関の活性化。市交通局への財政支出による市営交通の経営向上。大変大きな意味がある。見直し、廃止にはならないように。	
外に出てさまざまな人達と触れることによって、年輩者が若さを保てるし、健康を守ることができる。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	街へ出て、買物する、お茶をする、映画を見ることで若返ることによって、街に活気がおこり、経済効果がでることはとてもいいことだと思う。交通局にもいい結果がでると思う。できれば無料に戻したらとも思う。
	敬老パスを利用できるようになり、名古屋の街を知りたいと思い、現在は史跡めぐりを始めた。少しでも脳を身体を若々しく生きたい為である。有料で構わないので、現状をぜひ続けていただきたい。
	病気を治療している身であり、敬老パスは必要。病院へ薬局へとパスはなくてはならない。
	安い年金では外出することもできなかったが、敬老パスさえ持っていれば百万力。たとえ今の負担金の2倍になってもどうか継続してほしい。
	出かけられなくなるので、継続してほしい。
	病院通院のために敬老パスが必要である。
	バスが必要であるから続けてほしい。
	病院にも行けなくなる。年金生活でバス代もない。
	年金生活をしている者にとって、とてもありがたいもの。ぜひ続けてほしい。
	続けてほしい。少しの金額でも毎日続けたら大変。生活に響く。
	必要。生活が苦しいから、バスはなくさないでほしい。
	続けるべきである。名古屋の市営交通費は他県と較べて高いと評判である。見直すところはもっと他にある。
	なくなると困る。
	お年寄りを大切にすべき。敬老パスは続けるべき。
	敬老パスが無くなるとお年寄りが困る。
	もしパスがなくなったら今の生活がどうなっていくか不安。なくすることだけはしないでほしい。
	残り少なくなった人生を少しでも元気が残っている間に、ささやかな楽しみを味わうために、外出するにも病院に行くにも交通機関を必要とする。パス券を廃止されたら、どこへも行けなくなる。廃止は絶対反対。
なくなると絶対困る。	
これからも続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	今のまま継続してほしい。65歳以上の方が外出することで経済効果は大きいと思う。外出も増え、元気のもととなり、医療費も減ると思う。外出する楽しみを奪わないでほしい。
	制度の検討に賛成する。全体に5,000円、3,000円、1,000円の金額は先のことを思うと無理のように思う。高額所得の人には無料パスは必要ないと思う。
	廃止されると本当に困る。パスによって外出するので寝たきりやうつも防げると思う。
	高齢者を「引きこもり」から開放し、気軽に外出ができ、文化、スポーツ、ボランティア、ショッピング、会食など「社会参加」を促進し、家庭円満、健康増進、医療費削減等々に大貢献している。主婦の場合60歳から交付すべき。
	なくなることは高齢者の夢を奪うことである。無駄な経費、大型開発の見直し等と同時進行するならば賛成する。
	敬老パスの交付やめては困る。廃止反対。
	なくさないように。年金生活をしているので。
	これから高齢が増えるためなくさないでほしい。
	続けてほしい。なくなったらどこにも出かけることができなくなってしまう。
	マニフェストに「敬老パスは守る」と書いてあったのだから守ってほしい。敬老パスはなくさないでほしい。
	敬老パスがなくなるとバス代がかかる。バス代を少々値上げしたらいかがか。年金生活ではタクシーに乗れない。
	存続してほしい。公約を守ってほしい。
	マニフェストを守ってほしい。廃止反対。
	もしパスがなくなったら外にはどこへも行かれない。ぜひ続けてほしい。
	敬老パスのおかげで毎日出かけている。今の制度を守ってほしい。できたら無料にしていただけるともっとたくさんの年寄りが喜ぶと思う。
	今まで大変に助かっているが、これからますます年とともに苦しくなり年金も下がり大変である。
バス代に困るので続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	生活が苦しい。車はあるが、いつも電車、自転車で仕事にしている。バスを続けてほしい。
	生活が苦しい。車はあるが、いつも電車、自転車で仕事にしている。バスを続けてほしい。
	病院通いの生活であり、バスが必要。
	年若い者が外に出る大切な役割を果たすためのものである。道場に毎週4日通っているが、廃止になれば、15,000円交通費がかかる。
	高齢の通院には交通費はありがたい。
	長い間ボランティア活動をしている。駆けつけて励ましあうことができるのは敬老パスがあればこそである。
	生活のためにバスが必要。
	バスがなくては困る。
	病院通いである。バス代ないから続けてほしい。
	名前だけで上記の意見はわからない。
	収入も少なく病院通いに使っているため。
	廃止反対。私たちにとって大変に役立つ事業だと思う。病院に通うのも遠い方は通院費が重荷で控えなければならないし、外出もへり、買物もできなくなる。
	生活費の中に入っている敬老パスを廃止するのは生活を維持していけなくなる可能性もあると思う。廃止することはやめてほしい。
	趣味や健康のために出かけることを楽しみにしていたが、廃止になれば年金生活では家に閉じこもってしまうかもしれない。廃止をやめてほしい。
	廃止とか縮減に反対。高齢者の行動力を生み、健康増進、医療費の節約にもなってきた。敬老パスは敬老であり、廃止は敬老をやめることを意味する。
	敬老パスをなくすことは、高齢者の社会参加をなくすことで賛成できない。
	独居老人のため。
	私を含め、多くの市民が移動時に使用し、公益性が高い。また環境面でも、マイカーより市バス等の利用を促進する意味で公費負担で敬老パスを継続すべきと思う。
毎日市立医療センターへ通院している。敬老パスだから安心しているが、少ない年金であり、交付を続けてほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	今までどおり存続し、健康で元気な高齢者でも経済的に余裕の有る人はバスの料金を払ってほしい。
	マニフェストで守るとあるので守ってほしい。
	病院にも行くのに困るから。
	出歩くのに良く使っている。なくなると困る。
	交通費が高いから外出できなくなる。そうなる寝込んでしまいそうだ。
	通院してるので困る。
	腰が悪いので、毎日の買物でもパスが必要である。なくなったら困る。
	パスがないと通院するのに困る。
	出歩くときに困る。
	パスがないと交通費が要るのであんまり外出できない。
	自分のように車のない者にとってパス券は非常に助かっている。現状のまま継続を願っている。
	廃止に反対。
	家族の通院に自分もついていく。敬老パス廃止は困る。
	もうすぐ敬老パスが取得できるのを楽しみにしているので、なくさないでほしい。高齢者が引きこもりがちになり、家庭内の問題や健康にも悪い影響を与える。
	なくなると高齢者の外出はとたんに落ちてしまう。その結果日々の運動量も落ち、健康維持も困難になることは明らか。経費節減をねらっているとと思うが、むしろ医療費は増えていくことは間違いない。交通局財政を潤わしている。よって事業は継続すべき。
	無料支給から有料へと変化があったが、高齢者が外出し易い状況を止めないでほしい。
	高齢者が他外出に楽しみに利用している敬老パスを見直すことには反対。
日々利用させてもらって大変助かっている。	
バスに乗り出掛けることは健康の増進に役立ち、買物や映画、音楽会、観劇などの楽しみに積極的にに行ける等とても大切なものである。高齢者を家に閉じ込めないでほしい。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	日々使用している。なくなるとかお金が上がることには賛成できない。
	廃止を含む見直しから除外してほしい。制度ができたのは30余年前と記憶しているが、私が対象年齢になったときは有料である。今回は廃止を含む見直しとは言語道断。
	敬老パスを頂いている。今後も継続すれば、お年寄りの方も出かける機会が自然と多くなり、それが需要と供給につながり、経済状況の上昇にもなっていくと思う。
	年を取ると病院や買物に出るときもお金がかかるのに、敬老パスがなくなれば生活ができなくなる。
	75歳でも仕事をしている。敬老パスなくては困る。
	ほとんど毎日使うのでぜひ見直しはやめていただきたい。
	敬老パスは安くいける。
	廃止反対。
	絶対なくさないでほしい。パスがあるから高齢者が外に出て元気で明るく生きていられる。廃止したりしたら、引きこもり高齢者が増え、認知症や寝たきりが増え、医療費が増えると思う。
	敬老パスがもらえるのを楽しみにしている。とにかく今のままにしてほしい。
	高齢者の外出や社会参加が減り足腰も弱くなり、経済も活性化しないので廃止してほしくない。
	パスを利用して遠方まで行けるため、健康に大いに役立っている。ぜひともなくさないでほしい。
	実質月1回程度しか利用しないが、パスがあるから、月1回でも利用する。行政の補助により、交通局の赤字補填に寄与していると思う。
	子ども及び孫に会いに行く等に使用している。なくなると家にいることが多くなり、医療費等多くなり、負担増につながるのでは。
	年金だけではやっていけないので、なくさないでほしい。
	病院通いや、唯一の趣味の外出にも、敬老パスがあればこそ気安く出かけられる。交付はなくさないようお願いしたい。
現在5,000円おさめて乗っている。この便利さは5,000円では買えない、ぜひ継続してほしい。	
なくなるのは同意することはできない。年金暮らしは苦しいから。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	高齢者にとって必要なものである。廃止することになれば健康保険に負担が増大することになるので、敬老パスの廃止は絶対に反対である。
	パス券がないと足が悪いので大変困る。
	高齢者は困るので利用できるようにしてほしい。
	毎日の生活は節約して生きているが、健康だけはと思い、体操に通っている。行くだけでも交通機関に頼らずにはできない。他にも街にでかけられるのは敬老パスがあればこそ。
	敬老パスをもらって生活の広がりを期待している。ぜひ存続してほしい。
	もしなくなることがあれば、年金生活者にとっては大変なことである。なくさないでほしい。
	敬老パスのおかげでこの数年生活が明るくなった。病院もおっくうにならず行くことが出来、友達とグランドゴルフにも出かけることが出来たり、体操に行ったり、敬老パスなしでは考えられない。
	身体は非常に悪いので医者通いをしながら、体操もつらくても頑張っているが、それも敬老パスで行くことができるからである。
	廃止になると医者に行くのに困る。継続が困難であれば交付年齢を引き上げでも良いのではと思う。
	健康体操等バスに乗っていくが、身体は衰えるばかりである。敬老パスがあればこそ。どうかなくさないでほしい。
	老後の健康のため体操教室などに通い、何とか過ごしている。そこに通うためには交通費がかかるようになれば、家に居ることになり、死ぬのを待つばかりの気分になる。敬老パスがあればこそ社会参加も出来る。
	敬老パスは絶対必要。年寄りの楽しみ。
	高齢者にとっては元気に毎日を送るための大切なものである。大勢の高齢者たちを不安にさせないでほしい。
	敬老パスに感謝している。存続してほしい。
	母は無料パスがあるので、交通費を気にせず稽古に出かけることができる。継続していただきたい。
敬老パスのおかげで大変助かっている。	
なくなると困る。高齢になると移動手段は公共交通機関に頼らざるを得ない。外出を控えることにつながり、引きこもり 認知症 医療費増大となり、決して良い方向へは進まないと思う。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	パスを廃止にしてどんな利が得られるのだろうか。廃止になるのであれば、それに代わる高齢者への援助を考えるべき。他に節約するところがあるはず。今の日本があるのは高齢者の頑張りがあったことを忘れてはならない。
	気軽に外出することができる。元気に生きがいを感じながら毎日を過ごせることにつながっている。続けていただきたい。
	毎日気楽に外出を楽しんでいる。なくなれば外出はしなくなると思う。そうすれば医療費がかさむと思う。高齢者が増え、市の財政負担がかさむことはわかるが、ぜひこのまま続けてほしい。
	なくなると家にひきこもると思う。どうかなくさないでほしい。
	定期券のように毎日使っている。廃止されればボランティアにも行けなくなる。さすれば、家にひきこもり、ごく自然にうつ病になり、元気に颯爽と過ごしたいと願っていた未来は灰色である。
	高齢者の自由度を高めるためのパス。いつまでも残さなくてはならない事業と思う。
	事業の末永い継続を望む。
	高齢者がいつまでも自由に外出できるように、残しておくべき事業であると思う。
	廃止又は値上げを実行すると、高齢者は益々外出しなくなり、市バスの運営は赤字が増加するばかりだと思う。
	敬老パスをいただき感謝している。とりあげられたら不安。交通局のおかげで、外出によって、経済的はもとより、健康で、からだに不可欠。
	ボランティア活動者に敬老パスはよく利用されていて、ありがたいという声を聞く。高齢者が身体を動かすことは健康面で大切。自分も、敬老パスで活動する日を楽しみにしている。残してほしい。
	70歳以上、要保護者、身障者に無料で発行する。あるいは、70歳から77歳まで7千円又は1万円、78歳から88歳は5千円又は8千円、89歳以上は無料又は5千円とする。所得の区別ではなく、年齢別にすると、調査に手間がかからない。高年齢者は、パスを申し込まないはず。
	有難く使っている。市の財政を考えると、今一度見直してもよいと思う。金額を少しあげるのも仕方ないと思う。
	敬老パスは絶対続けてほしい。
	今までどおり継続してほしい。
敬老パスがなくなれば、外に出ていく高齢者を減らすことになる。高齢者は自動車や自転車に乗らないようにしている方も多い。	

事業名	意見要旨
敬老パスの交付	敬老パスを使ってデパートに行ったり、おまいりに行っている。健康増進にもなっている。このまま続けてほしい。
	減税財源こそ敬老パスの充実にまわすべきである。
	続けてほしい。たいへん助かっている。気楽に外出できる。
	敬老パスがあるので気軽に出かけられる。楽しく老後を過ごし、足腰を強くすれば病気の予防にもなり、買物などすれば経済もまわる。プールも安く、利用できる。ぜひ続けてほしい。
	敬老パスが廃止になるのでは。病気になって医者にかからないように、歩いている。敬老パスは必要。減税や無駄な開発をやめ、私たち弱者の生活をもっと考えてほしい。
福祉会館	福祉会館、シルバー人材センター、高年大学鯉城学園、老人クラブが別々にやっているので費用がかかっているのではないかと。一つの施設で実施したほうが高齢者にとって便利だし、費用も安くなるのではないかと。
	都福祉会館は早急に建て替えるべき。高齢者が利用する施設で、2階にありながらエレベーターもなく、トイレも男女共用という時代遅れの施設は他にないのではないかと。
シルバー人材センター事業への補助	福祉会館、シルバー人材センター、高年大学鯉城学園、老人クラブが別々にやっているので費用がかかっているのではないかと。一つの施設で実施したほうが高齢者にとって便利だし、費用も安くなるのではないかと。
休養温泉ホーム松ヶ島	役所が温泉で宿泊施設を運営する理由はないと思う。人気があるというならば民間でやったほうがよく、人気が無ければやめるべきだと思う。
	廃止すべき。
	公立の温泉は値打ちなので、ぜひ残してほしい。年をとった者の楽しみをなくさないでほしい。
	使いやすく安価である。公的に持っていることの意味は大きいと思う。民間にもあるかとは思いますが、民間にあるということは見直しの理由になるのか。市民の憩いの場は市が責任をもってやってほしい。財源不足というが、とるべきところからまだとっていないのではと思う。
	類似の施設があっても、民間とは目的が違う。民間は営利第一主義でやっているものであり、市民・高齢者の福祉、健康のため設立運営されている。
見直しに反対。近隣で廉価に利用できる温泉は楽しみである。仕事を削って減税すること自体が、地方自治の本旨、憲法に反する。	

事業名	意見要旨
休養温泉ホーム松ケ島	75歳以上の1,000円割引も愛知県後期高齢者医療広域連合に要請して実現してもらったのにどういふことが。見直しは絶対反対。
	廃止しても仕方がない。
	低廉で気軽に利用できる松ケ島を廃止するなどもってのほか。
	低価格で宿泊できる松ケ島のようなところは民間には存在しない。高齢者や低所得者の憩いの場で、老朽化を理由とした廃止は認められない。
高年大学鯉城学園	福祉会館、シルバー人材センター、高年大学鯉城学園、老人クラブが別々にやっているのでは費用がかかっているのではないか。一つの施設で実施したほうが高齢者にとって便利だし、費用も安くなるのではないか。高年大学鯉城学園は利用者が少ないのに1億円以上かかっているのはなぜか。
	地域に貢献する人材育成に役立っているとは思えない。役所の事業でやる意義はあまりないと思われる。民間に委託して、参加者から応分の費用を徴収すればよい。
	学習の場を、高齢者のみに限定して用意する理由はないと思う。若い人や、働いている社会人と一緒に建物で学習することに問題があるとは思えない。講座の内容は大学で行っているものと違いはなく、市が行う必要はないと思う。どうしても市が行うならば、市立大学でやるべきだと思う。園芸などは大学で行っていないが、個人の趣味や同好会でやることだと思うので、講座としてはやる必要がないと思う。
	必要。NGOやNPO団体を支えるためにもあるべきではないか。名古屋市は人口に比してホールが少ないと思う。
	廃止すべし。
	仕事をリタイヤし、まだ学びたい、人と会い、一緒に語りたいたいという気持ちのある人は多い。明るい高齢者の生活の充実のため、今までやれていた形で存続させてほしい。
	高年大学鯉城学園で学んでいる。なくさないでほしい。
	高年大学の卒業生。卒業生は趣旨にのっとり、地域社会のボランティアとして活躍している。収入に制約のある高齢者への安易な負担増は認められず、徹底した経費削減が必要。たとえば、高年大学の受講生の中にも講師の候補はたくさんいる。クラブ活動も参加状況をみてスクラップ・アンド・ビルドすることもある。全国の同様の大学の費用を比較検討すべき。
	見直しに反対。高齢者の勉強や人材育成の場所となっており、利用者負担や事業内容の見直しにも反対。仕事を削って減税すること自体が、地方自治の本旨、憲法に反する。

事業名	意見要旨
高年大学鯉城学園	生涯学習センターのほうが大事なので、統合したほうがよい。
福祉給付金支給	すでにこれまで所得制限など支給対象者を縮めてきた経過もあり、これ以上対象者を少なくすることには反対である。
	生活のセーフティネットが崩れてしまうと安心して住むことはできない。制度の持続可能性ではなく、市民ひとりひとりの生活に目を向け、維持・向上させるべき。
	高齢者の医療費は65歳以上の方すべてが窓口負担無料となるように福祉給付金の対象を拡大してほしい。また、所得制限をなくしてほしい。すべての高齢者がお金の心配をすることなく安心して受診できる制度こそ求められている。
	持続可能性が強調されているが、いまでも高齢者の生活はさまざまな負担増で厳しくなっている。一定レベルの負担軽減はなくてはならない。見直しに反対。
	年金生活者の収入が減少しているなかで、医療費の負担は増加するばかり。費用負担を心配して受診が遅れ、症状が悪化することも少なくない。福祉給付金のおかげで早期受診でき、健康保持・増進に役立っていると思う。廃止・縮小ではなく、拡大すべきと考える。
	所得制限を強化することは許されない。この制度を行政評価の対象とすること自体に反対。
	対象をこれ以上削減しないでほしい。県内の他の自治体では名古屋市以上に広く補助をしているところがある。
	政府の調査資料によれば、所得が低いほど治療を控えたことがあるという回答が多いことが指摘されている。所得制限の見直しなどの制度の縮小はすべきではなく、継続・拡充が必要。県内市町村の8割以上がひとり暮らしの非課税高齢者も対象にしている現状で、名古屋市が対象外としていることを、対象に加えるなど改善を図ることこそ必要と考える。
	高齢者医療の有料化のなかで高齢者の医療費を助成するために設けられた制度であり、障害者や高齢者が安心して医療を受けられる制度は絶対見直さないでほしい。
	現役時代に社会と雇用先に貢献したにもかかわらず、国民健康保険に入れられる。後期高齢者医療制度は存続している。国が国庫負担を減らしている現状では、名古屋市が防波堤となって守るべきである。
この制度のおかげで入院治療ができた人がいる。お金の心配なく医療を受けることができる権利を守ってほしい。国にも高齢者にやさしい医療制度をつくるよう働きかけてほしい。	
寝たきりで認知症の母にとって、まさに命綱。制度の拡大こそ必要であり、縮小することがあってはならない。	
セーフティネットを整備することは、行政・自治体に本来求められる役割である。したがって、決して後退させないでほしい。	

事業名	意見要旨
福祉給付金支給	現行制度の見直しに反対。
	高齢者は若年層に比較して医療にかかる回数も増え、その負担も大きくなる。可能な限り（できれば無料）負担を軽減するのが自治体のなすべきこと。高齢者が増えれば、医療費の増大は当然。削減、縮小はすべきでない。
	所得制限の引き上げなどは絶対に行わないでください。
	福祉給付金制度や障害者医療費助成制度が厳しくなれば、治療を受けられない人が確実に増える。税金は社会的弱者のために使って欲しい。
	見直ししないでほしい。
障害者医療費助成	制度の持続可能性ではなく、市民ひとりひとりの生活に目を向け、生活の質を守るために努力してほしい。障がいがあることで医療費がかかることは当然。より助成が拡大されることが本来の趣旨に沿う。
	障害者にとってかけがえのない制度。継続・拡充してほしい。
	元は所得制限はなかった。もとに戻すべきと考えているのに、所得制限を強化することは許されない。この制度を行政評価の対象とすること自体に反対。
	この制度によって必要な医療が受けられる。制度が持続可能になっても、対象から除外になった人は、医療が受けられなくなってしまう。障害があるために、働く場所・条件も十分保障されない社会の中で、現行制度を見直しすることに反対である。
	憲法は、文化的な生活を国が保障する義務を定めている。地方自治体は住民の福祉・健康に責任を負っている。以上より、市の予算は、第一義的に障害者医療にまわすべきである。
障害のある方は、多くの場合、仕事をするにもハンディがある。障害は、治癒が困難か、治癒までに時間がかかることがある。安心して医療が受けられるよう、制度を維持してほしい。	

事業名	意見要旨
障害者医療費助成	障害者医療費助成を自身で受けているが所得制限があるのは愛知県内で名古屋市だけと聞いている。廃止・所得制限の強化で見直しをするのではなく、所得制限をなくして継続の方向でお願いしたい。
	障害者の制度に所得制限を設けるといことは、社会参加の妨げになるので反対。制限のボーダーにある人は、医療費負担をすることで実質所得が下がり、より医療費がかかるという悪循環をもたらす。助成を受けている人以下の実質所得になるという不公平をもたらす。
	障がいをもっている人は、健康面だけでなく社会的にも様々な困難を抱えている。医療の負担を心配しないで必要な医療を受けられるこの制度は大変有効である。
	家族が対象となっていて、助かっている。家計的にも医療費の負担が増えると大変なので現行の維持を希望する。
	見直しは中止してほしい。
	現在よりよくしてほしい。
	所得制限の引き上げは絶対行わないでほしい。障害を持つ人が医療機関で受診する上で非常に大事な制度。障害を持つ人は普段の生活でも経済的に大きな負担がある。そこへ助成をすることは自治体の重要な役割。
	所得制限をさらに強化することは経済的負担の荷重を増すものであり、必要な医療を適時的確に受けなくさせ、結果として障害の重度化を招き、就労、生活を奪う。障害者の日常生活を支える不可欠の制度として一層の拡充が求められる。
	福祉給付金制度や障害者医療費助成制度が厳しくなれば、治療を受けられない人が確実に増える。税金は社会的弱者のために使ってほしい。
	見直さないで拡充してほしい。
	現在通院している。見直さないで拡充してほしい。
	現在通院している。見直さないで拡充してほしい。
	見直さないで拡充してほしい。
	今までどおり続けてほしい。
	見直さないで拡充してほしい。
障害者が生活するのに必要な制度。見直さないで拡充してほしい。	
減税の犠牲者が社会的弱者となることは絶対に容認できない。	

事業名	意見要旨
障害者医療費助成	<p>医療費増大が想定されるという論調で書かれているが、医療費全体の増大と障害者医療費の推移との相関関係は示されていない。これを読んだ市民は「ではこの制度に厳しい所得制限を設ければ問題が解決する」と受け止めてしまうかも知れない。いたずらに市民を不安にさせるような表現は慎むべき。障害者になると医療とつき合わざるを得ない。仮に医療費助成制度がなくなるとすると、生活や健康を脅かされるという危機感を感じる。個人の医療抑制が起こると、合併症が重度化する。障害者のうち国保加入者は多く、名古屋市の窓口負担が減ったとしても、国保に対する名古屋市の負担は増大する可能性が高い。社会制度は実験できないし、してはならないものだから、立証などしなくても、行政として今の水準を維持、拡充すべきと考える。主障害でなくても医療費助成が必要であるケースもある。全盲の視覚障害者が特発性難聴になった場合、白杖をついて医療機関に行くことはできない。全盲の視覚障害者は、車の音や人の足音、音響信号機の音などを頼りに歩いているが、それがよく聞こえなくなり、さらに、どちらの方向から聞こえるのか全く分からなくなる。病態によっては、耳鳴りがひどく、集中して音を聞き続けることはできない。タクシーで往復しながら週に何回もステロイド投与をしたが、障害者ゆえに治したかったし、その負担は非常に大きいものだった。医療費助成制度は絶対に後退させてはならない。医療費助成制度の費用が一気に増えた最大の理由は、国が健康保険自己負担を2割から3割に引き上げたからである。国に対して、健康保険自己負担を1割、2割にもどすよう、名古屋市として要求すべきと考える。障害者医療費助成制度は、拡充こそあれ、削減はあり得ない。</p>
総合リハビリテーションセンター	<p>自分が利用した際、看護師やリハビリスタッフが患者に対して暖かく対応してくれた。障害者支援施設入所でも、社会復帰のための様々なプログラムと専任講師や支援員のおかげで社会復帰ができた。指定管理者や民営化とせず、逆に他の政令指定都市を見習い、市のリードでさらに充実した総合リハビリテーションセンターを目指すべき。ハード面も老朽化しており、建て替えも必要と思う。また、脳梗塞患者も多いので、「泌尿器科」の増科も検討して欲しい。</p> <p>補足 総合リハビリテーションセンターは指定管理者により運営しています。</p> <p>障害者や家族にとって心のよりどころである。自治体が果たすべき根本的な事業である。指定管理者ではなく、現在の名古屋市直営で運営してほしい。</p> <p>補足 総合リハビリテーションセンターは指定管理者により運営しています。</p> <p>指定管理者へ移行して入院患者数が増加するというデータはない。現行のままでもっと入所しやすいシステムになるよう努力すべき。</p> <p>補足 総合リハビリテーションセンターは指定管理者により運営しています。</p>

事業名	意見要旨
総合リハビリテーションセンター	名古屋市として高い評価をしている。縮小はあり得ないと考える。生活訓練（定員11人）という枠組みで足りているのかがむしろ心配。就労移行支援の追支援など、積極的に拡充すべきと考える。入院患者数の減少等を問題視しているが、施策への貢献が大きい事業の課題を指定管理者に丸投げして名古屋市が何もしないのはおかしい。行政として成果が上げられるような仕組づくりを進めるべきと考える。
福祉特別乗車券の交付	視覚障害を分かりやすく説明するならば、移動障害、情報障害である。このことから二重、三重に困難が深まっていくのである。自転車も自動車も運転できず、気楽に歩くことも難しい。バスや地下鉄に安心して乗れることは私たちの移動障害を軽減するものであり、欠かすことのできない制度である。ぜひ維持してほしいと考える。
特別障害者手当等の給付	障害当事者、家族共に、経済的にも身体的にも精神的にも大きな負担、不安を感じながら生活している。もっと支援してほしい。
障害者福祉施設運営費補助金	地域生活推進事業は障害者が身近に相談できる大切な事業であり、今後、相談件数は増えていくので、カットしないでほしい。管理改善費、整備償還補助も施設運営にはなくてはならないので、カットしないでほしい。
	市の地域生活支援事業は、利用者・事業所の必要な要望を満たしている、大切な制度であり、削減や廃止などすることなく、存続させてほしい。

事業名	意見要旨
障害者福祉施設運営費補助金	福祉は経済状況によって質が左右されるものではない。実践の質を向上させるために必要な補給金を削減すべきではない。特に障害分野では質の高い人員を確保することが難しくなっている。経済効果とは違う視点での評価基準を設定すべき。
	地域生活推進事業費は施設運営上も非常に大きな比重を占めている。縮小、削減するのではなく、維持・拡充をはかり、今後の地域生活の相談機能をより一層役割を果たしていけるよう発展させてほしい。
	事業所が一定期間の事業存続を果たし、相談やサポートを実施するためには、現行制度の存続は欠かせない。事業の廃止はやめてほしい。
	障がいのある方の生活を支えるために必要。引き続き継続していただくよう要望する。
	地域生活推進事業はとても重要なので、引き続き継続するよう要望する。
	地域生活推進事業はとても重要なので、引き続き継続するようお願いしたい。
	地域生活推進員をしている、地域の方の支援や、入所希望者、退所者への支援が多い。ぜひ継続をお願いしたい。
	地域生活推進事業は、障がいのある方にとって欠かすことのできないものだと思う。拡充していただきたい。
	地域生活推進員は継続してほしい。
	自立支援法になり利用しづらく、利用料も高くなった。家族が施設でお世話になっていて大変助かっている。施設の負担は職員離れにもつながり、利用する私たちも困る。増額を望む。
	削減・廃止に反対。補助金がなくなるのは、民間保育所が公立と同じ質の保育を保障するのが厳しいなら、質を落としてもしかたないと言っているのと同じだと思う。
	現行の状況では厳しいものがある。
	施設利用者の相談が、高齢化に伴い、医療への連携が必要になり、看護としても支援ニーズが高まっている。地域の障害者も、健康に伴う相談ニーズは潜在的に求められる状況にある。相談支援専門員として看護師を配置してはどうか。

事業名	意見要旨
重度障害者タクシー料金の助成	視覚障害を分かりやすく説明するならば、移動障害、情報障害である。このことから二重、三重に困難が深まっていくのである。自転車も自動車も運転できず、気楽に歩くことも難しい。本制度をぜひ維持してほしい。本制度については、維持だけでなく、1枚当たりの金額を上げ、また枚数を増やすなどの拡充を図ってほしい。
障害者スポーツセンター	視覚障害者は自宅近くのスポーツ施設を気軽に利用することができない。こうした現状のなか、障害者スポーツセンターの存在意義は非常に大きい。「スポーツ基本法」が制定されたが、障害者がスポーツする権利を守り高める観点から、障害者スポーツセンターの機能をさらに拡充してほしい。市内にある一般のスポーツ施設に対する助言等も、積極的に実施してほしい。
障害者（児）ホームヘルパー現任研修	ホームヘルパー制度は視覚障害者にとって、なくてはならない制度である。この現任研修をもっともっと意義深いものにし、また全てのヘルパーに受講してほしいと考える。「障害について当事者とともに学ぶ」という辺りをぜひ充実させてほしい。以前、名古屋市社会福祉協議会と懇談したおり、社協だけで登録ヘルパーは2千人いると聞いた。年間200人と枠を小さくせず、もっと拡充してほしい。少なくとも、5日間は必要だと思う。もっと受講しやすくするために、自己負担をなくしてほしい。定員をいっぱいにする努力は、名古屋市の側で実施してほしい。
生活衛生センター	廃止すべし。
	名古屋市で感染症が発生した場合、早急に対処できるための準備は必要だと思われる。不要な事業は見直すべき。ただ、自然に関係することへの投資は続けていくべきと思う。
	見直しに反対。防疫業務や害虫への正しい認識普及など評価できる。仕事を削って減税すること自体が、地方自治の本旨、憲法に反する。
	住民の生活のためにも大切な役割をはたしている。きちんと行政で責任を持ってほしい。
中央看護専門学校	市立大学にも看護学部があるので、別に市が専門学校を持つ必要はないと思う。看護学校は、専門学校よりも、大学の看護学部が増えてきていると思う。私立の看護学校はたくさんあるが、市がやっつけてしまっているから、私立が拡大できないのではないかと。研修は必要かもしれないが、そのために市が専門学校をもたなくても、市立大学が私立の看護学校を利用すればよいと思う。
	「主な論点」のとおり (民間養成施設の増加や名古屋医療圏の看護職員不足率の改善を助案し、官民の役割分担など今後のあり方を検討)

事業名	意見要旨
中央看護専門学校	<p>看護の現場においては常に人員不足。今は医療の知識はあっても技術を身につける実習時間が短くなっており、職場に配属されると「技術がない」「ストレス」「退職」というケースもある。民間の養成施設で学生の実習現場を確保し、身になるものを提供し、育成することができるのか。コミュニケーションをとることが苦手な現代の若者を育成するには専門性を持った学校が必要。</p>
	<p>民間の養成施設は増加しているが、国公立は民間よりも教育内容においてすぐれたものがあり、範となるべき。看護職員の不足は解消に向かいつつあるとされているが、看護師不足はなお深刻。市として看護職員充足の責任を果たす上でも、維持・充実・増加すべき。</p>
	<p>看護師を育成する専門学校は増加している。しかし、教育費用の負担が重く、途中でやめる者も少なくない現実にも注目してほしい。低所得の家庭であっても熱意ある青年の希望を実現することは医療現場の安定のためにも必要。</p>
	<p>看護師不足を解消するため、看護学校の定員を増やし、より充実させてほしい。</p>
	<p>看護師不足は今後も継続していく。民間は授業料が高いところもあり、バイト等のため、余裕をもって学べない学生もいる。</p>
防災管理者等講習	<p>「主な論点」のとおり (受講料の見直しとさらなる経費削減を検討)</p>
ヘリコプターの運航維持	<p>2機に増やしたときの理由と、その後の状況を確認して、判断すべき。名古屋市民は愛知県民でもあるのに、なぜ市が県に負担金を支払わなければならないのか。負担金を払っているなら、市は1機も持つ必要はなく、県がやるのが当然。 派遣した場合に派遣先から負担を求めるのは無理があるので、派遣協定を結んださいに毎年定額の負担をしていただくのがよい。</p>
	<p>常時必要な機材でないから、愛知県とも相談して効率的な運用を検討すべき。</p>
	<p>「主な論点」のとおり (2機保有の必要性及び県防災ヘリコプター運営協議会への負担のあり方等の検討)</p>
	<p>大地震や原発事故を心配しているときに、消防用ヘリコプター2機の見直し、他自治体に運行経費の負担を求めるとは、あまりにも浅ましい。定期検査で1機が100日ほどかかると聞いている。2機必要とした理由こそまずはっきりとさせるべき。</p>
<p>ヘリコプターは今までどおり2機保有して運行してほしい。家族が県内の山間地にいる。山間地の施設は、災害時には交通が分断され孤立の恐れがある。</p>	

事業名	意見要旨
ヘリコプターの運航維持	2機保有の現状維持を要望する。メンテナンス中に災害が発生することを想定すると、緊急出動ができない危険性がある。災害は広域で発生するものと考えるのが当然で、円滑な業務執行の妨げになる。派遣先自治体への運航経費の負担を求めることには賛成。
	地震等大きな災害が広域にあった時各地域で必要とするので、今のままではとても足りない。
民間木造住宅の耐震化支援	「主な論点」のとおり (耐震化率の大幅な改善が見られないことを鑑み、現行の事業費の中で部分改修の導入等の検討)
	無料で耐震を調べてもらったが、助成の少なさに自前で手を入れることになった。助成を受けやすくしてほしい。ぜひ予算をつけて安心して住める家を。
	耐震化が進んでいないのは、特に高齢者世帯には負担が大きい。一室耐震化など使い勝手のよい制度にすることで、耐震化率を高める。予算を拡充することを求める。
	民間木造住宅の耐震化支援を大幅に増やし、安心・安全を守るのは市の責任だ。
市営住宅	低賃金の市営住宅だから暮らしがぎりぎり成り立っている状況である。パート労働をしている小牧市内の会社までは公共交通機関もなく、車に頼るしかなく、駐車料金が2倍や1.5倍に上がるようなことがあったらとても暮らしていけない。
	駐車場料金が一気に倍以上に増えるのは如何かと思うが、一般的に考えても民間と比べて価格的には安いと思う。ただし、値上げするにしても住宅使用料のように年収をもとにしてはどうか。
	市営住宅ができて以来値上がりすることがなかったものが、無駄な公共事業のせいで値上がりするのはもってのほか。リストラされたばかりで今後の生活もままならない。家賃は減額されるが、駐車場料金が減額されないのは釈然としないと思っていた。
	市営住宅の駐車場の管理者である名古屋市は、解約があってもプレートを放置し、掃除等もまったく行わない。自治会が定期的に清掃しているが1円も出そうとしない。全く管理を放置して料金をとり、また、値上げするのは理解できないし容認できない。 自分の入居している市営住宅では高齢者ばかり入居させており、駐車場利用者はどんどん少なくなっている。入居者の若返りを図るべき。高齢者ばかりの住宅は防災上も大きな問題がある。
	駐車料金について値上げしないで欲しい。駐車場は住宅に住む全員で掃除して管理しているので、この料金は妥当だと思う。
	駐車場使用料の値上げを絶対反対。
	年金生活者。駐車場使用料の値上げは絶対に反対。

事業名	意見要旨
市営住宅	<p>駐車場使用料の値上げをしないで欲しい。絶対反対。値上げしないで欲しい。主人も私も年金生活者。</p>
	<p>民間より駐車場が狭い上に管理もしない。掃除もしない。値上げは絶対にしないで欲しい。</p>
	<p>安い家賃という優遇策があるわけだから、民間との格差是正は妥当と思われる。</p>
	<p>低所得者向けの市営住宅に駐車場は必要なのか。車を維持できる収入のある方は低所得者とはいえないと思う。特に、市の中心部や駅の近くにある市営住宅には駐車場は不要だと思う。付近のアパートやマンションに住んでいる方も、駐車場代などの維持費が高く、車を持っていない方が多いと思う。 低所得者が便利なところに住んで、それなりの所得がある方が地価が高くてそうしたところに住めないというのはおかしいので、市営住宅は地価の安いところに移転すべきだと思う。</p>
	<p>母子家庭で低所得で、子どもと親の面倒をみており、駐車場使用料値上げは困る。家庭の事情で余分に働けない。仕事をさがすのも大変。駐車場は民間よりも狭く管理もないし掃除もない。値上げには反対。</p>
	<p>「主な論点」のとおり (駐車場使用料の民間近傍駐車場との格差是正の検討)</p>
	<p>市営住宅の駐場所を2倍に値上げすることだが、自分が入居している市営住宅は低所得者や高齢者がほとんどであり、車を維持するのをやめろと言っているようなもの。2倍にすると近隣の駐車場の方が安くなると思う。空いている駐車場もあり、値上げするとますますガラガラになるのではないかと。障がい者であり、車は必需品で、生活費に負担はかけられないので、現状維持を希望する。</p>
	<p>収入が少なくていっぱいいっぱいなのに、駐車料金の値上げは2千円でも困る。駐禁でない道路に早いもの勝ちで駐車することになり、毎日困る。</p>
	<p>市営住宅の普通車は贅沢。駐車料金の値上げには賛成。</p>
	<p>市営住宅の駐車料金については、収入の減少、物価上昇・出費増の中でやりくりしている。値上げはやめてもらいたい。</p>
	<p>駐車場使用料値上げ絶対反対。</p>
	<p>駐車場は狭く、離れており、特に防犯面が悪く管理が行き届いていないため、使用料は値上げせず現状維持を望む。</p>
<p>退職後に仕事にも就けず、少しの年金で困窮している自分達にとって、市営住宅の駐車場使用料値上げは大変困る。入居者の実態や声を聞いて、値上げを行わないようにして欲しい。</p>	

事業名	意見要旨
市営住宅	<p>すごく困っていると区役所に相談に行っているのに、どうして市営住宅に入居させてくれないのか。</p>
	<p>駐車場のスペースが非常に狭く、車の出し入れが大変なので、値上げについては考慮して欲しい。</p>
	<p>青年の非正規労働者が増えており、負担できる家賃の住宅の供給が求められており、青年の自立のための市営住宅の増設を求める。名古屋のように自家用車が必須の地域では、駐車場代を含めて家賃と言える。</p>
	<p>駐車場の使用料の検討は、住宅代の値上げなども出ているうえでは、生活が大変なのに困る。介護、仕事のために使っている人もいる中、やめて欲しい。</p>
	<p>年とともに体が弱り、病院・買物に車は必需品。震災の影響で諸物価の値上げが目白押しといわれる時期に、駐車場料金もか。管理整備は使用者まかせ。値上げはしないで欲しい。</p>
	<p>年金収入のみ、通院、買物等に公共交通機関は市バスの本数が少なく不便な点も多く、どうしても車の利用が必要となる。震災以来、物価の高騰が激しい現在、駐車場料金の値上げは生活を脅かすので、行わないようお願いする。</p>
	<p>自分は市営住宅で暮らしており、低廉な家賃の住宅に感謝している。駐車場使用料の値上げは、甚だ疑問。住宅に困窮する低所得者の負担を増やすことがあって良いのか。見直ししないでいただきたい。</p>
	<p>現在、要介護の親と同居しており、介護のために車は必要。低所得者の自分達には、今の料金が精一杯である。家族の年金だけで暮らしている。こんな暮らしの人もおり、値上げに応えられる人と、そうでない人がいることをわかって欲しい。</p>
	<p>市営住宅は、民間のアパートより相当に家賃が安い上に、駐車場も安い。高収入の入居者には使用料を上げ、民間との格差是正の検討を望む。</p>
	<p>駐車場の使用料金があまりにも近隣駐車場との格差がありすぎる。一般駐車場並みの料金にすることにより、血税が多少なりとも減ると思う。われわれの血税を大切かつ有意義に使って欲しい。</p>
	<p>入居者は、低所得者が多いため、駐車場使用料の値上げは生活に困難をもたらす。値上げに反対。</p>
	<p>近隣の民間駐車場の月額利用料と同等の利用料を徴収することを要望する。</p>
	<p>民間駐車場の料金を参考にされると使用料の大幅な引き上げになる。市営住宅に入居しているのは「住宅に困窮する低所得者」なので、引き上げには反対。</p>
<p>今の現状で市営住宅の駐車場料金とは何事か。</p>	

事業名	意見要旨
市営住宅	1人1台車を保有する時代。子どもの養育費が今一番かかる時期で、収入も減っている時に家賃の値上げ、駐車場代の値上げをされたら生活していけなくなる。掃除も自分達でやっているし、スペースも狭いのではないか。
	低所得のために市営住宅に入居しているのに、民間にあわせて値上がりしてしまったら市営住宅の意味がない。車がないと不便な場所なのでどうしても車は必要であり、現状維持で願います。
	駐車場値上げは納得できない。市営の意味がない。駐車場の面積も狭く住民で掃除もしている。
	家賃、駐車場が値上がり、年々収入は減るのでとても困る。老後が心配。
	駐車場の値上げは困る。私は年金生活で隣の区に高齢の母がいるので車は手放せない。
	駐車場使用料に対する見直しは反対。高齢者、障がい者がいる世帯では車の必要性は高い。
	現在も不景気で少ない給料でやりくりをしている。会社まで通勤しなければならない。これ以上駐車場料金が上がれば、駐車場を返して、路上駐車しなければならない。
	生活が大変で駐車場の値上げは反対。
	年金生活で物価値上がりの中、駐車料金の値上げは反対。海外視察などは自費で行くべき。
	外出するのに助かっている。今のまま続けて欲しい。
	駐車場値上げ反対。
	駐車場値上げ反対。
	駐車場料金を上げないで欲しい。
	駐車場値上げ反対。
	生活が苦しく、値上げ反対。
	駐車場値上げ反対。
	駐車場を値上げしてもらっては困る。
今のままで。これ以上の値上げには絶対反対。	
他の駐車場との価格差をなくして欲しい。	
値上げは賛成。	

事業名	意見要旨
市営住宅	<p>駐車場値上げについて賛成。</p>
	<p>病気をして生活保護を受けているので今は車は持てないが、体が良くなったら車を持ちたいので、駐車場値上げは困る。</p>
	<p>市営住宅入居者の大半は高齢世帯、母子家庭等の低所得者。少ない生活費を削れと言うのか。予算の数字上は増収になると思うが、滞納等の問題が起こるだろう。まずは無駄な経費削減を強く望む。</p>
	<p>なぜこの時期にこの議論になるのか理解に苦しむ。他に見直すところがあるのではないかと。弱い者いじめは止めて欲しい。</p>
	<p>現在は高齢者といえども買い物等に自動車を使っている。年金暮らしの高齢者に対し値上げとは、弱い者いじめと思う。現在の料金は、一般住宅駐車料金並み。市営住宅の駐車場料金が上がれば、民間駐車場も上がるだろう。</p>
	<p>市営住宅に一家で暮らしている。子ども達は成人を迎えたが仕事もなく、親の元で、親の少ない年金で生活している。妻は足が不自由で、私の運転で病院に行ったり、車を利用している。どうやって生活していけばいいのか。</p>
	<p>住宅の敷地内に駐車することは、庭に車を置くことと一緒に。それでもずっと駐車場料金を払っている。それを値上げするなどとは暴利に過ぎない。年金だけの低所得で生活している我々のことをもっと考えて欲しい。</p>
	<p>駐車場料金の値上げしないで。幅が狭く、ドアが半開きの状態でしか利用できない。住民の平均年齢も60歳以上が多い。家賃が安いのに駐車料金が上がるのはおかしい。家賃の値上げにつながっていくのではないかと心配。</p>
	<p>値上げにより、路上駐車が増え、緊急車両の妨げ、車の隙間からの子どもの飛び出し事故が増える。値上げするのなら、駐車場に照明・ネット等を設置しろ。</p>
	<p>駐車場値上げ絶対反対。どうしても値上げと言うなら、収入の多い人から、また、普通車と軽自動車を区別するなどすべき。市営住宅なのに外車やレクサスに乗っている人がいる。</p>
	<p>年金生活なので、駐車場料金値上げは困る。年金が少なく、医療費が多く要るのに、値上げは反対。</p>
	<p>1台借りている。値上げには反対。</p>
<p>高齢のため、何かあった場合に子ども達にすぐ来てもらうために駐車場は必要。年金生活では今の駐車場料金でも負担なので値上げは困る。今は家族それぞれが車を必要としている時代。複数台所有している人は住宅外にも駐車場を借りており、値上げされると家計への負担も大きくなる。</p>	

事業名	意見要旨
市営住宅	年金は下がり、国保料は上がり、バスの本数は減って不便になった。これ以上駐車料金の値上げはしないで欲しい。
	年金でギリギリの生活をしている。駐車料金値上げに反対する。
	幅が狭く不便。見直し反対だが、幅を広くする必要がある。年金が下がっており、すべてにおいて年金に準じて欲しい。
	駐車料金値上げに反対。年金も目減りするなか、子ども達に迷惑をかけずに生活するため、1人でこなすには車は手放せない。
	今でも駐車場を借りずに路上駐車をしている方がたくさんおり、値上げとなるとさらに増える。救急車が停まれなくなると大変。駐車場の値上げをするより、入居者の資格の確認や、ひとり親家庭の実態確認を行ったほうが、かなりの財源になるのではないかと。市営住宅では、そうした人がかなりいると思う。
	仕事の都合上、車は手放せない。駐車場の値上げで、毎月の固定費が数千円も上がってしまうのは、大打撃であり、市民の暮らしに直結する部分を削るのは納得がいかない。
東山荘	廃止すべき。
	年に1回程度散策している。都会のなかでは別世界といえる場であり、こういう存在が許されないほどゆとりのない街にしてよいのか。
	稼働率も悪いし、人員も割いていないようなので廃止してもよい。
留学生支援金給付事業	「主な論点」のとおり (留学生の誘致など、施策への効果が十分表れているとは言えないため、抜本的な見直しを検討)
大井町1番南市街地再開発事業	マンション1戸あたり1000万円位の実質の補助金となる計算。不況を救うために積極的な財政支出は必要だが、一部の市民に偏る支出は避けるべき。まして、近隣との紛争をかかえる物件への補助はよくないので、修正すべき。
産業立地促進助成	「主な論点」のとおり (制度の効果を検証し、より効果的な助成制度のあり方について検討)
	ただちに廃止すべき。助成をするなら法人税をあげてほしい。
	優遇制度を受けている企業は、その旨を企業HP等でPRすることも条件に追加し、市内への企業誘致の担い手として協力していただき、他事業での企業誘致予算の節減に繋げる効果を期待したい。減税が導入される場合には見直し検討の余地がある。

事業名	意見要旨
名古屋城	名古屋城に関する費用対効果について、全体像を読みとることができない。もし、名古屋市の財政負担の方が大きい場合は、指定管理者制度を活用した方がよいと考える。市民の医療・福祉、教育等の「直接的市民サービス」の一部を指定管理者にまかせていながら、名古屋城の管理運営は名古屋市が直営し、巨額の費用をつぎ込むのは容認できない。名古屋城を指定管理者にまかせて、医療・福祉、教育等、個人や指定管理者では利益が上がりにくい事業を直営してほしい。このことをきっかけに、名古屋市の市民サービスの在り方（直営すべき事項と指定管理者にまかせる事項）を考え直していきたい。
オーストラリア・ジロング市との湿地提携に基づく人的交流事業	実績がない以上やめるべき。 「主な論点」のとおり (ジロング市からの派遣実績がないことから事業の見直しを検討) 総務局の見解(ジロング市からの派遣実績がないことから事業の見直しを検討)に賛同
合流式下水道の改善【下水道事業】	施策貢献度が極めて大きいのは当然であるが、「河川の水質汚濁については隣接する海域の影響などにより環境目標値を達成していない地域があり、目標を達成していません」(第3次環境基本計画(素案))のような分析ではなく、約6割の区域が合流式下水道のため、降雨時には下水処理場の処理能力を超えることが河川の水質汚濁の主因であり、それを解決することがこの事業の目的であることを明記すべき。 「計画管理型」としながら、「雨水滞水池の整備」の累計カ所数が未定となっており、このようなことでは進捗管理ができない。計画を作成し、明記すべき。 「雨水スクリーン目標縮小」は、年間4カ所程度の整備で平成35年に39カ所整備では、河川の水質汚濁を解決することにはならない。第3次環境基本計画(素案)の指標の目標年度2020年と前倒しすべきである。 「簡易処理高度化施設の整備」は22年度までの累計完了カ所数の表示がないため、進捗状況が把握できない。このような不十分な記載でも総務局は「意見なし」と判断できたのか。
高度処理の導入【下水道事業】	評価票では、22、23年度の計画があるだけであり、全体の計画が読み取れない。このような不十分な記載でも総務局は「意見なし」と判断できたのか。
路上禁煙対策の推進	「主な論点」のとおり (路上禁煙地区の喫煙率等の低下を踏まえ、パトロール体制の効率化を検討) 一部の指定地域だけ禁煙にしているが、もっと広く禁煙にすれば、意識が変わる。それにとまって、監視・指導・罰則なしで、市民の自主的な動きで禁煙が実現できると思われる。

事業名	意見要旨
環境科学研究所	<p>これまで大気や水質に関わる環境保全に大きな役割を果たし、全国的にも注目される役割を果たしてきた。アスベストの測定などもされていると聞いている。効率化で研究部門が削減されるのは認められない。名古屋市は放射能の測定をしていないが、環境科学研究所を活用し、市民の不安にこたえるべき。市民の生活環境を守るうえで必要なものは充実を。</p>
	<p>研究機能を残すべき。市民生活の安全を守るべく、調査体制含め充実させ、放射能測定などへの対応もすべき。</p>
	<p>職員数を2名削減、一般財源を78%に削減したことは、環境行政の自殺行為といえる。騒音関連担当者が削減されているため、新幹線公害の監視測定業務に遅れが出るなど、重大な支障が出ている。公害総合監視センターの移転を考えれば、人員・予算とも追加すべき事項。公的関与の性質別区分4である以上、効率を追求するような評価はやめ、市民にとって必要不可欠な事業と位置づけるべき。</p>
	<p>大気、水の放射能測定など、一層役割は大きくなる。監視業務の民間委託は正確性、公正性ととともに情報開示の点で慎重に行うべき。測定するだけでなく結果を管理して、対策、施策に反映するには研究所が必要。充実こそすべき。</p>
公園整備	<p>事業進捗状況「順調」とあるが、第2次環境基本計画の評価で「目標値に至っていない」としている。社会資本総合整備計画における整備面積に対し、目標の半分にも満たない。進捗状況は「遅れ」と正確に表現し、十分な予算を確保すべき。 低炭素都市なごや戦略実施計画（素案）の「緑化地域制度によって確保された緑の面積」をこの事業に記載すべきである。</p>
みどりが丘公園	<p>「主な論点」のとおり (管理運営にかかる委託の拡大や指定管理者制度の導入を検討)</p>
ランの館	<p>民間の運営だと思っていた。税金で市の中心部にランの館を運営する意味はあまり感じられない。ラン愛好家を中心とした憩いの場とし、民間委託したほうがよい。</p>
	<p>都心のスペースを役所が使っているのはもったいないと思う。しかも何億円も税金を投入しているということは考えられない。民間に任せれば、利益があがり、利用者も多くなると思う。愛知県はラン生産日本一かもしれないが、名古屋市とは直接関係がなく、憩いの場や文化発信をするのに、ランの館にする必要はないと思う。</p>
	<p>廃止すべき。 ランの館の講習会・展示会に参加してきて、心のよりどころを見つけることができた。ランの館に行って可憐な花、隅に咲いている野の花等を見ていると、心が癒される。他にも緑の施設はあるが、都心ではランの館だけ。ぜひ存続していただきたい。</p>

事業名	意見要旨
ランの館	<p>ランの愛好家として、栽培したランを展示会を通じて多くの方に見ていただく場所としてなくてはならない施設。市の中心部にあり、多くの団体が発表の場として利用し、多くの方が鑑賞している。外国の方の観覧も多く、数少ない国際的な観光の場になっていると思う。愛知県のラン産業の実績を示す場としても重要。観光スポットとして活用するため、隣接する公園を駐車場にして、観光ルートに組み込めば価値が高くなるので、文化・観光施設として存続してほしい。</p>
	<p>名古屋市内の中心に花と緑のオアシスとは、県外からも年々認知度も上がっている。いろいろな原因のストレスを人々は抱え込んでいる中、草や木、花の成長と姿に癒され、すさんだ心を満たされていることは間違いのない砂漠のオアシスが突然消えてしまうことには断じて反対。</p>
	<p>今あるものをなくすなんて考えられない。花に心を癒され、生命を感じながら、自分もがんばろうと思う。存続をお願いする。</p>
	<p>ランの館は市民の憩いの場。廃止しないでほしい。</p>
	<p>ランの愛好家の一人である。洋ラン生産日本一の愛知県の中心地の名古屋のランの館廃止には絶対反対。毎週ランの館に行き、ランの展覧会を見ている。下水処理場を有効に使うために作られたもの。市民の憩いの場である。</p>
	<p>ランの団体の会員である。財政の苦しいことはわかるが、名古屋市にこのような良い所があったのかと言う人も多い。一度やめてしまえば造るのは大変。やめるより続ける工夫をしてほしい。名古屋にはこんな良いところがあると自慢できる時がきっと来ると思う。何も無い町にしないでほしい。</p>
	<p>月に数回行く。こんな楽しい場所はぜひ残してほしい。</p>
	<p>ランを身近で見ることでもできる場所として、交通の便利なところでぜひ続けていただきたい。また、安価で購入できる。</p>
	<p>ランの館は都心のオアシス的公園であり、高齢者の憩いの場として有効。県市の園芸生産力の向上、ラン市場の情報発信に資する。青少年児童の文化演習の場として、自然と環境をテーマとした文化交流の場として活用できる。以上により、民営化での営利目的重視の方向、商業的スペースの拡大へ反対。緑化方針を促進すべき。従来のマンネリ化を脱却し、文化交流の強化を努力されたい。</p>
	<p>趣味でランの花を育てている。ランの館で花を観るのを楽しみにしている。ドームのラン展が来年から中止になると聞いており、ランの館のみとなってしまったので、存続を希望する。</p>
<p>ラン生産日本一の愛知県の花を展示するランの館をやめず、これからも続けてほしい。</p>	
<p>趣味で洋ランを栽培している。展覧会出品を楽しみにしている。夜間も暖房などの設備のある会場はほかにない。様々なラン以外の花も楽しめる。利用者拡大をはかった存続させてほしい。</p>	

事業名	意見要旨
ランの館	リタイアした後の趣味の発表で、ランの館で木版画の作品展をさせていただいた。作品発表の場として利用させていただくとともに、入館者の動員にも寄与したと自負している。ランの鑑賞との相乗効果もあると思う。来年も作品展を行い、動員を更に増加したいと思っている。
	名古屋市政の中で、観光資源、花卉園芸の地域文化を支える働きをしている。海外から訪れる方にも再三ランの館でお会いしている。特に、春・秋・正月のランの展示会は、カメラマンや園芸好きの愛好家を楽しませている。たしかに名古屋市の財政事情は悪化していると思うが、事業を縮小させれば、名古屋市全体が閑古鳥の鳴く、一地方都市に甘んじることになると思う。継続をお願いする。
	廃止に反対。ランは古来より四君子の花とされていることから、名古屋への来客のおもてなしとしても重要。経済が沈滞している時こそ盛り上げなければならない。現在700円の入場料を500円から300円とし、入館者を増やすことを考えていかなければならない。
	5月の来館者が少ない時期に木版画の展覧会を開催し、昨年387名が今年525名とかなり増加した。さらに入場者を増やすため企画。これだけの施設は貴重な財産と考える。存続を願う。
	ラン生産日本一のプライドを保持し、名古屋市民の精神的うるおいを保ち、全国に向けて名古屋の元気さをアピールするため、廃止に反対。
	ランを愛する者としてなくなっては困る者の1人。市民のオアシスとしても、また、ランの館行きのバスはいつも満員のようであり、近辺の都市の方に愛されている。費用対効果が見えないからといってバツサリ無くすようなことはありえない。百歩譲ったとしても西側入り口からアトリウム部分は残し、他の部分は有効活用する方法もあると思うし、費用を縮小し運営の仕方も再検討されるべき。
	立地条件がよく、特に高齢者・植物愛好者にとって価値のある施設。当施設を活用して木版画の展示会を行い、市民の文化活動に貢献できた。むしろ今後ランなどの育成相談などに対応可能な施設として充実を期待する。
	ランの館は不要。
	他県の者だが、都会のオアシス「ランの館」に行き、どこでも味わえない一時を満悦して、家路につきたい。都会の真ん中とは思えない、大きな空間をなくさないでほしい。
	東洋ランを栽培しているが、栽培者が少なく、ランの館で年5回展示して、見てもらい、栽培者を増やす目的がある。ランの館がなくなると、目的ができなくなる。

事業名	意見要旨
ランの館	<p>文化的、環境、生活のゆとりなど、私企業が負担しがたい面は行政が負うべきと思う。費用対効果により施設の存廃を決定する事業ではないと考える。</p> <p>東海3県の在住者で構成されているランの愛好家の会の会長であるが、年3回の展示会では、洋ランの魅力を発信し、園芸文化の発展に寄与していると自負している。交通至便の地にあるランの館は他に代え難い存在である。来館者数の増加に寄与するための活動協力には異存はない。存続発展を期待する。</p>
	<p>ランの館がなくなってしまうのはとても残念。ぜひ存続させてほしい。</p>
	<p>ランの館には、家族や友達との様々な思い出があり、なくなってしまうかもしれないと聞き、とても残念。ぜひ存続してほしい。</p>
	<p>ランの館がなくなるかもしれないと聞き、驚いている。何とか存続できないか。</p>
	<p>ランをみるのが好きで、月に1,2度足を運んでいる。行事もすばらしく、家族と一緒に楽しんでおり、ランの館がなくなり、我が家のイベントの1つになっているものがなくなると困る。存続を希望する。</p>
	<p>都心の好立地にあり、めずらしいランの展示などもあり、楽しみな場所の一つ。年間一億円の費用がかかるので費用対効果が薄く、統廃合を検討する前に、入場料の見直しなどを検討する必要があると思う。</p>
	<p>年に数回訪れている。季節ごとのイベントや、ランの展示会等を楽しんでいる。愛知県は花の生産日本一である。今後とも、楽しみ、勉強したいと思っているので、残していただけるようお願いする。</p>
	<p>もっと魅力有る館にしてほしい。未永く名古屋のシンボルとして続けてほしい。</p>
	<p>文化振興・癒しの空間としての役割は、来館者数では図れない。文化発信の場が事業仕分けに入っていると聞き、驚きと憤りを感じる。存続を強く希望する。</p>
	<p>都心にありながら、ゆったりと花を楽しむことができる。廃止されないようお願いしたい。</p>
	<p>何度も通っている。忙しく過ごしている人たちにとって癒しの場所。イベントが数多く展開され楽しませてくれる。いつまでも続くよう願う。</p>
	<p>とても優れた文化施設。下水処理場の上にランの館を作ったことは素晴らしいこと。入館料を安くするとか花作りや世話をを行う市民組織を組み込むとか、既存組織の事務局を置くなど、あまり資金を使わないで花文化を発信できる拠点として存続すべき。</p>
<p>県外からの来客を案内するにも、とても地の利がよく、喜んでいただくことができ、名古屋の中で誇れる施設の一つ。なくしてほしくない。</p>	

事業名	意見要旨
ランの館	<p>廃止は惜しい。運営哲学の変更を図るべき。久屋大通公園と連続一体（若宮大通を南北につなぐ歩道橋があるとよい）という位置づけで建物外は公園として無料、入館料はワンコインとし、敬老等の割引は廃止し、老人保養施設化は避ける。世界に対する園芸文化の発信などは忘れた方がよい（東山や鶴舞の担当分野）。建物外はオープンカフェにするなど、デートスポットに進化させてはどうか。また、東山植物園と一体運用し、展示品の貸借や管理を適切に行うなど。</p>
	<p>費用対効果に課題があるのであれば設置計画自体に問題があったと思うので、計画の妥当性、責任の所在等を含めて検討すべき。</p>
	<p>縮小しても廃止はしないで。なくても生活には困らないが豊かさを与えてくれる日常は大切なこと。日本には茶道、華道があるように必要ではないか。</p>
	<p>30年以上ランの育成に携わっており、廃止を検討中ということに心が痛む。私の生きがい、楽しみをなくさないでほしい。</p>
	<p>木版画の展示会を行ったところ、たくさんの方に来ていただき、盛況であった。今後ともこのままな施設の活用普及を願っている。</p>
	<p>親子での様々な体験が低価格ででき、自然とふれあうことができる。季節ごとの催し（ハロウィン・クリスマス）も魅力的であり、管理は大変だと思うが廃止しないでほしい。</p>
	<p>岐阜に住んでいるが、名古屋にも癒される場所があると安心した。子どもや母を連れていきたい。市の中心にある憩いの場所として残してほしい。利用者を増やすために、ネーミングを親しみのある名前にし、料金を下げてはどうか。</p>
	<p>館内の展示場で木版画の展示会を開催している。多くの方に来場していただいたし、立派な施設の大切さを実感した。レストランをもっと安く、魅力あるイベントを行い、多く観客を動員できる展示を企画立案すること等が改善点として気付いた点である。</p>
<p>国営木曽三川公園 事業負担金</p>	<p>「主な論点」のとおり （市民の利用実態などを踏まえ見直しを検討）</p>
<p>家庭系生ごみの資源化（生ごみ堆肥化容器等購入補助事業等）</p>	<p>実績の低下というが、制度が知られていない。こういう制度があることをもっと宣伝すべき。地球環境を守る観点からも利用の増加を図るべき。</p>
	<p>「主な論点」のとおり （補助の実績が低下しているため、事業の効果を検証し、見直しを検討）</p> <p>ごみの減量化に役立っている。補助をなくさないでほしい。</p>

事業名	意見要旨
家庭系生ごみの資源化（生ごみ堆肥化容器等購入補助事業等）	生ごみ堆肥化容器等補助から廃食用油回収への重点移行とした見直しを要望する。生ごみを市民菜園・緑のカーテンなどの推進施策とセットにするなど、幅広く市民が生ごみ堆肥化できる方法を新たに考えてほしい。
	各家庭で堆肥ができても庭付きの家でなければ利用できない。いくつかの町内に一台大型の堆肥化容器を置いて自由利用し、できた堆肥を公園や街路樹に使用すれば、生ゴミの分だけ可燃ごみが減るのではないか。
	市民菜園利用者に使用を呼びかけるなどしたらいかがか。ドイツでは食料自給率の40%が家庭菜園である。韓国では90%の生ごみ堆肥化を実現している。
焼却工場	五条川工場については運転業務を委託しているが、効率性を向上させるため、他の工場も含め運転業務等の委託等を検討すべき。加えて、点検補修業務等を委託して、効率性を高め、低コスト化を図るべき。また、焼却工場更新の可否はアセットマネジメントの対象項目とすべき。
公共用地の先行取得	「主な論点」のとおり （先行取得した用地が長期間事業化されずに残ることのないよう、短期間で整備できる箇所の取得に限定する仕組みを検討）
	予算も高く、先行取得した土地が有効に使われていないようなら、不要。もしくは減額を希望する。
	いわゆる塩漬け土地の解消をまずやってほしい。また、部局・部署ごとにバラバラな土地の保有をやめ、相互に有効活用の調整をしてほしい。長期的な都市計画にもとづく土地の取得は必要。
有料自転車駐車場	駐輪場は機械を入れなくともよい。整理ができていないところは、ほとんど場所が足りないところで、そういうところは、地下鉄出入口に近いところを駐輪禁止にし違反車両を強制的に排除できないものか。有料で料金が高いことは不満で、中学生・高校生は学費や通学の費用もかかる。

事業名	意見要旨
有料自転車駐車場	<p>22年度まで113駅整備予定が79駅という状況は、「やや遅れ」とするのは間違いで、明らかに「遅れ」。必要な予算を増額すべき。実施方法の委託・指定管理と直接実施の内訳を明記すべき。委託等拡大ができないとされているため、全てが委託・指定管理と思われる。23年度は一般財源が1億円と半減するため、市が新たに自転車駐車場を設置することはやめ、民間事業者の道路占用許可による自転車駐車場という方向を押し進める意向であると思われるが、市の直接実施とし無料化に転換をすべきである。営利目的の民間事業者では、収益悪化による突然の閉鎖も想定され、市の財政にとってメリットでも、市民にとってデメリットでしかない。</p>